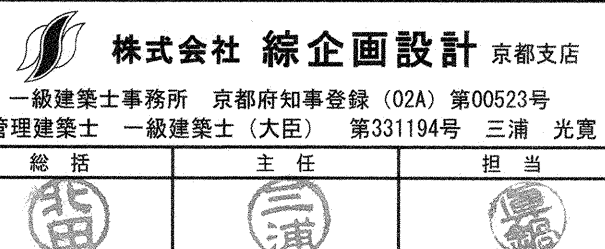
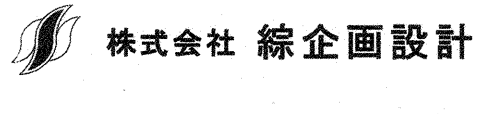


滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営その他工事

意匠図				構造図					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称		
A-00	表紙・図面リスト	A-37	2階展開図	A-74	エレベーター詳細図(1)	S-01	構造特記仕様書(1)	S-38	X1、X2通り軸組図
A-01	建築工事特記仕様書1	A-38	3階展開図	A-75	エレベーター詳細図(2)	S-02	構造特記仕様書(2)	S-39	X3、X4通り軸組図
A-02	建築工事特記仕様書2	A-39	トイレ展開図	A-76	エレベーター詳細図(3)	S-03	構造特記仕様書(3)	S-40	X5、X6通り軸組図
A-03	建築工事特記仕様書3	A-40	天井伏図	A-77	エレベーター詳細図(4)	S-04	構造関係共通事項(構造関係共通事項)	S-41	雑詳細図(1)
A-04	建築工事特記仕様書4	A-41	建具表(特記事項)	A-78	エレベーター詳細図(5)	S-05	構造関係共通事項(配筋標準図)01	S-42	雑詳細図(2)
A-05	建築工事特記仕様書5	A-42	建具表(1)			S-06	構造関係共通事項(配筋標準図)02	S-43	架構配筋詳細図
A-06	建築工事特記仕様書6	A-43	建具表(2)			S-07	構造関係共通事項(配筋標準図)03	S-44	F4配筋納まり詳細図
A-07	建築工事特記仕様書7	A-44	建具表(3)			S-08	構造関係共通事項(配筋標準図)04		
A-08	建築工事特記仕様書8	A-45	建具詳細図(1)			S-09	構造関係共通事項(鉄骨標準図)01		
A-09	エレベーター特記仕様書	A-46	建具詳細図(2)			S-10	構造関係共通事項(鉄骨標準図)02		
A-10	工事区分表	A-47	建具詳細図(3)			S-11	杭工法標準仕様書		
A-11	案内図・全体配置図	A-48	建具詳細図(4)			S-12	杭頭補強特記仕様書		
A-12	計画配置図	A-49	建具詳細図(5)			S-13	ポーリング柱状図		
A-13	敷地求積図	A-50	自動ドア詳細図			S-14	杭伏図		
A-14	建物求積図	A-51	シャッター詳細図(1)			S-15	基礎伏図		
A-15	平均地盤面算定	A-52	シャッター詳細図(2)			S-16	1階伏図		
A-16	凡例一覧表・記号表・仕上表	A-53	シャッター詳細図(3)			S-17	2階伏図		
A-17	ピット平面図	A-54	部分詳細図(1)			S-18	3階伏図		
A-18	1階平面図	A-55	部分詳細図(2)			S-19	R階伏図		
A-19	2階平面図	A-56	部分詳細図(3)			S-20	基礎リスト(1)		
A-20	3階平面図	A-57	部分詳細図(4)			S-21	基礎リスト(2)		
A-21	屋上平面図	A-58	部分詳細図(5)			S-22	基礎リスト(3)		
A-22	立面図(1)	A-59	部分詳細図(6)			S-23	基礎梁リスト・基礎小梁リスト(1)		
A-23	立面図(2)	A-60	OAフロア詳細図			S-24	基礎梁リスト・基礎小梁リスト(2)		
A-24	断面図	A-61	Exp. J詳細図			S-25	基礎梁リスト・基礎小梁リスト(3)		
A-25	矩計図(1)	A-62	避難はしご詳細図(1)			S-26	柱リスト		
A-26	矩計図(2)	A-63	避難はしご詳細図(2)			S-27	大梁リスト(1)		
A-27	階段詳細図(1)	A-64	カウンター詳細図			S-28	大梁リスト(2)		
A-28	階段詳細図(2)	A-65	ベンチ詳細図			S-29	大梁リスト(3)		
A-29	1階平面詳細図(1)	A-66	床の間詳細図			S-30	小梁リスト		
A-30	1階平面詳細図(2)	A-67	渡り廊下改修前後詳細図			S-31	壁・スラブリスト		
A-31	2階平面詳細図(1)	A-68	現況外構図			S-32	基礎スリーブ図		
A-32	2階平面詳細図(2)	A-69	計画外構図			S-33	2階スリーブ図		
A-33	3階平面詳細図(1)	A-70	現況外構詳細図			S-34	3階スリーブ図		
A-34	3階平面詳細図(2)	A-71	計画外構詳細図			S-35	R階スリーブ図		
A-35	1階展開図(1)	A-72	参考山留計画図			S-36	Y1、Y2通り軸組図		
A-36	1階展開図(2)	A-73	参考仮設計画図			S-37	Y3、Y4通り軸組図		

記	工事名称	滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営その他工事	122 枚のうち 1 号	 株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	業務名称 滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営建築設計業務  株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	工事名称	滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月	令和 5年 11月	
	事	図面名称	表紙・図面リスト			縮尺	—	図面名称	表紙・図面リスト	縮尺
		令和5年 11月								

滋賀大学(彦根)イニシアティブ棟新館その他工事

I 工事概要
1. 工事場所 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号
2. 完成期限 令和6年3月29日(金)

Table with 2 columns: 建物名称, 種類, 構造, 階数, 建築面積, 延べ面積, 消防法施行令別表第一の区分, 改修面積, 備考

4. 工事種目
印の付いたものが対象工事種目

Main table with columns: 工事種目, 建物別及び屋外, 工事種別. Lists various construction items like 仮設工事, 土工事, 鉄筋工事, etc.

5. 指定部分
6. 概成工期

II 工事仕様 (1.2.1)

1. 共通仕様
(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則...
(2) 特記仕様
(1) 本特記仕様書の表記
(2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 印は、「国等による環境物品等の調達...」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」...

章 項目 特記事項

1 各章共通事項
電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者
○ 適用区分
○ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○ 風圧力
○ 積雪荷重
この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

○ 施工条件
この工事現場では、次の施工条件による。
○ 足場について、周囲の設備を損傷させないように適切に養生等を行うこと。
○ 本工事建物周囲には、校舎等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。

○ 発生材の処理等
(1) 引渡しを要するもの
(2) 特別管理産業廃棄物
(3) 現場において再利用を図るもの
(4) 再資源化を図るもの

○ 環境への配慮
建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード...

○ 材料の品質等
(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

Table with 2 columns: 材料名, 備考

Table with 2 columns: 適用工事種別, 技能検定の種別. Lists construction tasks and their corresponding skill tests.

○ 施工の検査等
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。
検査等を行う施工
備考

○ 施工の立会い
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。
施工の立会いを行う工程
備考

Table with 2 columns: 測定対象化学物質, 測定値. Lists chemical substances and their measurement values.

Table with 2 columns: 測定対象室及び測定箇所数, 種名称, 階, 室名, 採取本数. Lists measurement locations and sampling details.

○ 完成時の提出図書
(1.7.1~3)
次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事目的物に關し使用するための権利については、発注者に委譲する。

Table with 2 columns: 図書の品名, 数量. Lists required documents and their quantities.

Table with 5 columns: 撮影部位及び箇所数, 形式・サイズ, 提出セット数, 画素数及び画質等, 撮影者. Lists photography details for various locations.

(注) のアルバムは併せて作成する。電子納品は次の規定に従うものとする。
1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。
2) 完成写真の撮影に関する著作権者の権利等については次のi)及びii)によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4) 電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5) 提出方法及びファイル形式は以下による。

○ 他工事又は他工種との取合い
○ 敷地の状況確認及び縄張り
○ ベンチマーク
○ 遣り方
○ 足場等
○ 養生シート
○ 仮囲い
○ 工事用進入路

○ 3 土工事
○ 建設発生材の処理
材料及び工法
※標準仕様書表3.2.1による
種別
・A種 適用場所()
・B種 適用場所()
・C種 適用場所() 土質() 受渡場所()
・D種 適用場所()
(品質 細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。)
・材料() 工法()
※(1.3.11)による
※工事現場外に搬出し、関係法令等に基づき、適切に処理する

4 地業工事	○支持地盤等	○杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ○図示による(図面番号S-13) ○試験杭の位置 ○図示による(図面番号S-14) ・直接基礎 支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・図示による() 試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・行わない ・行う 位置等 ・図示による() ・地盤の載荷試験 載荷試験の方法 ・地盤工学会基準 JGS 1521Iによる 試験の位置、載荷荷重 ・図示による()	○捨コンクリート地業 範囲 ○基礎下、基礎梁下、土間スラブ下 ・図示による() 厚さ ※50mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm スランプ ※15cm又は18cm 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)	○シーリング (9.7.2、3、5)(表9.7.1) 下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合はシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合はシーリングは17章による	12 木 工 事	○施工一般 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(イ)(b)による (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
	○既製コンクリート杭地業	種類 ○遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PhC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PhC杭) ・外設鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5) ・地盤改良工法	○シーリング材の種類(記号)		○製材 JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材
	○図示による(図面番号S-14)	○コンクリートブロック 種類 ○遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PhC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PhC杭) ・外設鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等		○造作用集成材 JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材(畳スペース、柱梁部)
5 7	8 コンクリートブロック工事	9 防水工事	11 タイル工事	12 木 工 事	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等
					○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等
6 8	9 コンクリートブロック工事	10 防水工事	11 タイル工事	12 木 工 事	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等
					○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	○目地 目地の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等

業務名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営建築設計業務	工事名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月	令和 5年 11月
図面名称	株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	図面番号	建築工事特記仕様書 2	縮尺	A1: - A3: -
印刷	印	製図	製図	製図	A-02

Construction specification section 1, including '造作用単板積層材' and '合板等' tables.

Construction specification section 2, including '接合具等', '接着剤', '内部間仕切軸組及び床組み', and '長尺金属板葺' tables.

Construction specification section 3, including '粘土瓦葺' and '金属工事' tables.

Construction specification section 4, including 'アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理' and '重量鉄骨天井下地' tables.

<p>○ 建具用金物</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.2による ・建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.3による ・建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.4による ・建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表16.8.5による ・建具表による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p>	(16.8.2、3) (表 16.8.1)
<p>○ 鍵</p> <p>マスターキー ○製作する ・製作しない</p> <p>鍵の製作本数 ○各室3本1組 (室名礼付き) ○既存のマスターキーにあわせる</p> <p>鍵箱 ○有り ・無し</p>	(16.8.4)
<p>○ 自動ドア開閉装置</p> <p>戸の開閉方式 ○建具表による</p> <p>引き戸用駆動装置 ○建具表による</p> <p>性能値 ※標準仕様書表16.9.1 (防錆 ○適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 ()</p> <p>・車椅子使用者用便所入り引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.1 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 ()</p> <p>・引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.1 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 ()</p> <p>引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4 ・建具表による</p> <p>タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ○光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置 ・行方 ○行わない</p>	(16.9.2、3)
<p>○ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>性能値等 ※標準仕様書表16.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉繰返し () 耐衝撃性 ()</p> <p>自動ドア製造所 ・文化シャッター 株式会社 ・三和シャッター 株式会社 ・ナフコア 株式会社</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ○屋内用防火シャッター ○防塵シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧性 1章 適用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※設ける (設置箇所 ・建具詳細図による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置 ※設ける (設置箇所 ・建具詳細図による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 ※設ける (設置箇所 ・建具詳細図による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12</p>	(16.10.3) (表16.10.1)
<p>○ 重量シャッター</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ○屋内用防火シャッター ○防塵シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧性 1章 適用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※設ける (設置箇所 ・建具詳細図による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置 ※設ける (設置箇所 ・建具詳細図による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 ※設ける (設置箇所 ・建具詳細図による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12</p>	(16.11.2、3)

<p>○ 軽量シャッター</p> <p>ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>製造所 ・文化シャッター 株式会社 ・三和シャッター 株式会社 ・東洋シャッター 株式会社</p> <p>開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧性 1章 適用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 ※設ける (設置箇所 ・建具表による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90)</p> <p>スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>製造所 ・文化シャッター 株式会社 ・三和シャッター 株式会社 ・東洋シャッター 株式会社</p>	(16.12.2~4)
<p>○ ガラス</p> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 ※設ける (設置箇所 ・建具表による) ・設けない (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1) ○建具表による</p> <p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p> <p>・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による</p> <p>・落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</p> <p>○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ○建具表による</p> <p>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類</p> <p>・熱吸収取板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>・性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ○建具表による</p> <p>断熱性による区分 ○T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</p> <p>日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ○G ・S</p> <p>乾燥気体の種類 ○空気 ・アルゴン</p> <p>・熱反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>日射熱遮蔽性による区分 ・1種 ・2種 ・3種</p> <p>耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類</p> <p>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p>	(16.13.2、3)

<p>17</p> <p>カーテンウォール工事</p> <p>取付け形態、性能等 (17.1.3)</p> <p>取付け形態による分類 ・層間方式 ・柱・梁方式 ○方立方式 ・スパンドレル方式</p> <p>性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性(°C)</p> <table border="1"> <tr> <td>W-5</td> <td>A-4</td> <td>T-1</td> <td>H-1</td> <td>○30分 ・1時間</td> <td>・80 ・70 ・60</td> <td>○明色55°C ○暗色70°C</td> </tr> </table> <p>耐風圧性 1章 適用区分による風圧力 ○I ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 4mを超える ・</p> <p>耐震性能 地震力に対する安全性 設計用震度 縦壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能 設計用水平震度(Kh) ※1.0 設計用鉛直震度(Kv) ※0.5 所定の応力度に対しては、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、基準等(製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。)が定める値とする。</p> <p>構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 縦壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能 1/100 ○1/150 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</p> <p>層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。</p> <p>性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける</p> <p>金属系材料の種類 (17.2.2、3、5、6) ○アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ○シーリング 種類 (・SR-2 ○SR-1) ・構造ガスケット 形状、寸法等 ※図示による</p> <p>断熱材 種類及び範囲 ※図示による</p> <p>形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による</p> <p>見え掛り部の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種類 (標準仕様書表14.2.1) 色合い等 ○次の色とする (ブラック) ・標準色 ・特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合)</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様</p> <p>取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm</p>	W-5	A-4	T-1	H-1	○30分 ・1時間	・80 ・70 ・60	○明色55°C ○暗色70°C	(16.14.2) (9.7)																																																																																																																																									
W-5	A-4	T-1	H-1	○30分 ・1時間	・80 ・70 ・60	○明色55°C ○暗色70°C																																																																																																																																											
<p>18</p> <p>塗装工事</p> <p>○ 材料 (18.1.3)</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所:)</p> <p>○ 素地ごしえ (18.2.2~7)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">素地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td></td> <td>※C種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DPのみ)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>○A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びブラスター面</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及び</td> <td>目地: 継目処理工法</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法以外</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> </table> <p>○ 錆止め塗料塗り (18.3.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>錆止め塗料の種別</th> <th>錆止め塗料の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>見え隠れ: ※A種 ・B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>○ DP</td> <td>見え隠れ: ※B種 ・A種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>EP-G</td> <td>見え隠れ: ※A種 ・B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>見え隠れ: ※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>その他: ※B種 ・A種</td> <td>鋼製建具等: ※A種 ・B種</td> <td>鋼製建具等: ※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>その他: ※B種 ・A種</td> <td>鋼製建具等: ※A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>○ 塗装 (18.4.1~18.12.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類、等級</th> <th>高日射反射率塗料 [G]</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○クイヤラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○クイヤラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>モルタル面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アスファルト面</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>せっこうボード面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面等</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋外の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>1種</td> </tr> <tr> <td>○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ステイン塗り</td> <td>・ビグメント</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ステンイン塗り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>・オイルステイン塗り (OS)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・木部保護塗料塗り (WP)</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>高日射反射率塗料 [G] を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。 クイヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する (着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用 ・適用する ・適用しない</p> <p>○ 抗菌性塗料塗り (11.2.2)</p> <p>抗菌性塗料の製造所、製品名及びつやの程度等</p>	素地面等		種別		木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種		透明塗料塗りの場合	※B種	・A種	鉄鋼面 (DP以外)		※C種	・A種 ・B種	鉄鋼面 (DPのみ)		※B種	・A種 ・C種	亜鉛めっき鋼面		○A種	・B種	モルタル面及びブラスター面		※B種	・A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種	・A種	押出成形セメント板面		※B種	・A種	コンクリート面 (DPのみ)		※A種	・B種	せっこうボード面及び	目地: 継目処理工法	※A種	・B種	その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	※B種	・A種	素地面	塗料の種類	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の種類	鉄鋼面	SOP	見え隠れ: ※A種 ・B種	A種	○ DP	見え隠れ: ※B種 ・A種	A種	亜鉛めっき鋼面	EP-G	見え隠れ: ※A種 ・B種	※B種 ・A種	SOP	見え隠れ: ※B種 ・A種	※B種 ・A種	DP	その他: ※B種 ・A種	鋼製建具等: ※A種 ・B種	鋼製建具等: ※A種 ・B種	EP-G	その他: ※B種 ・A種	鋼製建具等: ※A種 ・B種	塗装	種別	塗料の種類、等級	高日射反射率塗料 [G]	○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	—	木部屋内	※B種 ・A種	—	○クイヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	—	—	亜鉛めっき鋼面	—	—	○クイヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	—	—	亜鉛めっき鋼面	—	—	○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	・A種 ・B種	—	押出成形セメント板面	・C種	—	○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	モルタル面	—	—	アスファルト面	※B種 ・A種	—	○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	せっこうボード面	—	—	その他ボード面等	—	—	○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種	—	屋外の鉄鋼面	※B種 ・A種	1種	○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種 ・A種	—	・ステイン塗り	・ビグメント	—	—	・ステンイン塗り	—	—	・木材保護塗料塗り (WP)	・オイルステイン塗り (OS)	—	—	・木部保護塗料塗り (WP)	※B種 ・A種	—	(18.1.3)
素地面等		種別																																																																																																																																															
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種																																																																																																																																														
	透明塗料塗りの場合	※B種	・A種																																																																																																																																														
鉄鋼面 (DP以外)		※C種	・A種 ・B種																																																																																																																																														
鉄鋼面 (DPのみ)		※B種	・A種 ・C種																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面		○A種	・B種																																																																																																																																														
モルタル面及びブラスター面		※B種	・A種																																																																																																																																														
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種	・A種																																																																																																																																														
押出成形セメント板面		※B種	・A種																																																																																																																																														
コンクリート面 (DPのみ)		※A種	・B種																																																																																																																																														
せっこうボード面及び	目地: 継目処理工法	※A種	・B種																																																																																																																																														
その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	※B種	・A種																																																																																																																																														
素地面	塗料の種類	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の種類																																																																																																																																														
鉄鋼面	SOP	見え隠れ: ※A種 ・B種	A種																																																																																																																																														
	○ DP	見え隠れ: ※B種 ・A種	A種																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面	EP-G	見え隠れ: ※A種 ・B種	※B種 ・A種																																																																																																																																														
	SOP	見え隠れ: ※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																																																																														
DP	その他: ※B種 ・A種	鋼製建具等: ※A種 ・B種	鋼製建具等: ※A種 ・B種																																																																																																																																														
	EP-G	その他: ※B種 ・A種	鋼製建具等: ※A種 ・B種																																																																																																																																														
塗装	種別	塗料の種類、等級	高日射反射率塗料 [G]																																																																																																																																														
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	—																																																																																																																																														
	木部屋内	※B種 ・A種	—																																																																																																																																														
○クイヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	—	—																																																																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																																																																														
○クイヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	—	—																																																																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																																																																														
○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	・A種 ・B種	—																																																																																																																																														
	押出成形セメント板面	・C種	—																																																																																																																																														
○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	モルタル面	—	—																																																																																																																																														
	アスファルト面	※B種 ・A種	—																																																																																																																																														
○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	せっこうボード面	—	—																																																																																																																																														
	その他ボード面等	—	—																																																																																																																																														
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種	—																																																																																																																																														
	屋外の鉄鋼面	※B種 ・A種	1種																																																																																																																																														
○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種 ・A種	—																																																																																																																																														
・ステイン塗り	・ビグメント	—	—																																																																																																																																														
	・ステンイン塗り	—	—																																																																																																																																														
・木材保護塗料塗り (WP)	・オイルステイン塗り (OS)	—	—																																																																																																																																														
	・木部保護塗料塗り (WP)	※B種 ・A種	—																																																																																																																																														

19 内装工事

- 接着剤: ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル及びビニル幅木用接着剤のホルムアルデヒド放散量
- 下地の工法: 標準仕様書19.2.3(7)～(9)以外の下地の工法
- ビニル床シート: 種類、色柄、厚さ、備考
- ビニル床タイル: 種類、色柄、寸法、厚さ、備考
- 特殊機能床材: 帯電防止床シート、帯電防止床タイル、視覚障害者誘導用ブロック等
- ビニル幅木: 材質の種類、高さ、厚さ
- カーペット敷き: 織じゅうたん、織り方、色柄、帯電性

○タフテッドカーペット: バイル形状、長さ、工法、帯電性

○タイルカーペット: バイル形状、種類、施工箇所、寸法、総厚さ

○合成樹脂塗床: 種類、施工箇所、工法、仕上げの種類

○フローリング張り: フローリングのホルムアルデヒド放散量

○畳敷き: 種類、施工箇所、工法、仕上げの種類

○せっこうボード、その他のボード及び合板張り: MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

○断熱材: 種類等、厚さ、規格等

○シート張り: シート種類、寸法、厚さ

○フリーアクセスフロア: 施工箇所、構造、寸法、高さ、耐震性能

○壁紙張り: 壁紙の種類、防火性能

○断熱材: フェノールフォーム断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

○断熱材現場発泡工法: 断熱材の種類、厚さ

○ホワイトボードシート: 製造所、製品名

○ブラックボードシート: 製造所、製品名

○フリーアクセスフロア: 製造所、製品名

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 可動間仕切, 移動間仕切, トイレブース, 手すり, 階段滑り止め, 黒板及びホワイトボード, 鏡) and Specifications (including material types, dimensions, and performance metrics like sound absorption and fire resistance).

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 表示, タラップ, 煙突ライニング, カーテンレール, ブラインドボックス, 天井点検口, 床点検口, 耐震スリット, 止水板, エキスパンションジョイント金物) and Specifications (including materials, dimensions, and safety standards).

Table with 2 columns: Item Name (e.g., くつふきマット, 流し台ユニット, 鋼製書架及び物品棚, 屋内掲示板, 洗面カウンター, 防煙垂れ壁, 屋外掲示板, 造作家具, 避難はしご) and Specifications (including materials, dimensions, and safety standards).

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 排水工事, 鉄釘製ふた, グレーティング, 街きよ、緑石及び側溝, 埋戻し土) and Specifications (including materials and installation requirements).

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 材料, 基礎の厚さ及び種類, 砂利地業に用いる材料, 鋼鉄製マンホールふた, グレーティング, 街きよ、緑石、側溝及び側溝, 埋戻し土) and Specifications (including material types, dimensions, and performance metrics).

・路床

路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G	・図示による
・凍上抑制層	・再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による
・フィルター層	※砂	・図示による

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

・行う
・行わない

・路床安定処理
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法

路床安定化処理用添加材料

種類

・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種G
・フライアッシュセメントB種G
・生石灰(・特号 1号)
・消石灰(・特号 1号)

添加量

・ kg/m³ (CBR 3以上)

・ジオテキスタイル

単位面積質量

・60g/m²以上

厚さ(mm)

・0.5~1.0

引張強さ

・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

・1.5×10⁻¹cm/sec以上

試験

路床土の支持力比 (CBR) 試験
・行う ・行わない

路床締固め度の試験
・行う ・行わない

現場CBR試験
・行う ・行わない

○路盤

路盤の厚さ (22.3.2、3) (表 22.3.1)

○図示による

路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種別)

・クラッシュラン
・粒度調整砕石
○再生クラッシュランG
・再生粒度調整砕石G
・クラッシュラン鉄鋼スラグG
・粒度調整鉄鋼スラグG
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグG

○アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2~6) (表 22.4.4)

※図示による

材料

アスファルト

○再生アスファルトG
(標準仕様書表22.4.1による種類: ○60~80 80~100)

・ストレートアスファルト

骨材

・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材G

加熱アスファルト混合物等の種類

○密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

試験

アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
○行わない

○コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2~4、6) (表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	○図示による	・図示による
	歩行者用通路	○図示による	※70

材料

コンクリート

※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による

・以下による

コンクリートの種類 ()

設計基準強度 (N/mm²) ()

所定のスランプ (cm) (※8)

粗骨材の最大寸法 (mm) ()

早強ポルトランドセメント

・使用する ・使用しない

注入目地材料

※低弾性タイプ
・高弾性タイプ

目地

※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による

・以下による

種類

間隔 ()m程度ごと

構造 ・図示による

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

カラー舗装

・加熱系カラー舗装 (22.6.2~4)

構成・厚さ

・図示による

加熱系混合物の結合材

・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%)

添加材

着色骨材 ()
自然石 ()

・常温系カラー舗装

工法

・ニート工法 (配合その他:)
・塗布工法 (配合その他:)

着色部の下部

・アスファルト舗装
・コンクリート舗装

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

舗装の構成 (22.7.2、3、6)

・図示による

材料

骨材

・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材G
(標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 80~100)

舗装の平坦性

※着しい不陸がないもの

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
・行わない

○コンクリート平板舗装G (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
○普通平板(N)	○300角	※60	※砂	表面加工
・透水性平板(P)			・モルタル	・研ぎ出し
・保水性平板(M)				・洗い出し ・たたき出し

クッション材

※砂 ・空練りモルタル

普通平板はG(再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板はG(透水性コンクリート)とする。

仕上り面の平坦性

※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。

○インターロッキングブロック舗装G

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考
※普通ブロック(N)	車路	○図示による	※90	※5.0	表面加工
・透水性ブロック(P)					
・保水性ブロック(M)					
※普通ブロック(N)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3.0	
・透水性ブロック(P)					
・保水性ブロック(M)					

クッション材

※砂 ・空練りモルタル

歩行者用通路に使用する普通ブロックはG(再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックはG(透水性コンクリート)とする。

仕上り面の平坦性

※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

・舗石舗装

種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩	・割石 ・図示による			・コケ石版	※70
				・7A7A6混合物	※70

クッション材

※砂 ・空練りモルタル

仕上り面の平坦性

※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。

・ジオテキスタイル

単位面積質量

・60g/m²以上

厚さ(mm)

・0.5~1.0

引張強さ

・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

・1.5×10⁻¹cm/sec以上

○砂利敷き

種類 (22.9.2)

・A種 (施工範囲: ・図示による ・通路)

○B種 (施工範囲: ○図示による ○建物周囲その他)

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	溶融	粉体状	・白	・150	・1.0
・1種G	常温	液状	・	・100	・
・2種G	加熱	液状	・	・	・

低揮発性有機溶剤型の路面標示用塗料G

○ブロック系舗装 (22.8.2、3)

・植栽地の確認等 (23.1.3)

・行う ・行わない

電気伝導度 (EC) の試験
・行う ・行わない

○植栽基盤の整備 (23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備

○適用する ・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材
○樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・葉張り部分 ・植栽部分 ○図示による	・適用する ○適用しない
		樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)		
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)		
		樹高3m未満 (※50 ・60)		
※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備

・設ける (※図示による)

○設けない

○現場発生土の良質土 (23.2.3)

・客土

○土壌改良材 (23.2.3)

種類及び指定量等

○バーク堆肥G

施工箇所

※植栽範囲 ・図示による

使用量

植栽基盤面積1㎡あたり (・50L)

・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)G

施工箇所

※植栽範囲 ・図示による

使用量

植栽基盤面積1㎡あたり (・10L)

材料

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、審が認められないものとする。

○樹木 (23.3.2)

樹種、寸法、株立数等

※図示による

・支柱 (23.3.2、3)

支柱材

※丸太 (間伐材)G ・真竹

防腐処理方法

※加圧式防腐処理丸太材

形式

・図示による

・幹巻き用材料 (23.3.2)

材料

※幹巻き用テープ ・わら及びこも

・芝 (23.4.2、3)

種類

※コウライシバ ・ノシバ

芝張りの工法

平地

※目地張り ・べた張り

法面

※べた張り法面 ・目地張り

・吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上		

・地被類 (23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
----	-------	---------------	-----

・新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置 (23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の

枯補償の期間

※引渡しの日から1年 ・無し

移植樹木の枯損処置を行う期間

※引渡しの日から1年 ・無し

・屋上緑化G (23.5.2~4)

植栽基盤及び材料

・屋上緑化システム

土壌層の厚さ

・図示による

排水層

・軽量骨材 (層の厚さ:)

・板状成形品

植込み用土

※改良土

・人工軽量土

樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等

※図示による

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

※図示による

支柱

・設置する

・設置しない

形式

・図示による

かん水装置

・設置する

・設置しない

種類

・図示による

工法

「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づき風圧力に対応した工法

・図示による

業務名称

滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営建築設計業務

工事名称

滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営その他工事

設計年月

令和 5年 11月

図面名称

建築工事特記仕様書 8

縮尺

A1:-
A3:-

図面番号

A-O 8

株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号
管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛

エレベーター設備工事		
I 工事概要		
1. 工事場所 滋賀県彦根市市場1丁目1番1号		
2. 完成期限 令和6年3月29日		
3. 建物概要		
建物名称	イニシアティブ棟	
構造	鉄筋コンクリート造	
階数	3	
建築物の高さ	11.89m	
建築基準法による	建築面積(m ²)	845.05m ²
	延べ面積(m ²)	2261.54m ²
消防法施行令別表第一の区分	(7)	
備考		
4. 工事種目 ●エレベーター設備 一式 ○撤去工事 一式		
5. 改修内容 エレベーター1台の新設		
6. 指定部分 ●無 ○有 対象部分(指定部分工期 年 月 日)		
7. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日(曜日) (第1編1.1.2) [第1編1.1.2]		
II 工事仕様		
1. 共通仕様		
(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則(文部科学省訓令第二十二号)別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 枚及び本特記仕様書 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。 ●公共建築工事標準仕様書(機械設備工編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。) ●公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。) ●文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。) ●工事写真撮影要領(令和元年7月)		
(2) 建築工事、電気設備工事及び機械設備を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。なお、建築工事の特記仕様書は()回、電気設備工事の特記仕様書は()回、機械設備工事の特記仕様書は()回による。 施工条件は、建築工事の特記仕様書による。		
2. 特記仕様 章、項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。		
章	項目	特記事項
●一般共通事項	●環境への配慮 (第1編1.4.1) [第1編1.4.1]	(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
	○撤去工事	○撤去内容 [第7編1.3.1~3] ○発生材の処理 [第1編5.1.1~2]

○施工調査 [第1編1.5.1~3]	事前調査 ○本工事 ○別途 調査内容 ○既存資料調査 調査項目 ○図示 ○ 調査範囲 ○図示 ○ 調査方法 ○図示 ○	●別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部足場(EVシャフト内は含まない)(○種 ○種) ○外部足場(○種 ○種) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 すり先行専用足場方式により行う。 電動機容量は、原則として表示された数値以下とする。 ○50Hz ●60Hz 耐震設計用地域係数は、「昇降機技術基準の解説2016年版」P3.3-1による。 エレベーター設備機器の固定等は、すべて「昇降機技術基準の解説2016年版」による。 対象機器の耐震安全性分類は、(○耐震クラスS ₁ 、●耐震クラスA ₁)とする。 はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 ○走査式埋設物調査 ○放射線透過検査 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。	●足場その他 (第2編4.1.1) [第1編2.1.1] ●容量等の表示 ●電源周波数 ●耐震設計用地域係数 ●耐震措置 (第9編2.2.6) ○既存躯体への穿孔 [第2編5.2.1] ●他工事又は他工種との取り	●エレベーター設備 ●エレベーター仕様 (第9編1.1.1~6.2.13) [第7編1.1.1] <第7編1.1.1~2.1.1> ○エレベーター監視盤 (第9編2.2.8) ●エレベーター警報盤 (第9編2.2.9) ●計画通知完了検査 ●動力計測用電力量計 ○保守遠隔監視用電話回線等
仕様は、「Ⅲ エレベーター仕様」による。	●有リ(●新設 ○既設)(仕様は、「Ⅳ エレベーター監視盤等」による。)(設置場所: 階 室) ●有リ(●新設 ○既設)(仕様は、「Ⅳ エレベーター監視盤等」による。)(設置場所: 1階 執務スペース) ●計画通知: ●本工事() ○別途 ●工事完了通知: ●本工事() ○別途 ○要(○無検定 ○検定付) ハルス発信機能付きとし、電力量の表示は(○有 ○無)とする。 ●不要 保守遠隔監視用電話回線の配管は、別途電気設備工事とする。			

Ⅲ エレベーター仕様			
項目	号機	○1号機	
1	用途	乗用(車椅子兼用)	
2	J I S 記号	P-11-C0	
3	区分	ロープ式(普及型) 機械室なし	
4	積載量・定員	750kg (11人)	
5	かご内法寸法(mm) 間口×奥行×(約)高さ	1,400×1,350×2,300	
6	出入口寸法(mm) 有効幅×高さ	800×2,100	
7	防火設備注) (乗場の戸等)	遮炎遮煙性能 有	
8	戸開閉方式	2枚両引き戸	
9	速度(m/min)	4.5	
10	停止箇所・停止階	3箇所停止 (1~3階)	
11	電源	(動力用) 三相200V (照明用) 単相100V	
12	電動機容量(kW)	3.8	
13	運転操作方式	乗合全自動方式	
14	地震時管制運転 (閉じ込め時リスタート運転)	有 (遠隔による仮復旧可能)	
15	火災時管制運転	有	
16	停電時救出運転	有	
17	非常用発電時管制運転 (自家発電時管制運転)	無	
18	ビット冠水時管制運転	有	
19	浸水時管制運転	無	
20	長尺物振れ管制運転	無	
21	緊急地震速報連動運転	無	
22	自動診断仮復旧運転	無	
23	かご仕上	天井	製造者の標準仕様
		戸	製造者の標準仕様 (化粧鋼板/ダイノックシート貼)
		壁	製造者の標準仕様 (化粧鋼板/ダイノックシート貼)
		床	製造者の標準仕様 (合成樹脂系タイル貼)
		かご内操作盤	製造者の標準仕様 (SUS#719仕上)
24	乗場仕上	三方枠	大枠/SUS#719仕上
		戸	製造者の標準仕様 (化粧鋼板)
		乗場ボタン	乗り場ボタン一体型 (製造者の標準仕様) インジケータ
		幕板	無
		ホールランタン	無
25	防犯窓	有	
26	かご出入口検出装置	有 (多光軸)	
27	かご室内付加仕様	かご内専用操作盤	有 (SUS#719仕上)
		かご内手すり	有 (SUS#719仕上)
		かご内鏡	有 (SUS#719仕上)
		かご内専用インジケータ	有 (SUS#719仕上)
		キックプレート	有 (SUS#719仕上)
28	かご室内の他の付加仕様	視覚障害者用装置	有
		各階案内表示板	有 (製造者の標準仕様)
		館内放送用スピーカー	有 (製造者の標準仕様)
		着脱式壁保護材	有 (製造者の標準仕様)
	監視カメラ(かご内)	有	

Ⅳ エレベーター監視盤等					
○エレベーター監視盤	形式	○自立型	○壁掛形	○デスクトップ形	○別途総合盤組込形
	表示・操作部	○表示・操作パネル(グラフィックパネル)		○液晶ディスプレイ	
	電源識別表示	○商用表示灯	○発電表示灯		
	運行状態表示	○かご位置示灯	○かご方向表示灯		
	管制運転表示	管制運転機能毎に、運転中とその完了表示を行う。			
	遠隔操作スイッチ(キースイッチ)	以下のスイッチを監視盤に備えるものとする。 ○各種完成運転を行う操作スイッチ ○基準階切替スイッチ ○運転及び休止の切替スイッチ			
	ボタン類	以下のボタンを監視盤に備えるものとする。 ○故障警報リセットボタン(警報内蔵) ○監視盤組込(回線) ○ランプチェックボタン ○別置(回線)			
	インターホン(親機)		○交流無停電電源装置(停電保持時間 分)		
	電源装置	○無			
	設置場所	○F00室			
	その他	○ヒューズ灯	○群管理故障灯		
●エレベーター警報盤	形式	○壁掛形	○別途総合盤組込形		
	表示・操作部	○表示・操作パネル			
	電源識別表示	○商用表示灯	○発電表示灯		
	管制運転表示	管制運転機能毎に、運転中とその完了表示を行う。			
	遠隔操作スイッチ(キースイッチ)	以下のスイッチを警報盤に備えるものとする。 ○各種完成運転を行うスイッチ ○基準階切替スイッチ ○運転及び休止の切替スイッチ			
	ボタン類	以下のボタンを警報盤に備えるものとする。 ○故障警報リセットボタン(警報内蔵) ○ランプチェックボタン ●別置(回線)			
	インターホン(親機)		○交流無停電電源装置(停電保持時間 分)		
	電源装置	○無			
	設置場所	○F00室			
	その他	○ヒューズ灯	○群管理故障灯		

注) 遮炎遮煙性能を有する防火設備は、建築基準法第68条の26第1項及び同法施行令第112条第14項二号に適合したものとする。

記	業務名称	滋賀大学(彦根)イニシアティブ棟新設設備設計業務	工事名称	滋賀大学(彦根)イニシアティブ棟新設その他工事	設計年月	令和5年11月
事	設計者	株式会社 総合設備コンサルタント 大阪事務所	図面名称	エレベーター特記仕様書	図面番号	A1:- A3:- A-09
	一級建築士事務所 大阪府知事登録(〒) 第15280号	建築設備士(大臣) 第13E2-7076/M号 西田 泰章				

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

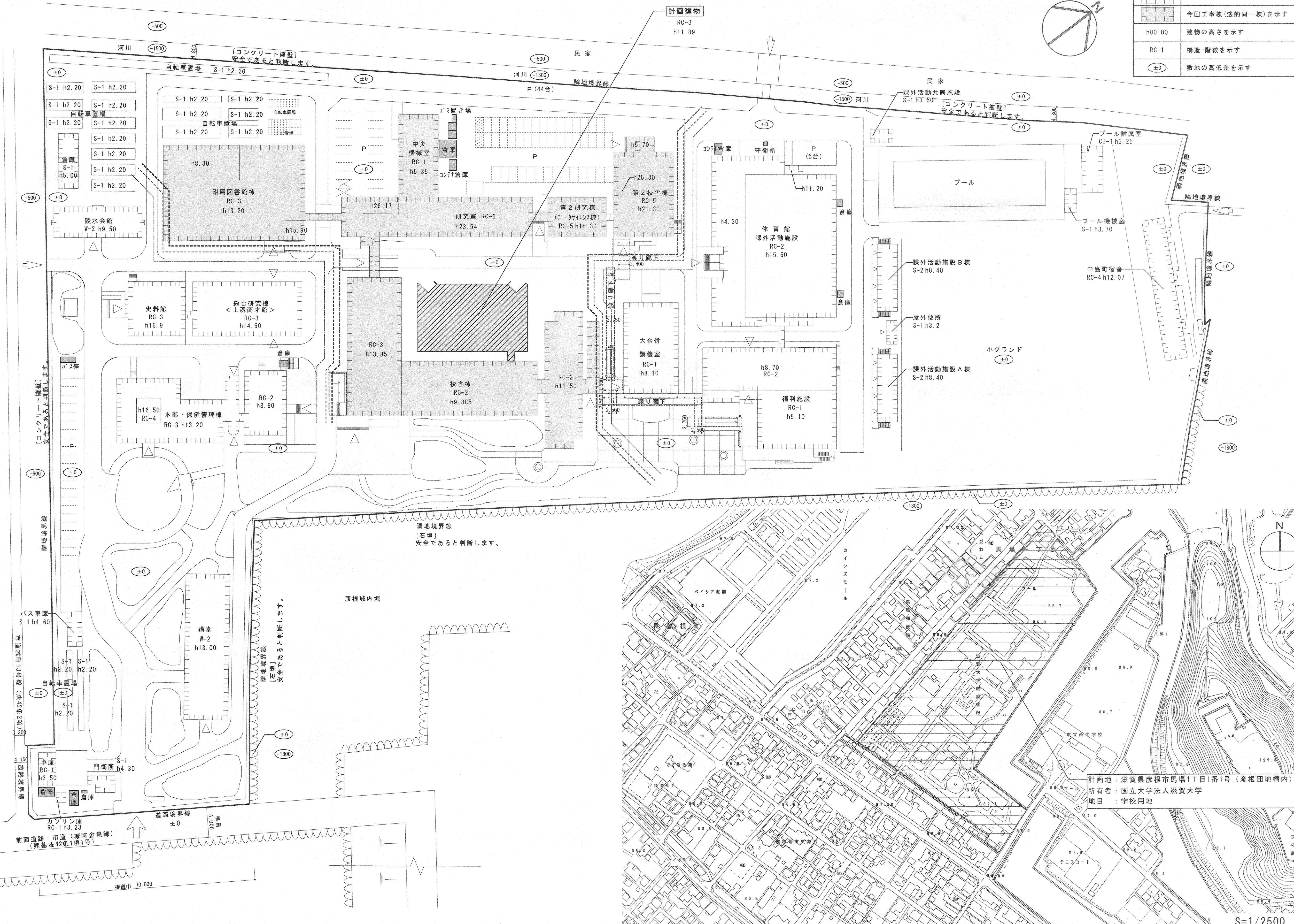
区分		建	電	機	別	備考
項目	名称	築	気	械	途	
コンクリート穴あけ	梁、壁木製枠入	●				墨出し、補修除く
"	壁スリーブ入れ	●	●	●		ポイド等
"	床スラブ木製枠入	●				墨出し、補修除く
"	床スラブスリーブ入れ	●	●	●		ポイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●				
配管ダクト類の防水貫通部補修		●	○	○		外壁部タイル補修は建築工事
A-Cパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	○				
P-C版の穴あけ	スリーブ入れ	○				
同上補修		○	○	○		モルタル等
インサート	P-C版	○				
インサート	コンクリート床、天井	●	●	●		
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部	●				照明器具等
"	機械設備関係開口部	●				空調吹出口等
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●				照明器具、空調吹出口 給排水ガラリ等
開口補強を必要としないボード等の切開		●	●	●		ボード切込、墨出し等
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●	●	●		石、金属パネル等
壁等重量物の下地補強	露出器具取付用	●				
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	●		モルタル等
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●	●	●		
流し台、ミニキッチン	ステンレス製（含む排水金具）	●				水切り板、同穴開け共
同上用配管接続	給排水用			●		
同上用電源配線	一次側接続まで	●				
流し台	陶器製	●		●		
洗面器等取付化粧板		●				
ルーフドレン		●				
壁樋	防露工事共	●				第1階までの配管共
雨水排水管	第1階から排水幹線までの配管	●				第1階を含む
"	幹線の配管	●				
生活排水、実験排水管	建物及び第1階までの配管			●		第1階までの配管共
"	第1階から排水幹線までの配管			●		第1階を含む
"	幹線の配管			●		
大型機械基礎		●				
同上基礎上鉄骨架台		●	●			
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器	●				墨出し、型枠入れ共
"	自家発電機等電気設備関係機器	●				墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共	○				
屋外自立壁の基礎	仕上げ共	●				
屋外貯油槽	地下式	○				
共同溝	歩床コンクリート	○				
建物・共同溝接続トレンチ		○				
同上接続部止水板		○				
各種構材	コンクリート製	○				
"	S-U-S、F-R-P、鋼製	○				
"	屋外大型のもの基礎	○				
"	掘土設置のもの基礎	○				
換気扇取付	ダクトのあるもの			●		天井層等
"	壁、サッシ等への取付（材共）			●		フード取付共
同上用スイッチ				●		
同上用電源配線				●		共用部人感連動のみ（接続共）
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●				
全熱交換器				●		
同上用スイッチ				●		機械支給品
同上用電源配線				●		接続共
外壁取付ガラリ	給排水用	●	●			ガラリチャンパー共
内壁取付ガラリ		○				遮光ガラリ共
ガラリへの給排水ダクト接続				●		
煙感知器連動防火戸		●				
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共		●			
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共		●			
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①			●		
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②			●		
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③			○		
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共		●			

区分		建	電	機	別	備考	
項目	名称	築	気	械	途		
道路側溝用排水	L型・U型と管敷設	●					
制御壁	制御壁以降の配管、配線共		●	●			
同上用電源配線	1次側接続まで		●	●		接地共	
屋内消火栓	消火ポンプ、制御壁			●			
屋内消火栓起動リレー				●			
同上表示灯及び起動装置				●	●		
自動火災報知器				●			
連続送水口	塵板共			○			
独立煙突				○			
同上煙道	鋼板製			○			
同上雷保護設備				○			
配管配線用ピット		●	●	●			
壁、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等		●				
コンクリートシャフト		●					
点検口				●			
天井フック				●			
機械室、電気室の防音遮音処理				●			
特殊サイズ鏡				●			
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			●	●		
雷保護設備				●			
保守管理用タラップ、はしご				○		トレンチ、床下部、屋上	
室内テレビ用吊金物				○			
テレビアンテナ	取付共			○			
同上用基礎				○			
ダクトストラップ及びガソリンストラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製			○			
電動シャッターの配管配線	二次側、操作盤、押扣取付共			○			
同上用電源配線	一次側接続まで			○			
自動扉の配管配線	二次側			●	●		
同上用電源配線	一次側接続まで			●			
入退室システム操作盤	読取装置共			●			
同上配管配線				●			
同上用電源配線	一次側接続まで			●			
電気錠	配管配線、接続ボックスまで			●			
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで			●		接続共	
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む			○			
同上用電源配線	一次側接続まで			○			
同上用信号線	各メーターから装置まで			○		接続共	
ユニットバス本体	据付共			○			
同上用電源配線	一次側接続まで、S-Wの取付配線共			○			
同上用配管	接続まで			○			
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	現場製作			●			
同上用電源配線	一次側接続まで			●			
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共			●			
同上用配管	接続まで			●	○		
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	プレハブ型			○			
同上用電源配線	一次側接続まで			○			
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共			○			
同上用配管	接続まで			○			
変生、種子吹付け				○			
法林、モルタル吹付け				○			
コンクリート構築				○			
補装				●			
電動スクリーン、プロジェクター等取付					●		
同上用電源配線					●		
空調機					●		
同上リモコン配線					●		
同上リモコン取付					●		
同上用電源配線					●		
情報設備							
無線A/P取付					●		
上記LANケーブル配線					●		
機器取付	ケーブル成端共				●		
実験台							
実験台取付	水栓・コンセントは実験台を含む				●		
同上給排水・給湯					●		
ガス接続							
同上電源接続					●		
壁の補修							
同上設備撤去に伴う補修					●	●	
同上壁の仕上げ					●		

区分		建	電	機	別	備考	
項目	名称	築	気	械	途		
スクラバー							
スクラバー設置				●			
同上電源制御配線				●		接続共	
ドラフトチャンパー					●		
ドラフトチャンパー設置					●		
同上電源配線					●		
手洗い用配管バック					●		
家具、備品移設	取付棚等、転倒防止復旧とも				●		
躯体撤去に伴う埋設配線・弱電	掘削、配線・配管の撤去				●	●	
躯体撤去に伴う埋設配管・配管	躯体、仕上げの復旧				●	●	
恒温恒湿室配管用開口					●	●	

凡例

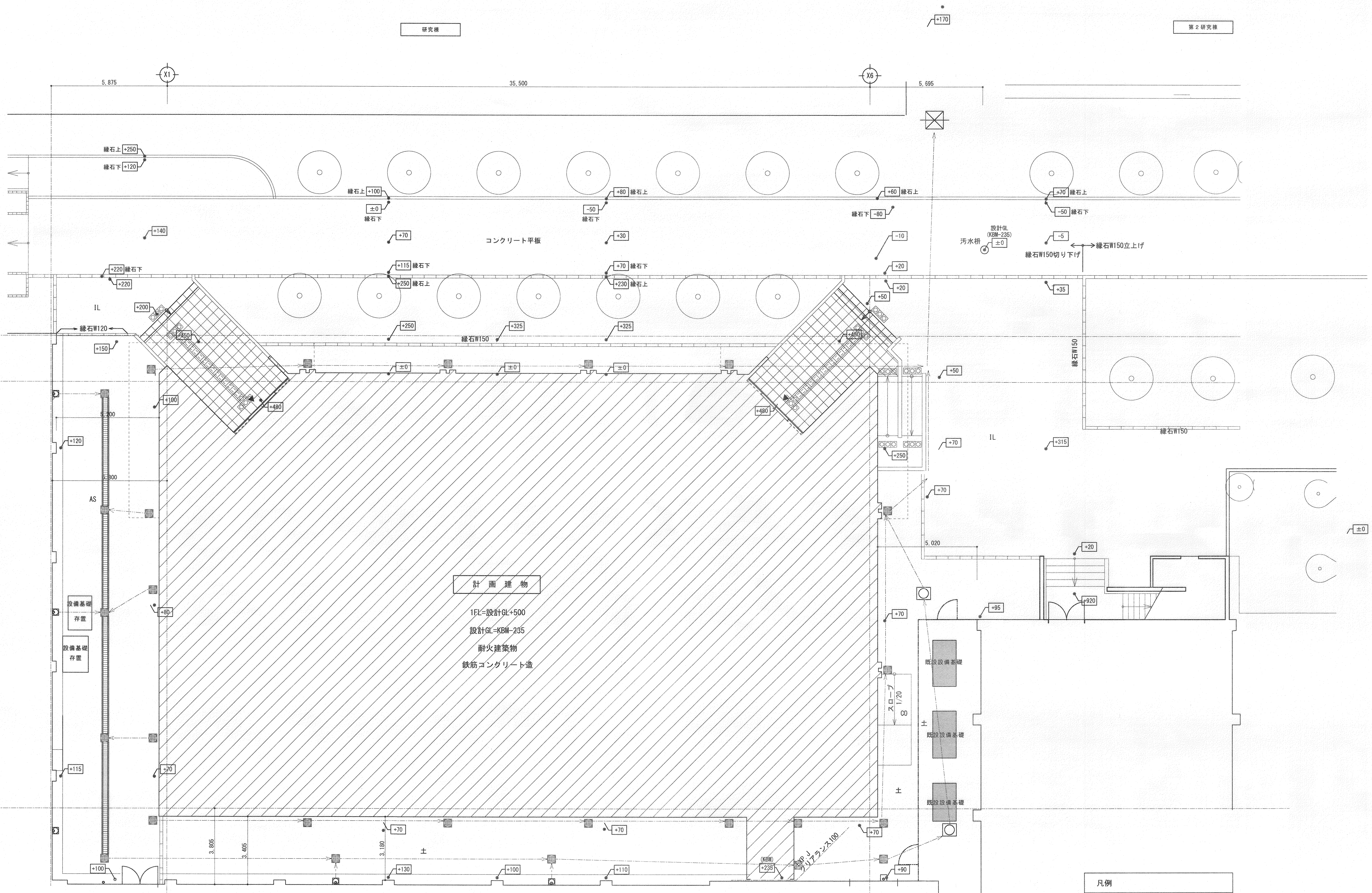
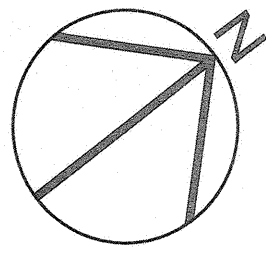
	敷地内(構内)既存建物を示す
	今回工事棟(法的同一棟)を示す
h00.00	建物の高さを示す
RC-1	構造階数を示す
±0	敷地の高低差を示す



計画地：滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号(彦根団地構内)
 所有者：国立大学法人滋賀大学
 地目：学校用地

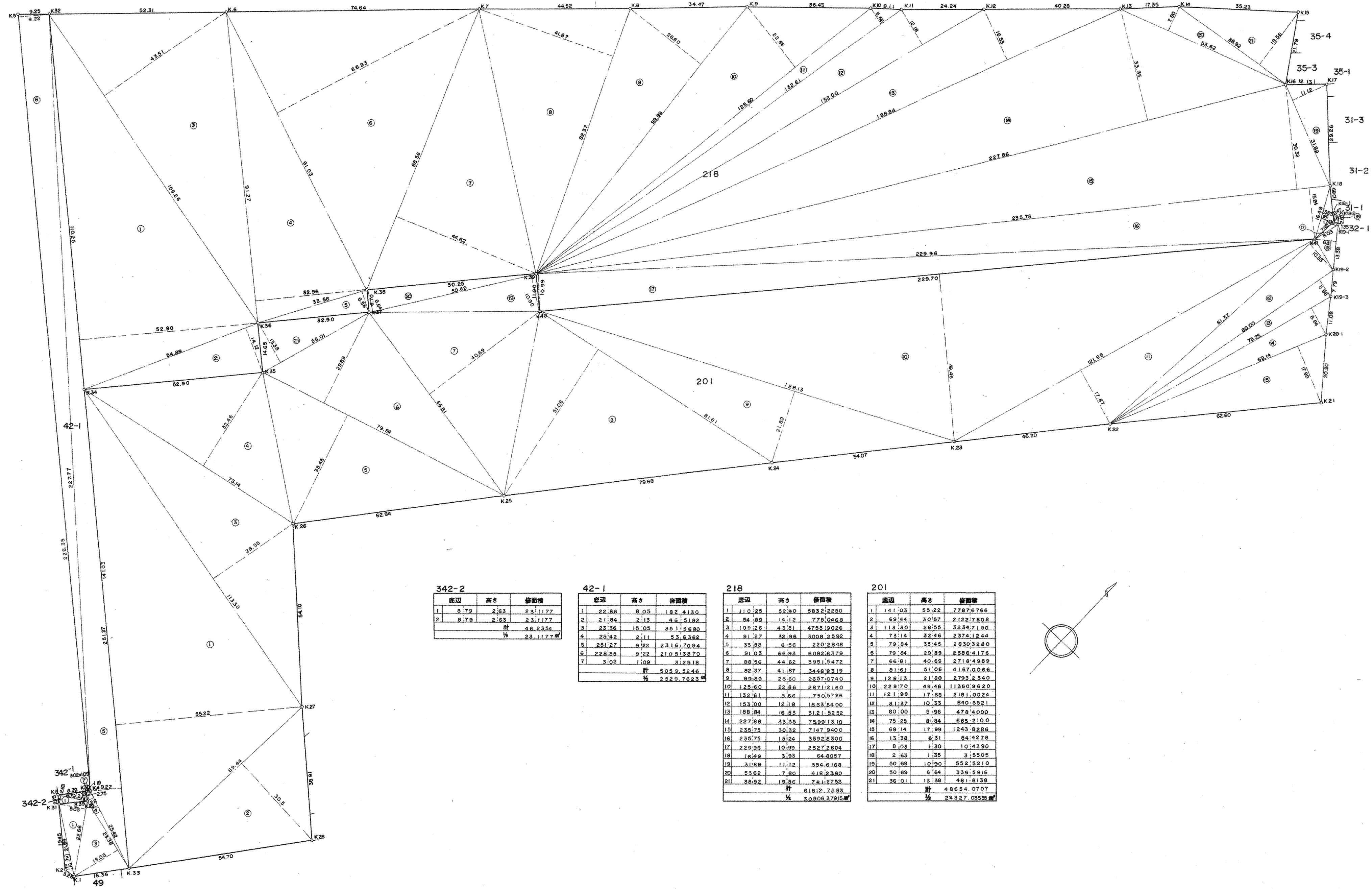
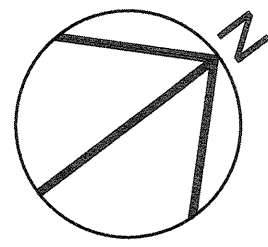
S=1/2500

業務名称 滋賀大学(彦根)イニシアティブ棟新築建築設計業務	工事名称 滋賀大学(彦根)イニシアティブ棟新築その他工事	設計年月 令和5年11月
		図面名称 案内図・全体配置図
株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録(02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第331194号 三浦 光寛	縮尺 A1:1/600 1/250 A3:1/1200 1/5000	図面番号 A-11



計画建物
 1FL=設計GL+500
 設計GL=KBM-235
 耐火建築物
 鉄筋コンクリート造

凡例	
	計画建物を示す
	地盤レベル高さを示す
	出入口を示す
IL	インターロッキング舗装を示す
AS	アスファルト舗装を示す
CO	コンクリート舗装を示す



342-2

区画	高さ	積算積
1	8.79	2.53
2	8.79	2.53
計		4.6.2354
		≒ 23.1177㎡

42-1

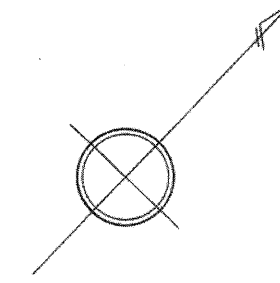
区画	高さ	積算積
1	22.66	8.05
2	21.84	2.19
3	23.56	15.05
4	20.62	2.11
5	20.27	9.92
6	22.83	9.22
7	3.02	1.09
計		50.5.3246
		≒ 23.29.7623㎡

218

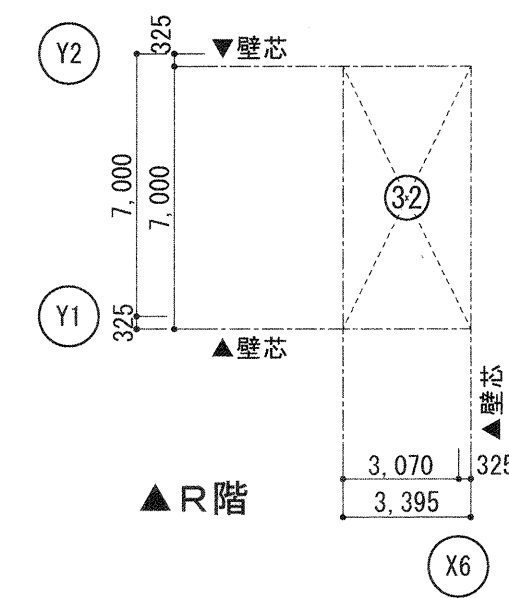
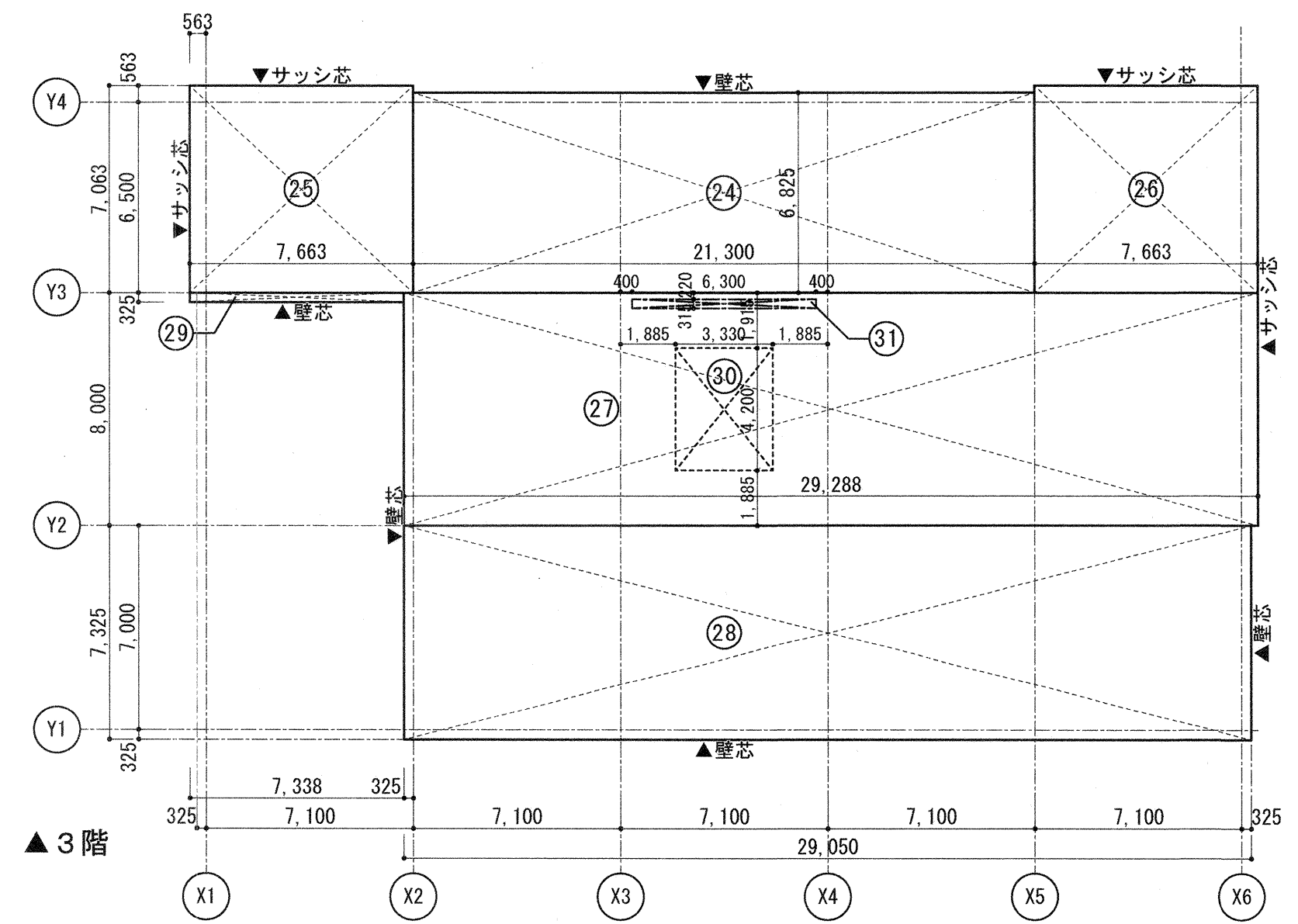
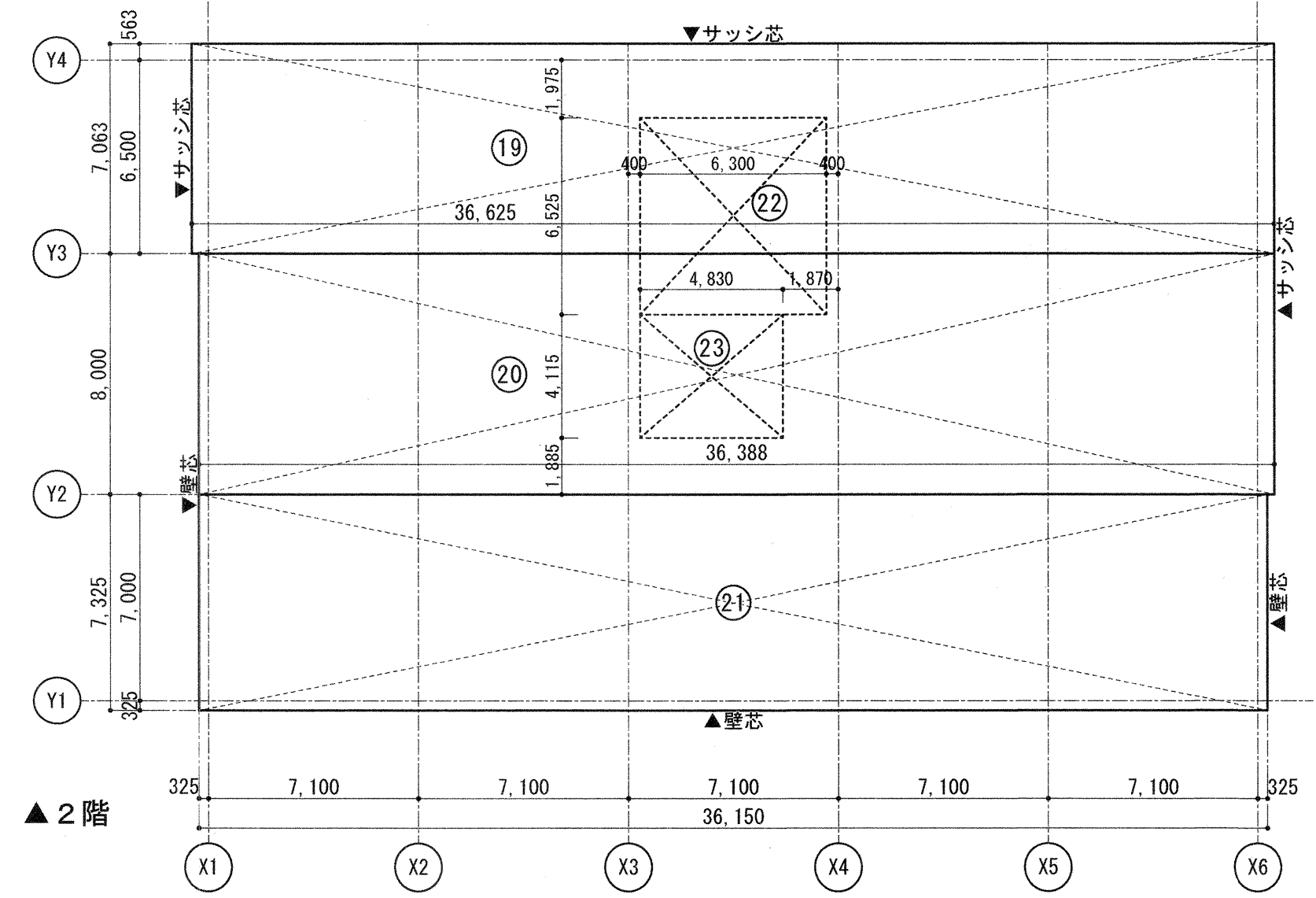
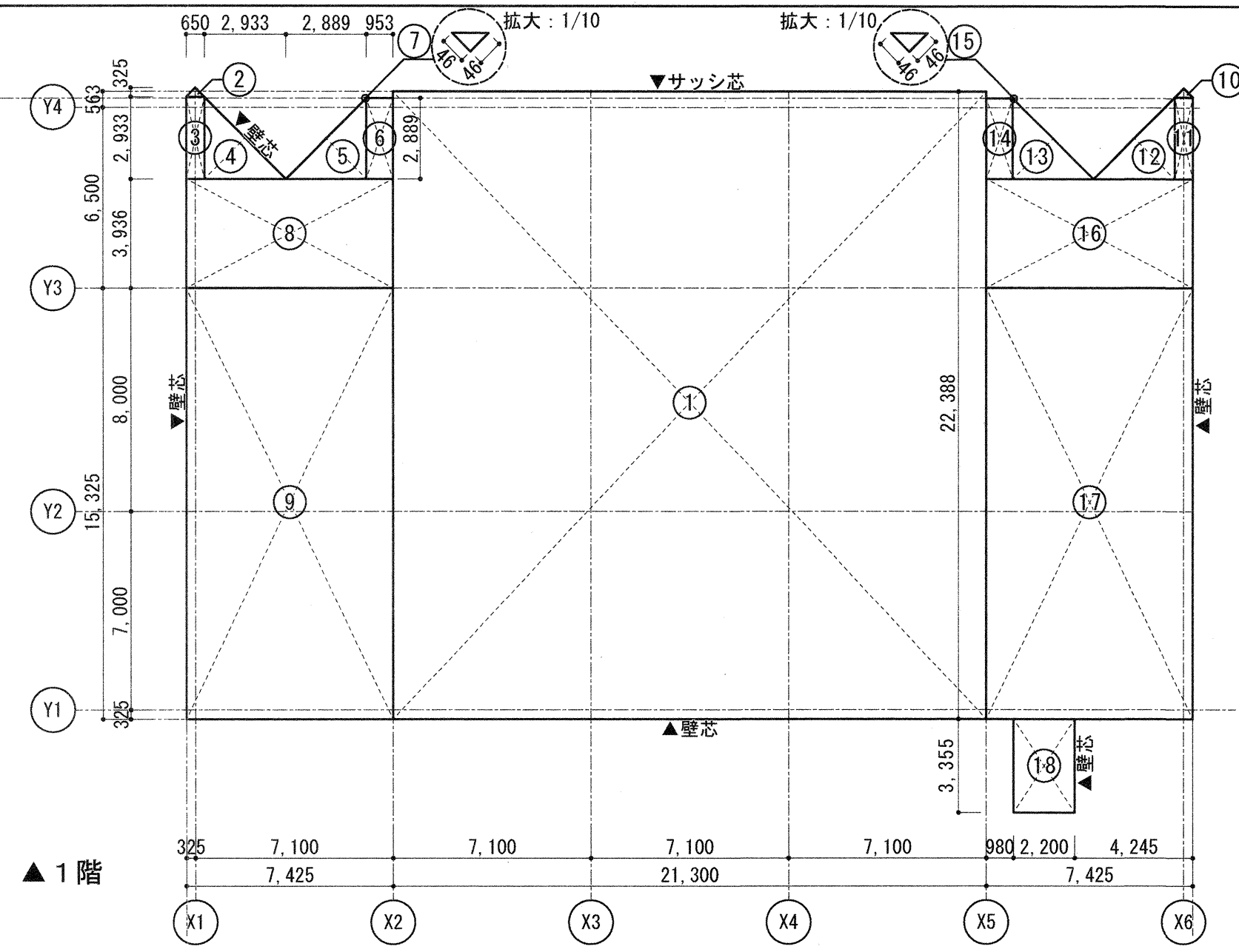
区画	高さ	積算積
1	11.0.28	52.90
2	54.98	14.12
3	109.26	43.51
4	91.27	32.96
5	39.99	6.58
6	91.03	66.93
7	88.58	44.62
8	82.37	41.87
9	99.89	26.90
10	124.50	25.88
11	132.91	5.68
12	103.00	12.18
13	189.89	16.53
14	227.88	33.35
15	238.78	30.32
16	235.79	13.24
17	229.36	10.98
18	16.99	3.93
19	31.89	11.12
20	53.82	7.80
21	38.92	19.26
計		418.2.7583
		≒ 10.806.37916㎡

201

区画	高さ	積算積
1	131.03	55.22
2	69.44	30.97
3	113.30	28.55
4	73.14	22.46
5	79.94	35.45
6	79.84	29.89
7	66.81	40.69
8	81.61	51.06
9	12.81	21.80
10	229.70	49.46
11	132.91	17.88
12	81.37	10.33
13	80.00	5.98
14	75.35	8.84
15	69.14	17.89
16	13.38	6.31
17	9.03	1.30
18	2.63	1.35
19	50.69	10.90
20	50.69	8.64
21	36.01	13.38
計		4.8854.0707
		≒ 24.327.05335㎡



延べ床面積 求積図



1階 延べ床面積			
①	21.300	×	22.388 = 476.854
②	0.650	×	0.325 × 0.50 = 0.106
③	0.650	×	2.933 × 0.50 = 1.906
④	2.933	×	2.933 × 0.50 = 4.301
⑤	2.889	×	2.933 × 0.50 = 4.236
⑥	0.953	×	2.889 = 2.754
⑦	0.46	×	0.46 × 0.50 = 0.106
⑧	7.425	×	3.936 = 29.225
⑨	7.425	×	15.325 = 113.788
⑩	0.650	×	0.325 × 0.50 = 0.106
⑪	0.650	×	2.933 × 0.50 = 1.906
⑫	2.933	×	2.933 × 0.50 = 4.301
⑬	2.889	×	2.933 = 4.236
⑭	0.953	×	2.889 = 2.754
⑮	0.46	×	0.46 × 0.50 = 0.106
⑯	7.425	×	3.936 = 29.225
⑰	7.425	×	15.325 = 113.788
⑱	2.200	×	3.355 = 7.318
小計 (㎡)			797.08

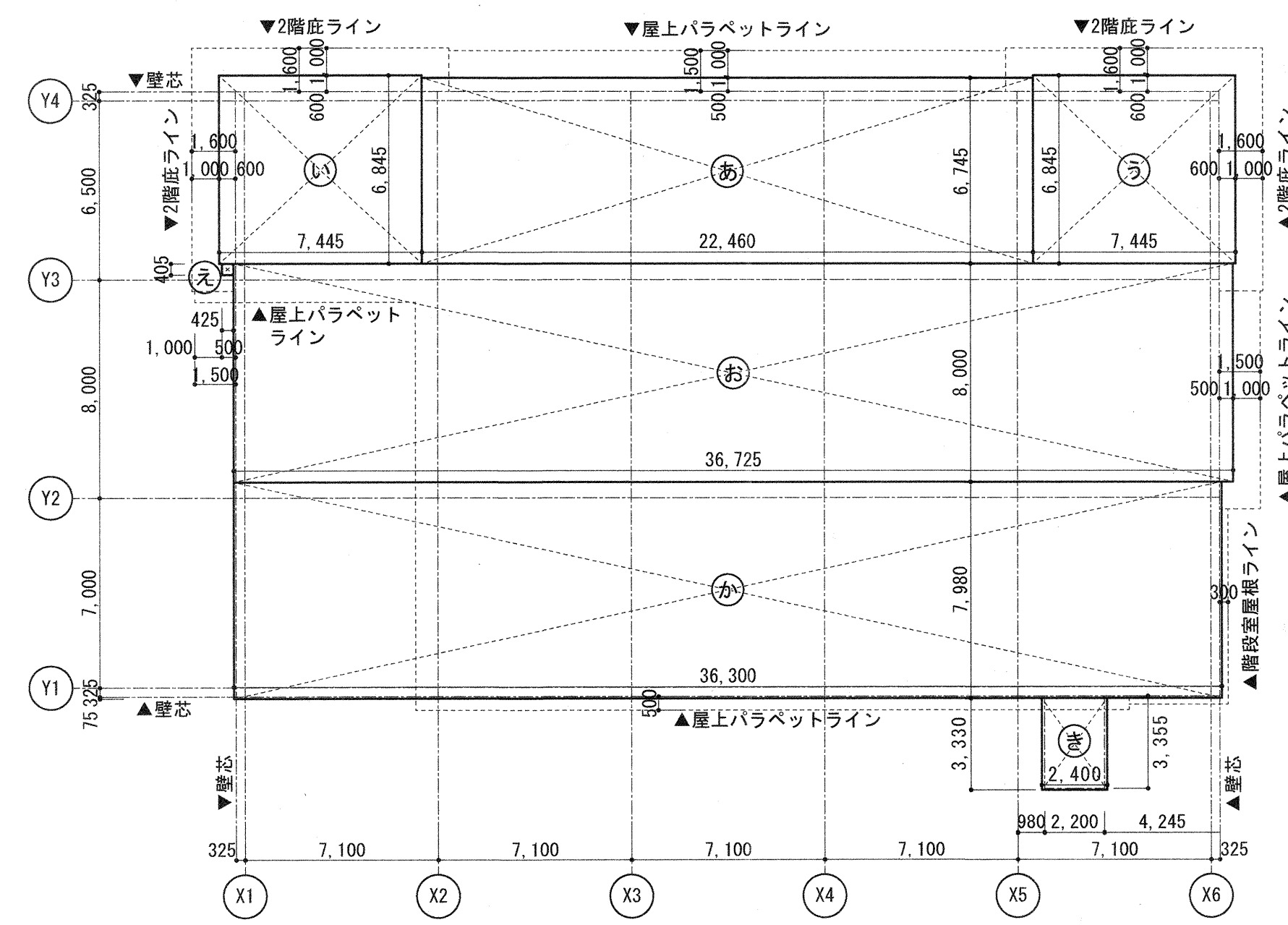
2階 延べ床面積			
⑲	36.625	×	7.063 = 258.664
⑳	36.388	×	8.000 = 291.100
㉑	36.150	×	7.325 = 264.799
㉒	6.300	×	6.525 = 41.108
㉓	4.830	×	4.115 = 19.875
小計 (㎡)			753.58

3階 延べ床面積			
㉔	21.300	×	6.825 = 145.373
㉕	7.663	×	7.063 = 54.116
㉖	7.663	×	7.063 = 54.116
㉗	29.288	×	8.000 = 234.304
㉘	29.050	×	7.325 = 212.791
㉙	7.338	×	0.325 = 2.385
㉚	3.330	×	4.200 = 13.986
㉛	6.300	×	0.315 = 1.985
小計 (㎡)			687.11

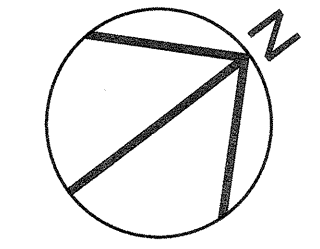
R階 延べ床面積			
㉜	3.395	×	7.000 = 23.765
小計 (㎡)			23.77

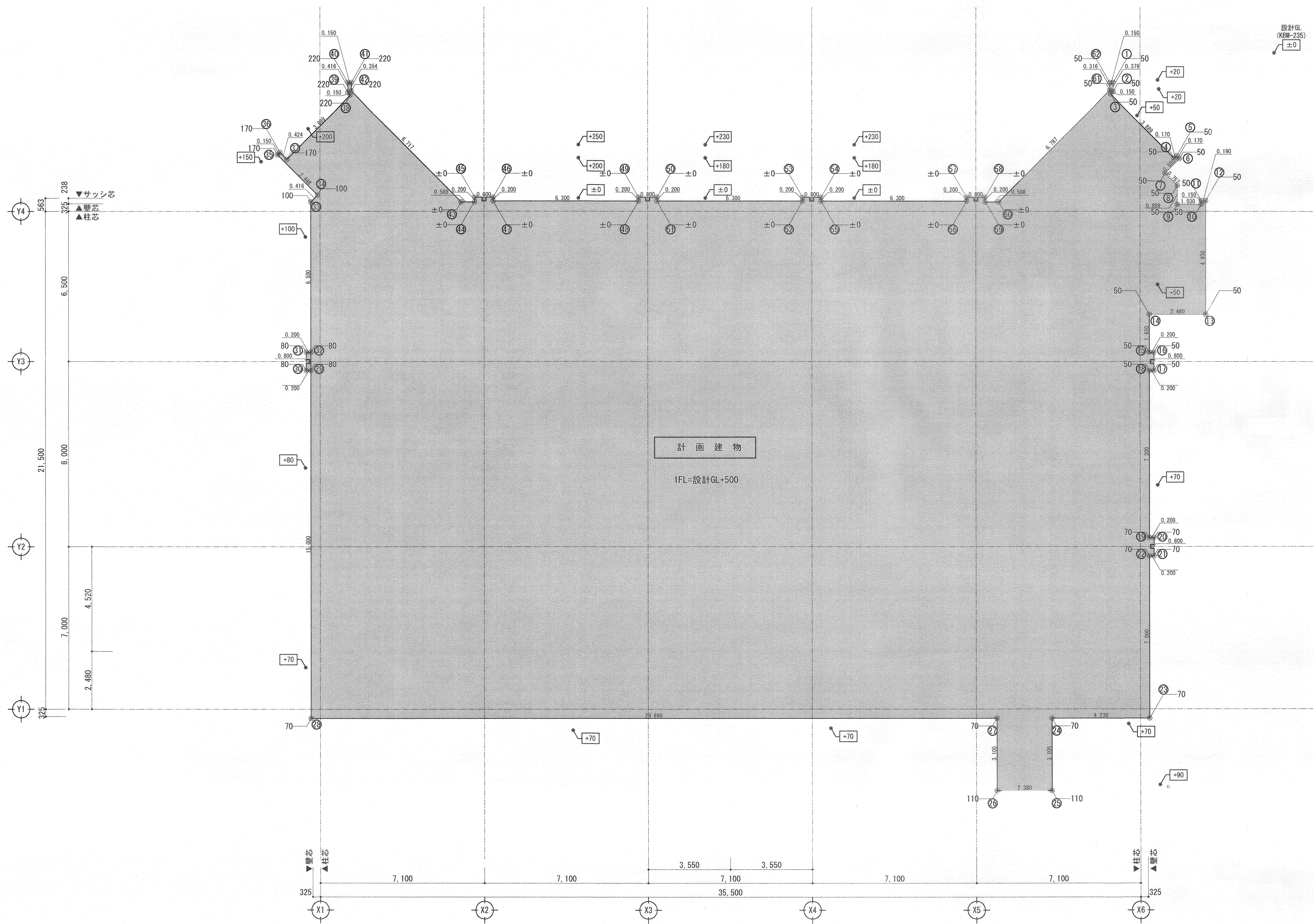
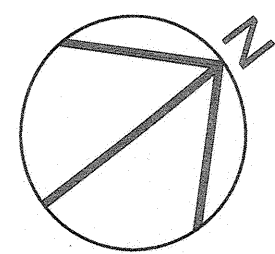
延べ床面積		延べ床面積	
延べ床面積	延べ床面積	総合計 (㎡)	2261.54

建築面積 求積図



建築面積			
あ	22.460	×	6.745 = 151.493
い	7.445	×	6.845 = 50.961
う	7.445	×	6.845 = 50.961
え	0.425	×	0.405 = 0.172
お	36.725	×	8.000 = 293.800
か	36.300	×	7.980 = 289.674
け	2.400	×	3.330 = 7.992
小計 (㎡)			845.05





設計GL
(K201-235)
±0

平均地盤面算定表

地点	高さ(台形:上底+下底)	外壁周長	断面積
1 - 2	50	×	0.379
2 - 3	50	×	0.150
3 - 4	50	×	3.889
4 - 5	50	×	0.170
5 - 6	50	×	0.170
6 - 7	50	×	0.880
7 - 8	50	×	0.757
8 - 9	50	×	0.809
9 - 10	50	×	1.030
10 - 11	50	×	0.150
11 - 12	50	×	0.190
12 - 13	50	×	4.930
13 - 14	50	×	2.440
14 - 15	50	×	1.620
15 - 16	50	×	0.200
16 - 17	50	×	0.800
17 - 18	50	×	0.200
18 - 19	(50 + 70)	×	7.200 × 0.5
19 - 20	70	×	0.200
20 - 21	70	×	0.800
21 - 22	70	×	0.200
22 - 23	70	×	7.000
23 - 24	70	×	4.230
24 - 25	(70 + 110)	×	3.105 × 0.5
25 - 26	110	×	2.380
26 - 27	(110 + 70)	×	3.105 × 0.5
27 - 28	70	×	29.690
28 - 29	(70 + 80)	×	15.000 × 0.5
29 - 30	80	×	0.200
30 - 31	80	×	0.800
31 - 32	80	×	0.200
32 - 33	(80 + 100)	×	6.500 × 0.5
33 - 34	100	×	0.416
34 - 35	(100 + 170)	×	2.448 × 0.5
35 - 36	170	×	0.150
36 - 37	170	×	0.424
37 - 38	(170 + 220)	×	3.889 × 0.5
38 - 39	220	×	0.150
39 - 40	220	×	0.416
40 - 41	220	×	0.150
41 - 42	220	×	0.354
42 - 43	(220 + 0)	×	6.717 × 0.5
43 - 44	0	×	0.588
44 - 45	0	×	0.200
45 - 46	0	×	0.800
46 - 47	0	×	0.200
47 - 48	0	×	6.300
48 - 49	0	×	0.200
49 - 50	0	×	0.800
50 - 51	0	×	0.200
51 - 52	0	×	6.300
52 - 53	0	×	0.200
53 - 54	0	×	0.800
54 - 55	0	×	0.200
55 - 56	0	×	6.300
56 - 57	0	×	0.200
57 - 58	0	×	0.800
58 - 59	0	×	0.200
59 - 60	0	×	0.588
60 - 61	(0 + 50)	×	6.787 × 0.5
61 - 62	50	×	0.316
62 - 1	50	×	0.150
		146.257	9.567.060
		断面積合計	9.567.060
		外壁周長	146.617
		平均地盤高さ	65.2520
		改め	65.25

凡例一覧表・記号表				共通事項																		
分類	符号	名称	分類	符号	名称	分類	符号	名称														
基材	BM	ベンチマーク	構造	RC	鉄筋コンクリート	下地	RC	コンクリート・鉄筋コンクリート	HL	ヘアライン仕上												
	KEM	仮ベンチマーク		S	鉄骨		RC (A)	コンクリート打放し仕上 (A種)		その他	塗	SOP	合成樹脂調合ペイント									
	GL	基準地盤面		LGS	軽量鉄骨		RC (B)	コンクリート打放し仕上 (B種)					EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント								
	FL	基準床面		CB	コンクリートブロック		RC (C)	コンクリート打放し仕上 (C種)						EP	認定番号: NM-8585 (不燃材料)							
	W	幅		W	木製・木造		LGS	軽量鉄骨壁 (天井) 下地							CL	つや有合成樹脂エマルジョンペイント						
	L	長さ		MO	モルタル		W	木軸下地								DP	認定番号: NM-8585 (不燃材料)					
	H	高さ		ST	スチール		MO	モルタル									認定番号: NM-8585 (不燃材料)	クリアラッカー				
	d, φ, D	直径		AL	アルミニウム		WMO	防水モルタル										認定番号: NM-8573 (不燃材料)	耐候性塗料 (1級フッ素)			
	s	縮尺		SUS	ステンレス		CB	コンクリートブロック											認定番号: NM-8572 (不燃材料)	内装用水系アクリル樹脂塗料		
	φ	間隔		PL	プレート		SL	セルフレベリング												内装用水系アクリル樹脂塗料		
	t	厚さ		FB	フラットバー		OA	OAフロア														
	PS	ハイスペース		C.PL	チェッカープレート		Cコテ	コンクリート金コテ押え														
SL	基準床面																					
CH	天井高さ																					

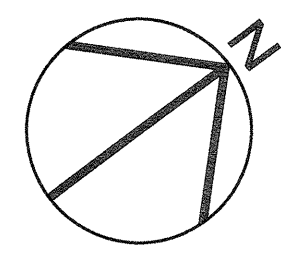
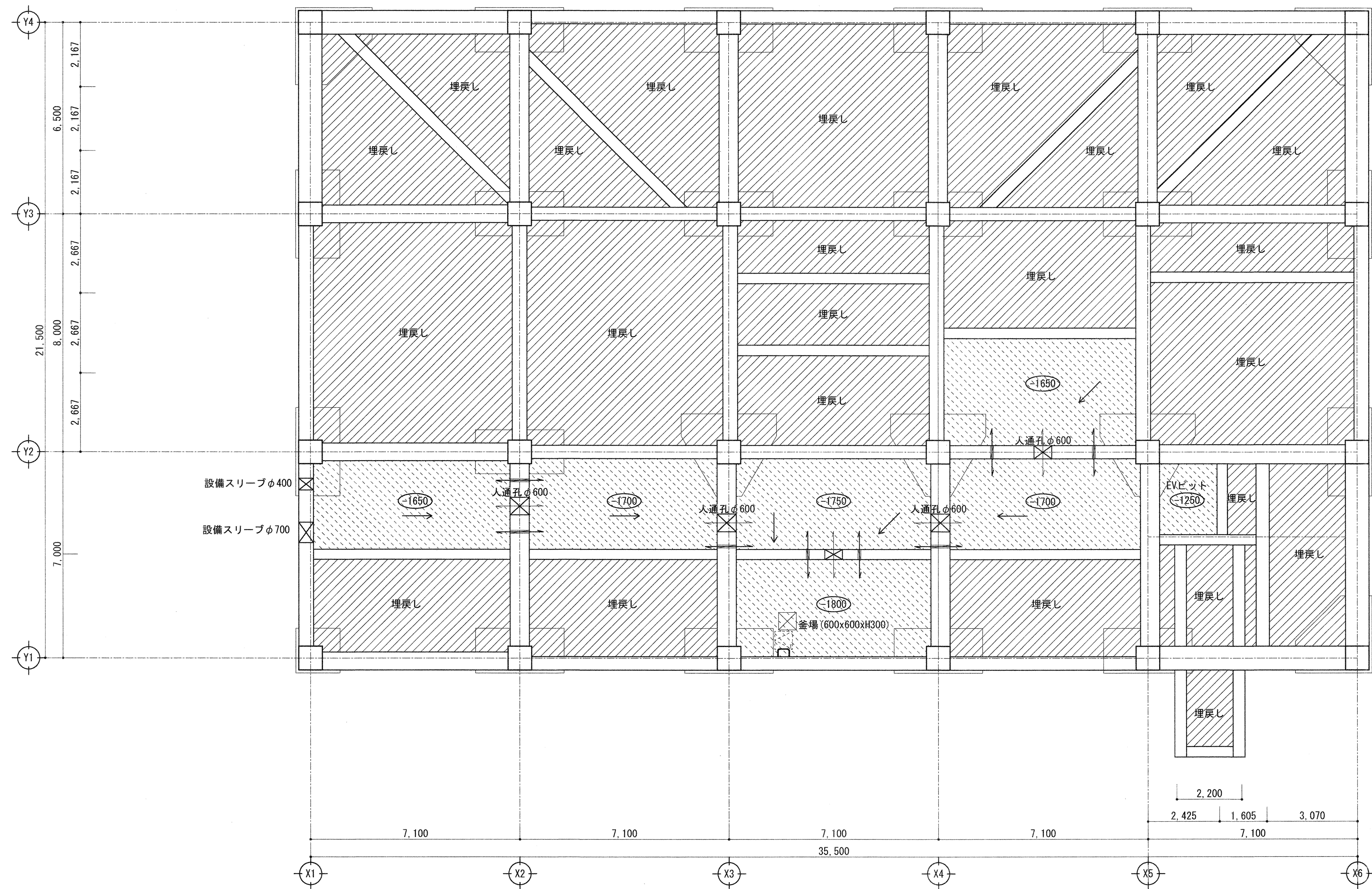
凡例

○+100	基準FLからのレベルを示す。
⊠	床点検口
⊠	注意喚起床材、視覚誘導床材 (300x300) 特記なき限り、外部・内部共通とする。
▼	出入口を示す

分類	図面凡例	名称	形状・寸法	備考	
防水		ウレタン複合塗膜防水			
		ウレタン複合塗膜防水			
石・タイル	FT450	450角磁器質タイル			
	FT300	300角磁器質タイル			
天井	V	塩ビ装			
	CB(A)	既製品カーテンボックス (アルミ製)	120x150		
床	VB	ビニル幅木	H60		
	VS1	ビニル床シート	t2.0		
	VS2	抗菌防汚性ビニル床シート	t2.0		
	Tca	タイルカーペット	t6.5		
	CDF	コンクリート直均し			
	VT	ビニル床タイル (敷敷き、帯電性)	t4. t5		
	VT (木目調)	ビニル床タイル (木目調)	t3		
	塗床-1	薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗床			
	塗床-2	水性硬質ウレタン系塗床材 (防汚性、耐水性)			
	その他	TB	トイレブース	図示	
		HB	配管ライニング	図示	
		TD (VP)	たて樋 (カラーVP)	φ100	SUS組み金物共
TD (AL)		たて樋 (アルミ製) バンドレス	φ125	凹部取付金物共	
RD-T		たて引き用ルーフトレン	φ100	鋳物製	
RD-Y		よこ引き用ルーフトレン	φ100	鋳物製	
GWB		グラスウールボード ガラスクロス押え	t25	NM-8606	
PPF		ポリスチレンフォーム保温板	t30		
FU		現場発泡硬質ウレタンフォーム t25			
GL		直張り工法			

内部仕上表		★: 化学物質の濃度測定対象室を示す。																			
階	室名 (FL, SLは各階FLからの高さを示す)	床 下地 仕上	幅木	壁・柱型 下地 仕上	天井 仕上	廻縁	カッパ ボックス	備考	階	室名 (FL, SL / GH)	床 下地 仕上	幅木	壁・柱型 下地 仕上	天井 仕上	廻縁	カッパ ボックス	備考				

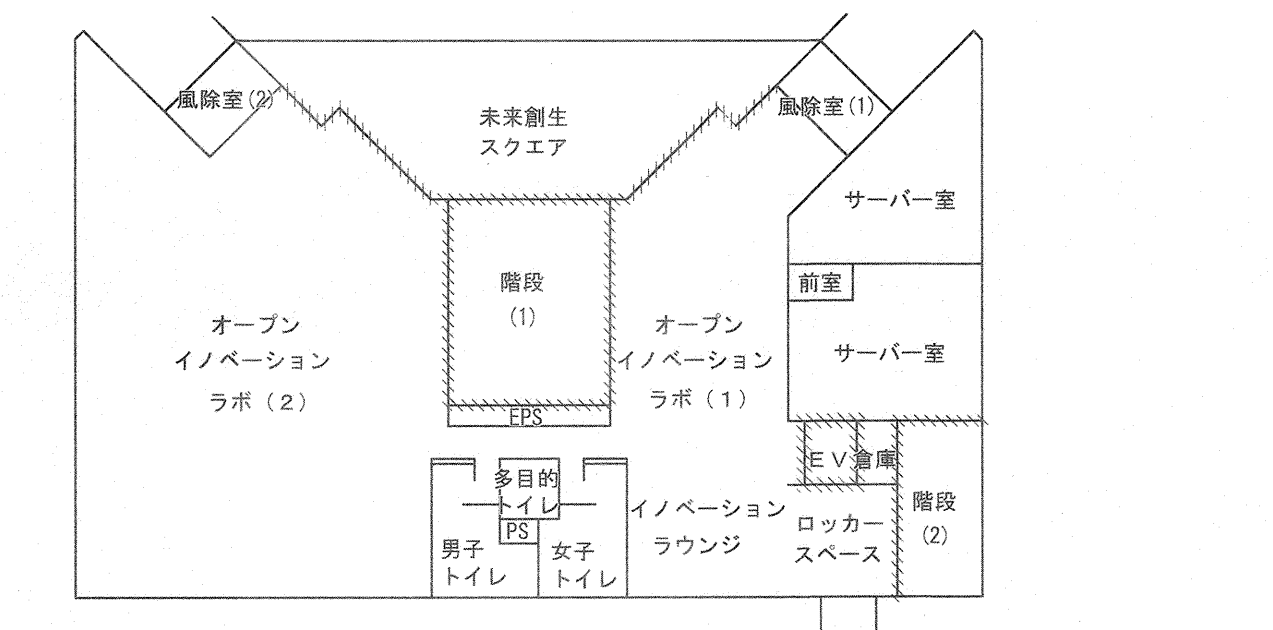
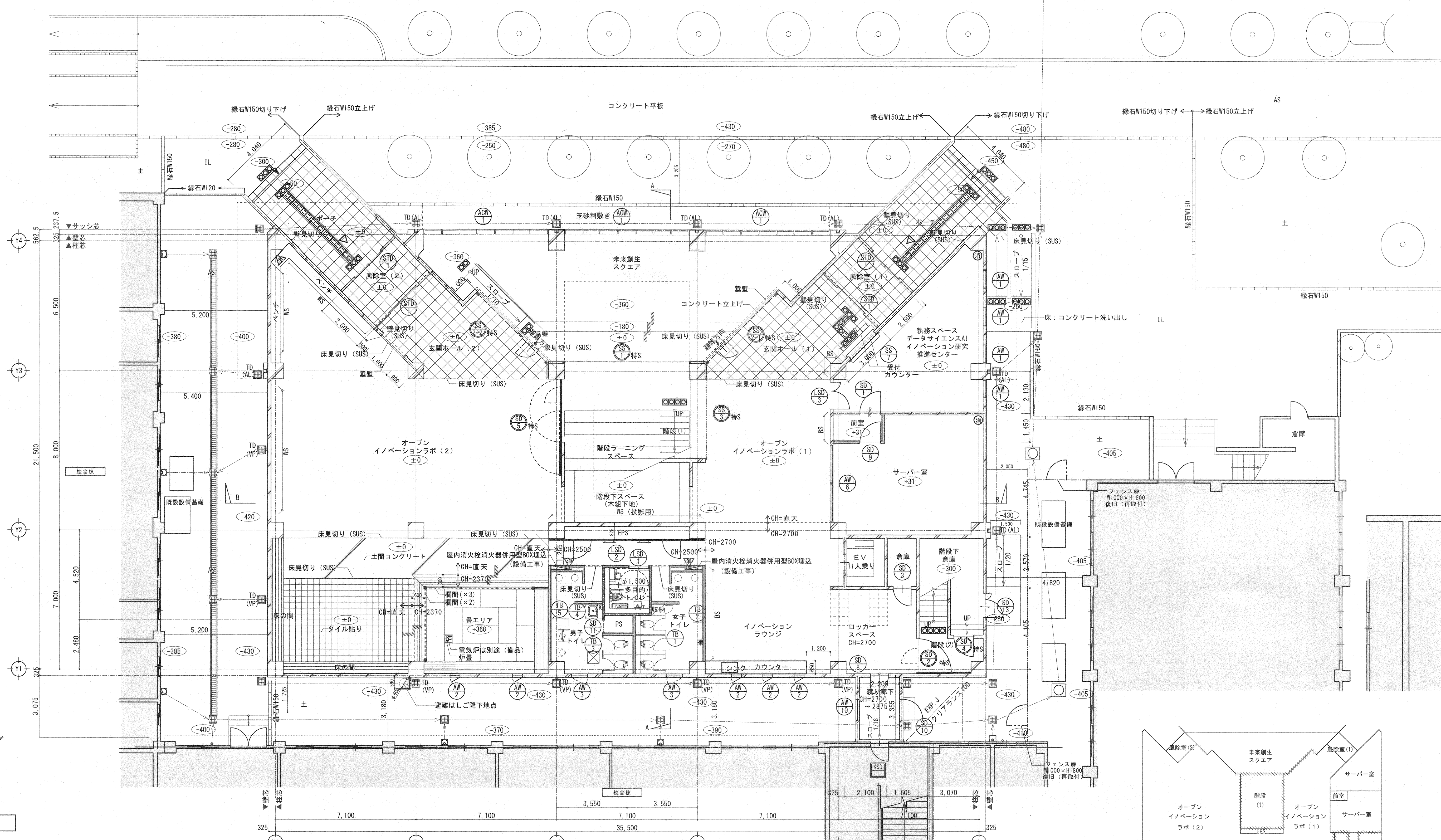
1	風除室 (1) (2)	±0 / -30 / 2500	タイル下地 MO	FT450	RC (A) H=60	壁	RC (B) 全面補修	無軸磁器質割肌タイル貼り 30×227×t10~35/mm	LGS	アルミスバンドレル (木目調)	-	-	壁見切り (SUS)	3	ラボスペース	±0 / -15 / 直天	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	ノンフロン湿式不燃断熱材 吹付t30	-	-	
	玄関ホール (1) (2)	±0 / -30 / 2500	タイル下地 MO	FT450	RC (A) H=60	壁	RC (B) 全面補修	無軸磁器質割肌タイル貼り 30×227×t10~35/mm	LGS	アルミルーバー (木目調)	-	-	床見切り (SUS) 壁見切り (SUS) 照明取付用アングルL型 L9×130×130×100@300 EP-G塗装	3	クリエイティブスタジオ	±0 / -15 / 直天	SL	Tca	VB H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	ノンフロン湿式不燃断熱材 吹付t30	-	-	
	未来創生スクエア	-360 / -390 / 直天	Cコテ	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	GWB t25	-	-	受付カウンター	3	プレゼンテーションラウンジ	±0 / -15 / 直天	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	ノンフロン湿式不燃断熱材 吹付t30	-	-	
	データサイエンス AIイノベーション推進センター	±0 / -15、-600 / 直天	OA H=600	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	LGS	GWB t25	-	-	受付カウンター	3	コラボレーションブース	±0 / -15 / 直天	SL	Tca	VB H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	ノンフロン湿式不燃断熱材 吹付t30	-	-	
	サーバ室 前室	±0 / -600 / 直天	OA H=600	VT 一部OAフロア空調用パネル	VB H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	ノンフロン湿式不燃断熱材 吹付t30	-	-	床見切り (SUS)	3	イノベーションラウンジ	±0 / -15 / 2500	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	LGS	アルミルーバー (木目調)	-	-	
	オープンイノベーションラボ (1) (2)	±0 / -100、-30 / 直天	OA H=100	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	GWB t25	-	-	床の間 ベンチ 床見切り (SUS)	3	男子トイレ	±0 / -15 / 2500	SL	VS2	床材立上 H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	MR (A)	LGS	GB-D t 9.5	V	-
	畳エリア	±0、+360 / -200、-30 / 2700	構造用合板t12 + 木組下地 MO	タタミ: 縁有 t55 板の間: フローリング t=15 一部タイル貼り FT300	雑巾拭 H=15	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)		-	-		3	女子トイレ	±0 / -15 / 2500	SL	VS2	床材立上 H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	MR (A)	LGS	GB-D t 9.5	V	-
	イノベーションラウンジ	±0 / -15、-30 -100 / 2700	Cコテ	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	LGS	FK+木目調化粧シート	V	-	カウンター・シンク	3	多目的トイレ (3階広めトイレ)	±0 / -15 / 2500	SL	VS2	床材立上 H=60	壁・柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	MR (A)	LGS	GB-D t 9.5	V	-
	階段下スペース	-360 (±0) / -390 / 直天	Cコテ + 木組下地	VT (木目調)	VB H=60 (木目調)	壁・柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	段裏: EP-G	-	-		3	ロッカースペース	±0 / -15 / IF: 2700/2・3F: 2500	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	LGS	アルミルーバー (木目調)	-	-	
	階段下倉庫	±0 / -30 / 直天	Cコテ	塗床-1	床材立上 H=60	壁・柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	段裏: EP-G	-	-		3	渡り廊下 (1階)	±0~-175/-15~-190/ 2700~2875	SL	VS (木目調)	VB (木目調) H=60	壁	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	LGS	GB-D t 9.5	-	-	
	2	イノベーションセンター (1) ~ (5)	±0 / -15 / 直天	SL	Tca	VB H=60 (木目調)	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	GWB t25	-	-	床見切り (SUS)	3	倉庫	±0 / -15 / 直天	Cコテ	塗床-1	床材立上 H=60	壁・柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (C)	EP-G	-	-
		フュージョンラボ	±0 / -15 / 直天	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	GWB t25	-	-	壁面点検口800角 イノベーションセンター(2)(3)のみ ノンフロン湿式不燃断熱材吹付t30	3	階段 (1) 鉄骨+RC	±0 / -30 / -	MO	集材材 (無垢) t30	VB (木目調) H=60	壁・柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B) S 全面補修	段裏: EP 段裏: EP-G塗装	-	-
	プレゼンテーションラウンジ	±0 / -15 / 直天	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B)	GWB t25	-	-		3	階段 (2) RC	±0 / -30 / -	MO	VS1	VB H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	RC (B) 全面補修	段裏: 内装用薄塗材E	-	-	
	イノベーションラウンジ	±0 / -15 / 2500	SL	VT (木目調)	VB (木目調) H=60	柱型	RC (B) 全面補修	内装用水系アクリル樹脂塗装	LGS	アルミルーバー (木目調)	-	-	カウンター・シンク	3	EV	- / - / -	Cコテ	-	-	壁・柱型	RC (C)	素地下地	RC (C)	-	-		



基礎平面図

凡例	
●●●●	FLからの高さを示す
□	排水蓋場 600×600×H300
□	上部点検口 600角+タラップ
▨	埋め戻し範囲を示す
▨	ピット範囲を示す (水勾配 1/100)
→	通気管: 縦貫塩ビ管 VP100 梁上増打部に設置
→	連通管: 縦貫塩ビ管 VP150 半割 梁下部に設置
⊗	人通り 600φ (5カ所)

記	業務名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営建築設計業務	工事名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月	令和 5年 11月
	事	株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	図面名称	ビット平面図	図面番号	A-17
			縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200		



1階平面図

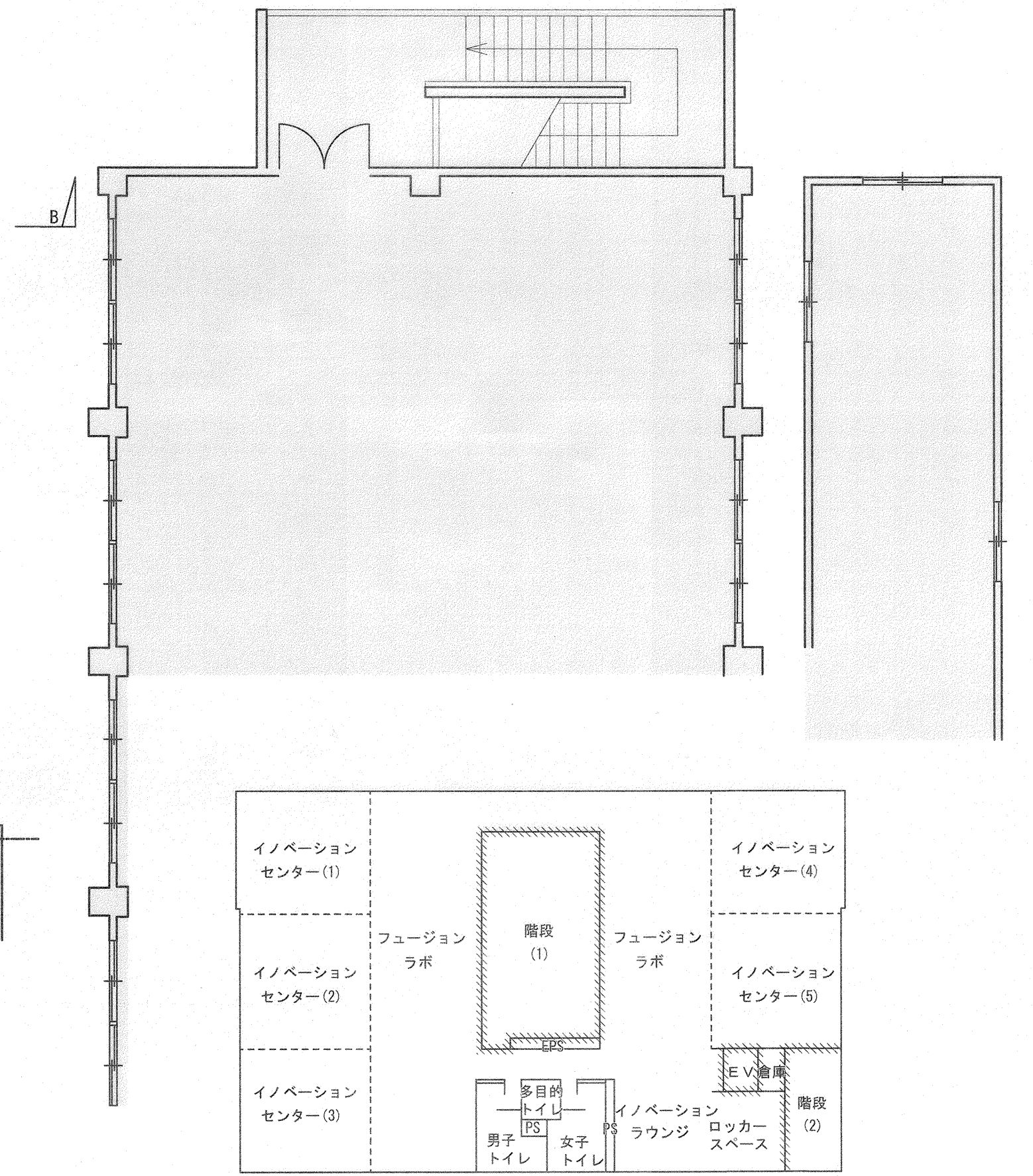
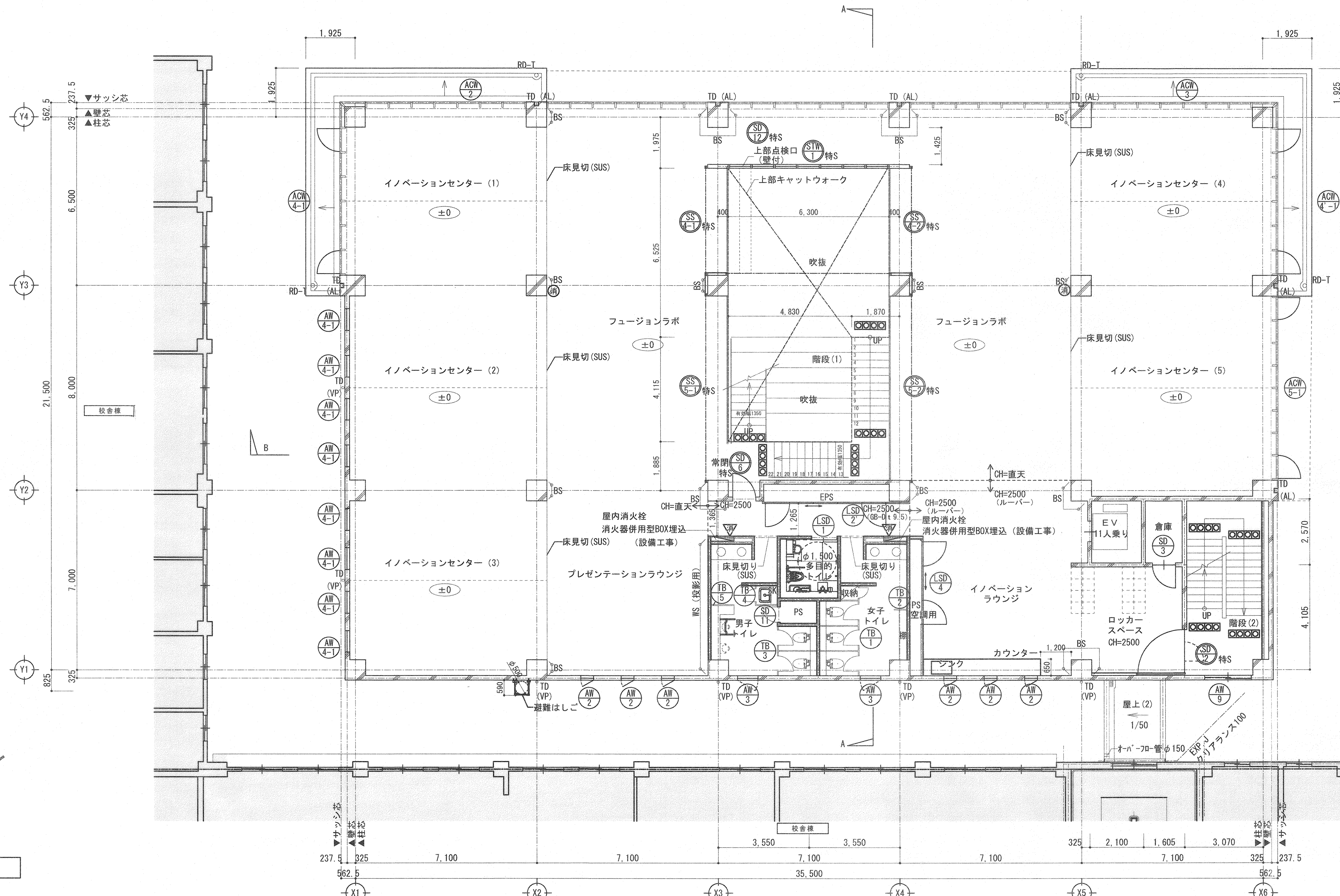
1階区画図 S=1/300

【凡例】

	鉄筋コンクリート造		新設建具を示す	TD (AL)	アルミ製壁極バンドレス125角 (凹部取付金具共)	BS	ブラケット (巾木上~H=2000まで 木製見切H2000 鉄板下地t0.8共)
	LGS 65		新設防火設備を示す	TD (VP)	カラーVP壁極φ100 (SUS製極み金物共)	WS	初イート (巾木上~H=2000まで 木製見切H2000 鉄板下地t0.8共)
	既存建物		新設特定防火設備を示す	RD-T	鋳物製たて引きルーフドレインφ100		床置消火器BOX (表記アツカ共) 別途工事 (備品)
	FLからの高さを示す		改修建具を示す	RD-Y	鋳物製よこ引きルーフドレインφ100		埋込み消火器BOX (表記アツカ共) 特記なき限り建築工事を含む
	床下点検口を示す		代替出入口を示す				視覚誘導点字板を示す
			避難階の出入口を示す				

凡例

	壁穴区画・面積区画を示す。
--	---------------

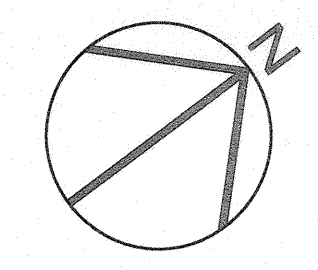
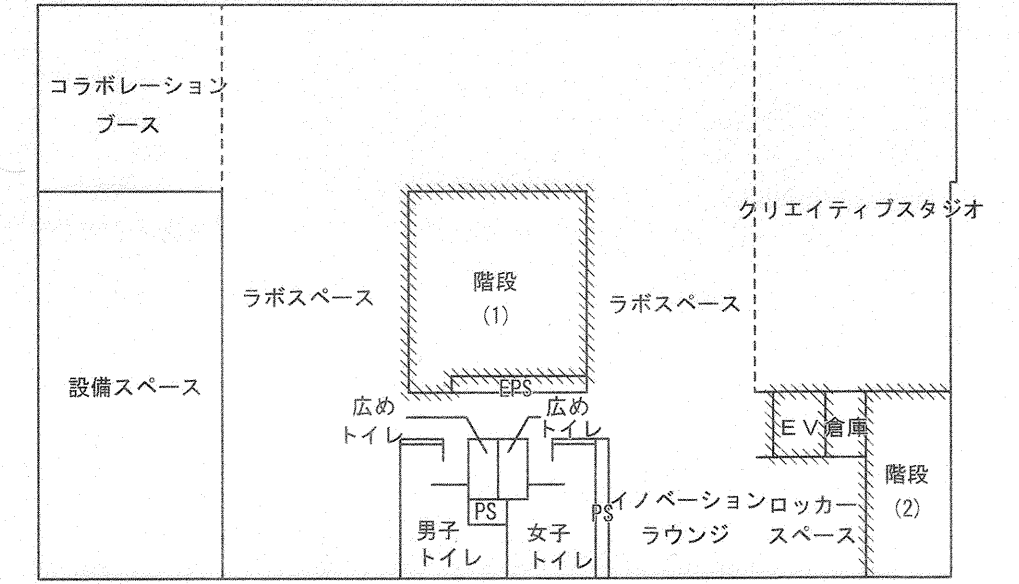
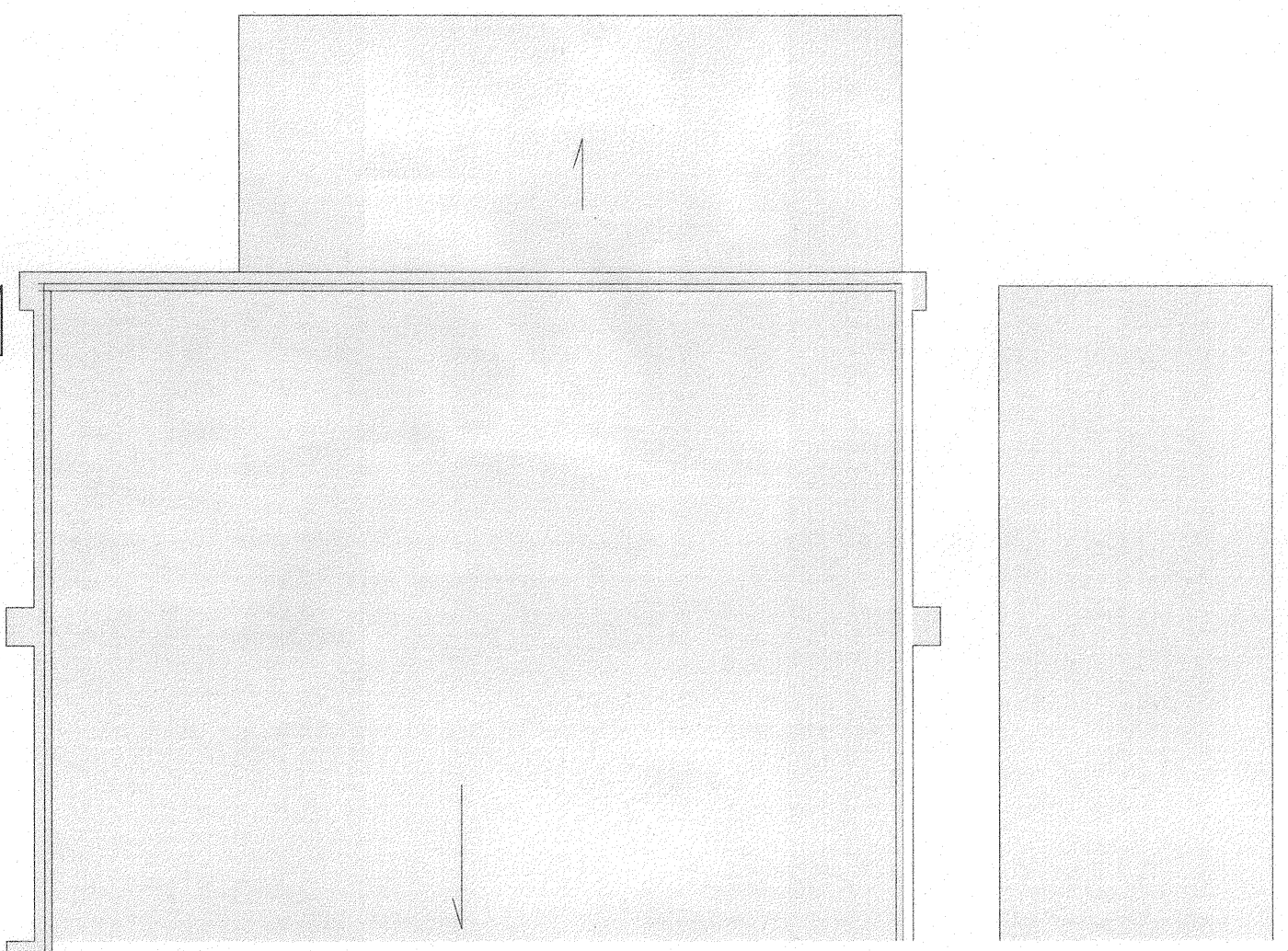
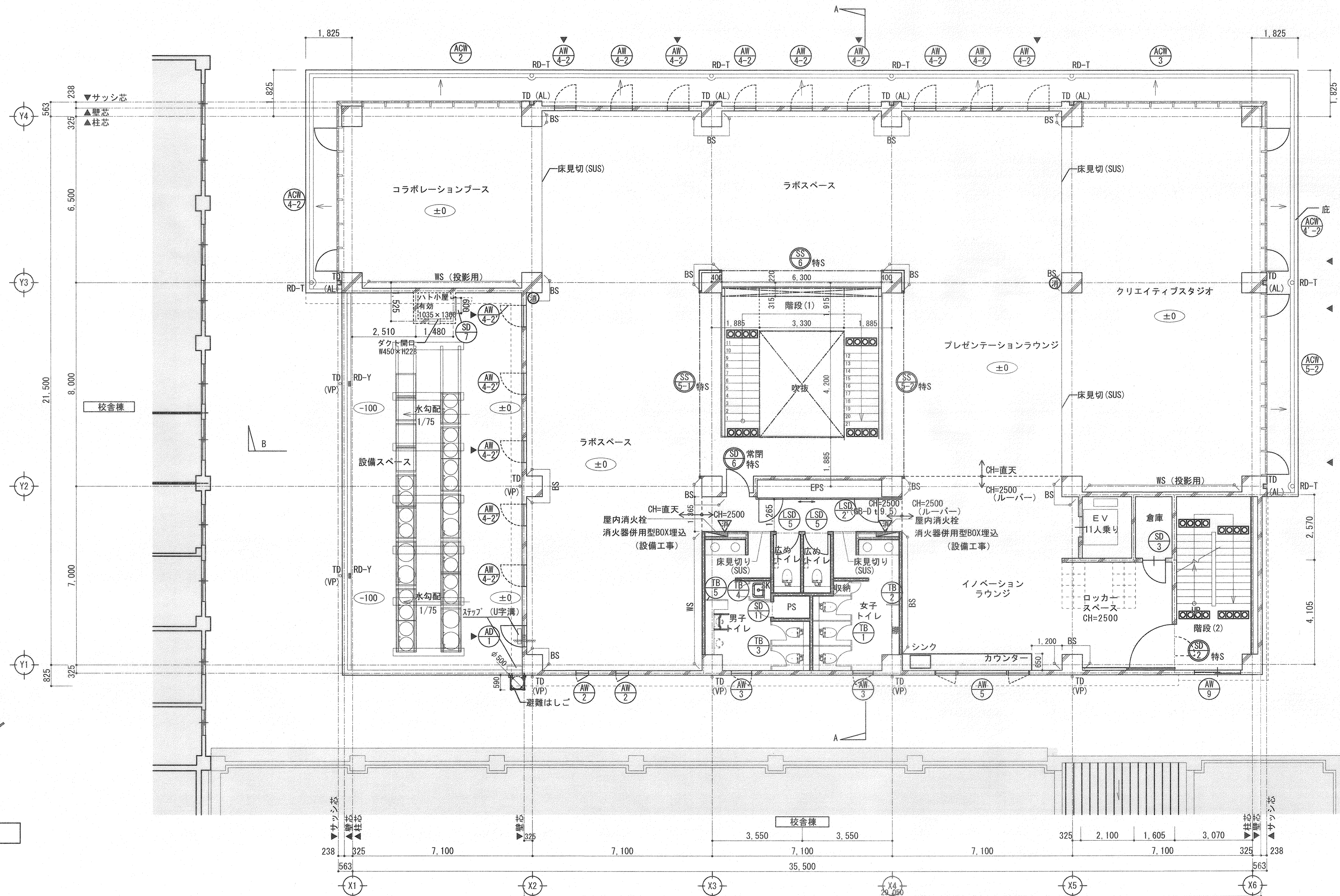


【凡例】

	: 鉄筋コンクリート造		: 新設建具を示す	TD (AL)	: アルミ製壁種バンドレス125角 (凹部取付金具共)	BS	: ブラケット (巾木上~H=2000まで 木製見切H2000 鉄板下地 t.0.8共)
	: LGS 65		: 新設防火設備を示す	TD (VP)	: カラーVP壁種φ100 (SUS製種み金物共)	WS	: 77付シト (巾木上~H=2000まで 木製見切H2000 鉄板下地 t.0.8共)
	: 既存建物		: 新設特定防火設備を示す	RD-T	: 鋳物製たて引きルーフトレインφ100		: 床置消火器BOX (表記Xf共) 別途工事 (備品)
	: FLからの高さを示す		: 改修建具を示す	RD-Y	: 鋳物製よこ引きルーフトレインφ100		: 埋込み消火器BOX (表記Xf共) 特記なき限り建築工事に含む
	: 床下点検口を示す		: 代替出入口を示す				: 視覚誘導点字板を示す
			: 避難階の出入口を示す				

凡例

	: 堅穴区画+面積区画を示す。
--	-----------------

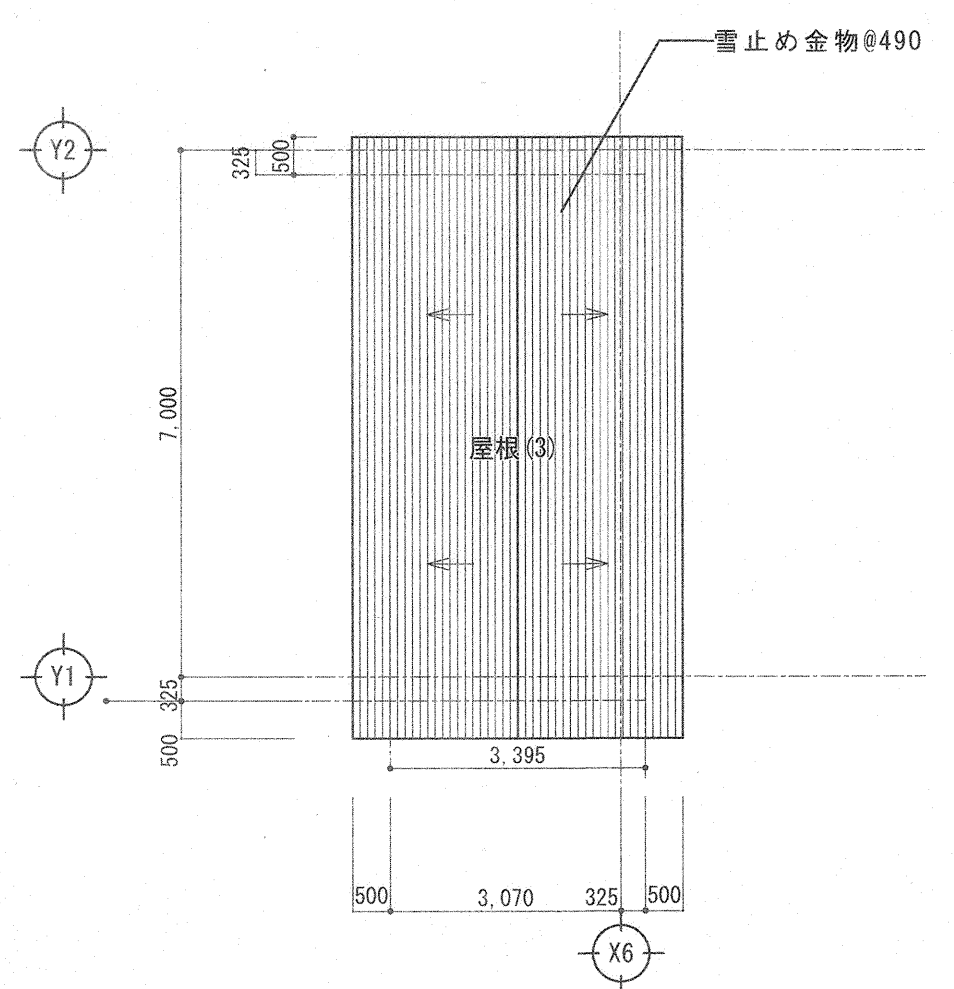
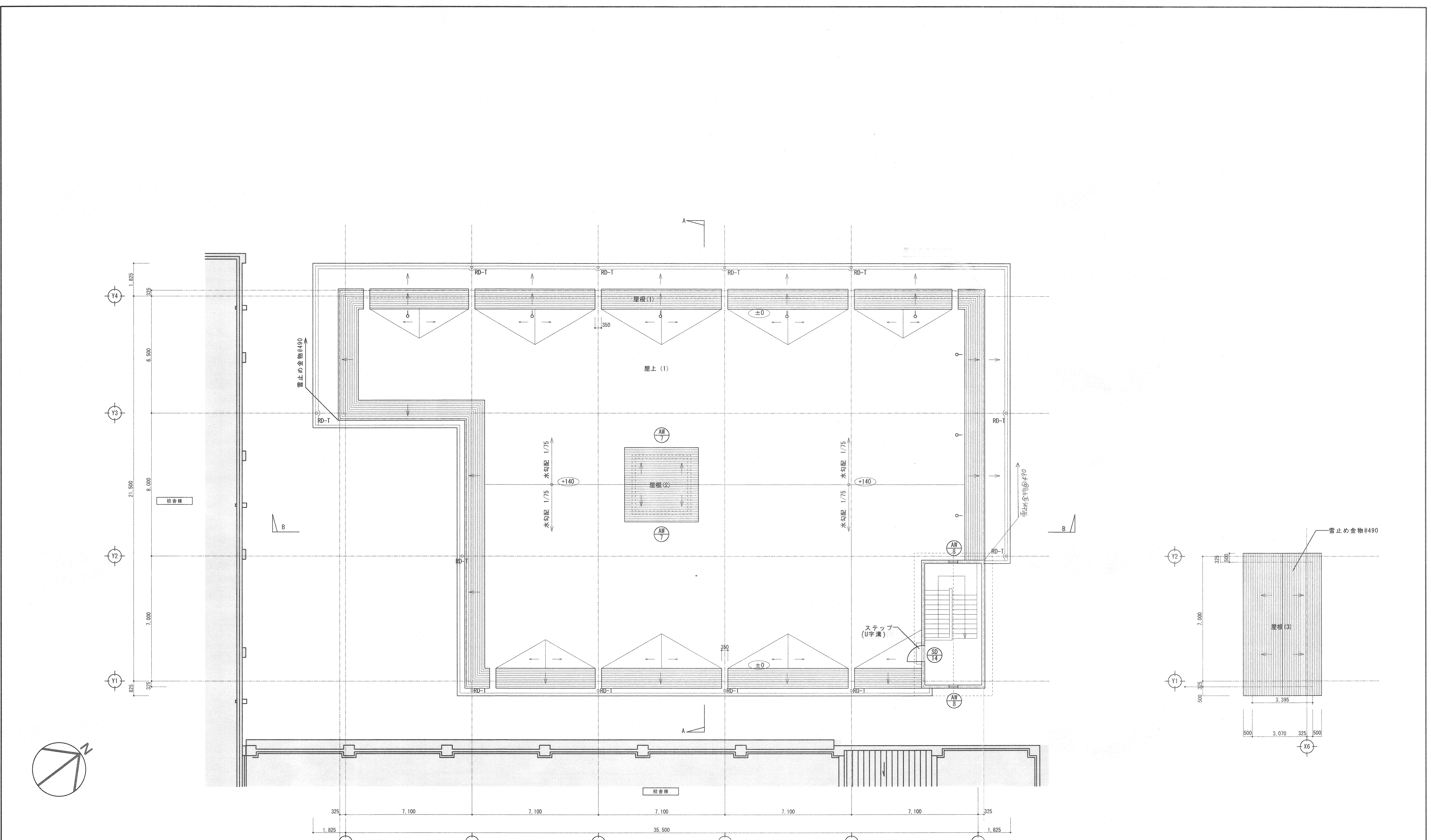


【凡例】

	: 鉄筋コンクリート造		: 新設建具を示す	TD (AL)	: アルミ製壁柱バンドレス125角 (凹部取付金具共)	BS	: プラケット (巾木上~H=2000まで 木製見切H2000 鉄板下地±0.8共)
	: LGS 65		: 新設防火設備を示す	TD (VP)	: カラーVP壁柱φ100 (SUS製種み金物共)	WS	: 77付シート (巾木上~H=2000まで 木製見切H2000 鉄板下地±0.8共)
	: 既存建物		: 新設特定防火設備を示す	RD-T	: 鋳物製たて引きルーフトレインφ100		: 床置消火器BOX (表記シカ共) 別途工事 (備品)
	: FLからの高さを示す		: 改修建具を示す	RD-Y	: 鋳物製よこ引きルーフトレインφ100		: 埋込み消火器BOX (表記シカ共) 特記なき限り隠蔽工事を含む
	: 床下点検口を示す		: 代替建具を示す				: 視覚誘導点字板を示す
			: 避難階の出入口を示す				

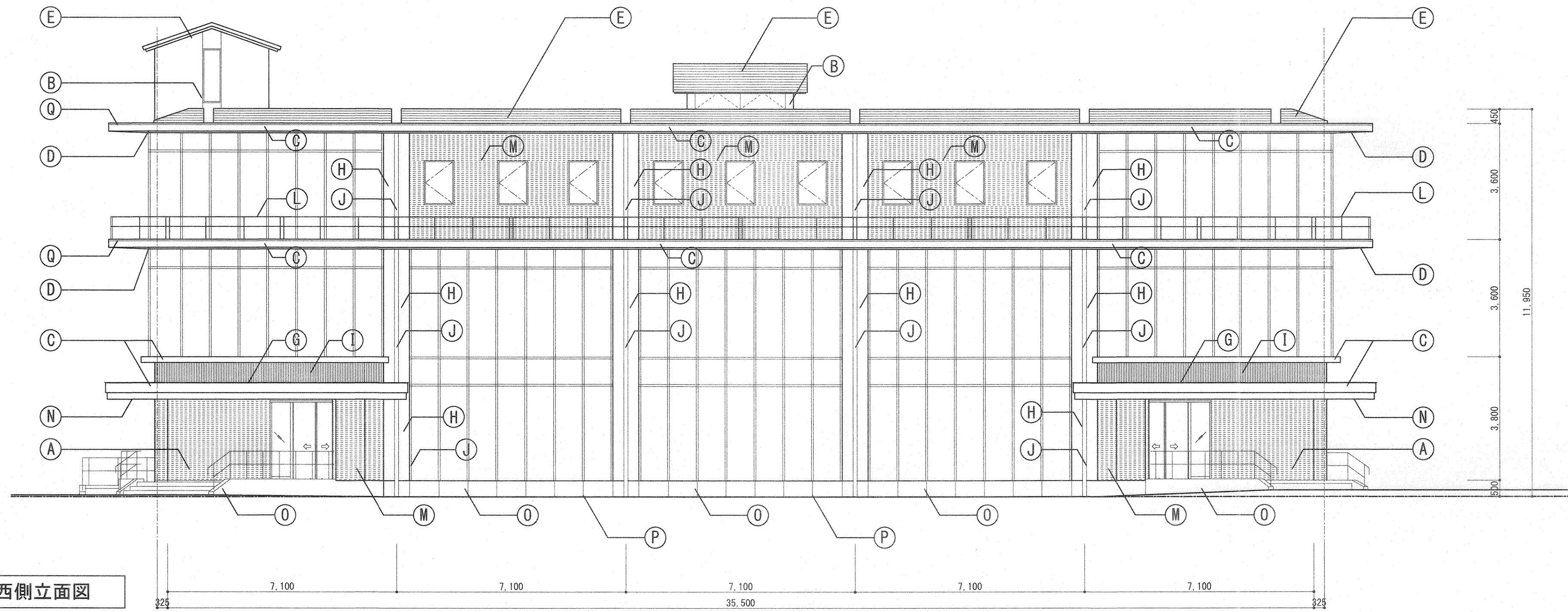
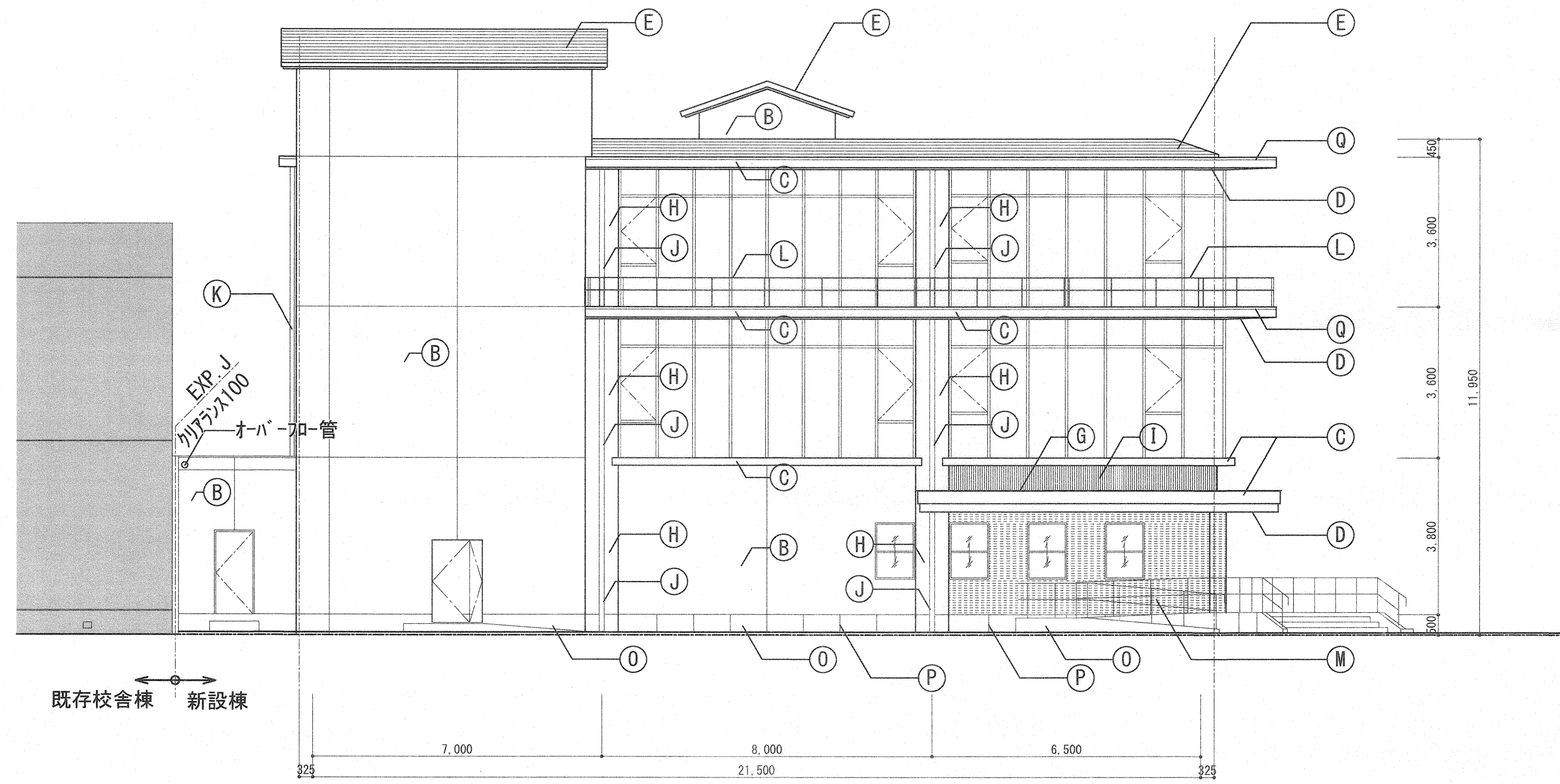
凡例

	: 壁穴区画+面積区画を示す。
--	-----------------



【凡例】

	: 鉄筋コンクリート造		: 新設建具を示す	TD (AL)	: アルミ製縦樋バンドレス125角 (凹部取付金具共)		: 丸環を示す
	: LGS 65		: 新設防火設備を示す	TD (VP)	: カラーVP縦樋φ100 (SUS製組み金物共)		
	: 既存建物		: 新設特定防火設備を示す	RD-T	: 鋳物製たて引きルーフトレインφ100		
	: FLからの高さを示す		: 防火改修建具を示す	RD-Y	: 鋳物製よこ引きルーフトレインφ100		
	: 床下点検口を示す		: 代替進入口を示す				
			: 避難階の出入口を示す				

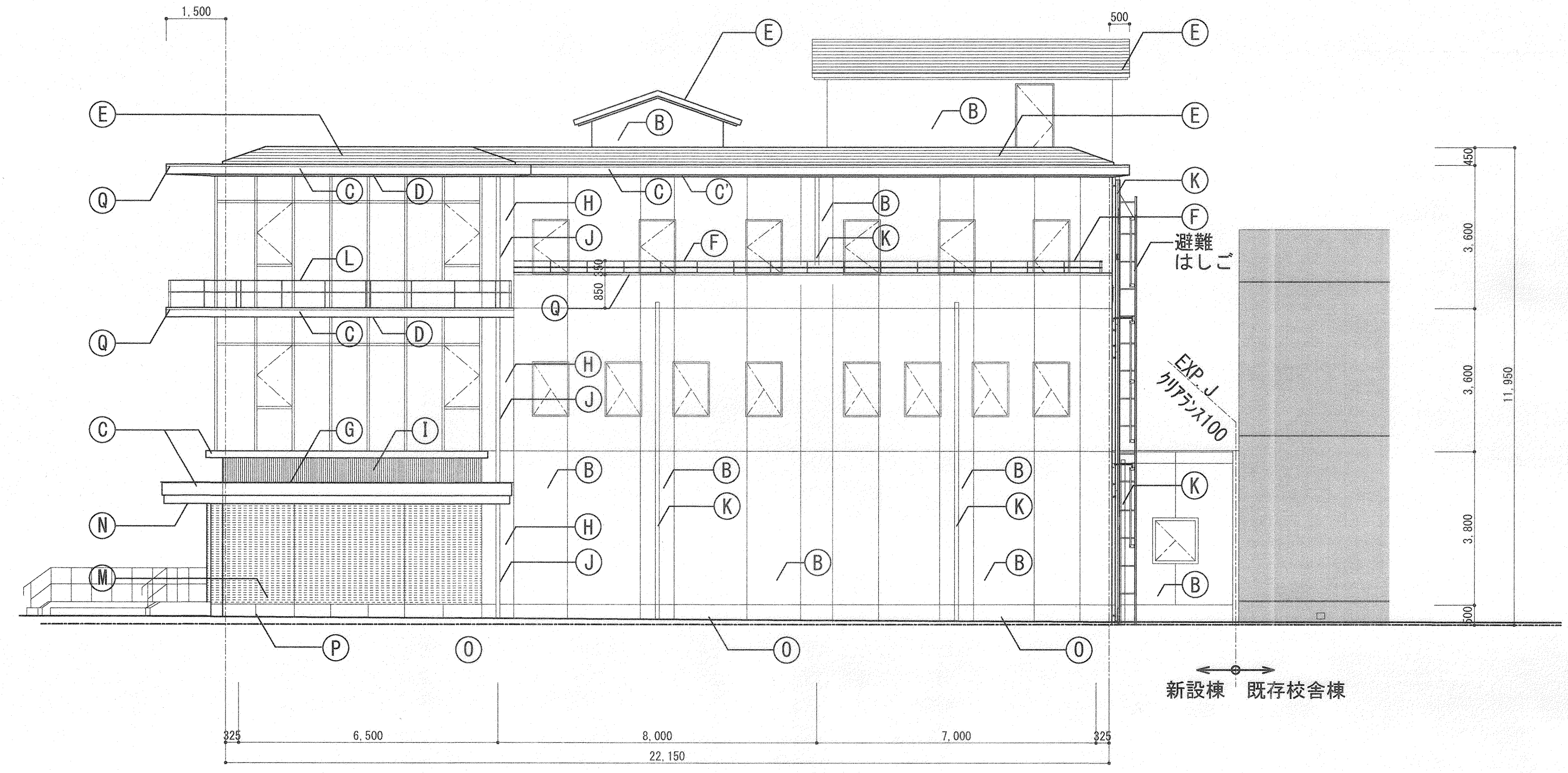


外部仕上

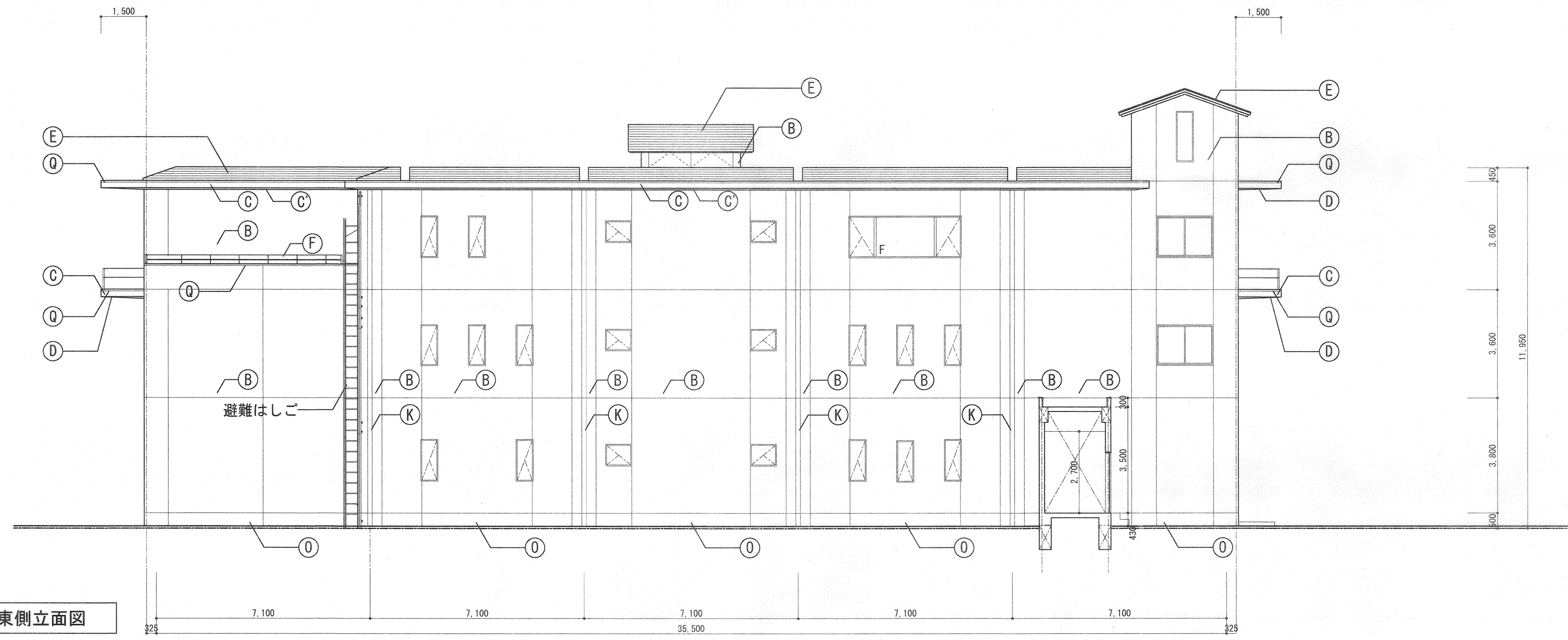
A	RC(B)全面補修の上、無軸磁器質割肌タイル張り	E	屋根：ガルバリウム鋼板 横葺き	J	縦樋：アルミ角型バンドレス125角（凹部納まり）	O	巾木：RC(A)+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装
B	RC(B)全面補修の上、防水形複層塗材E	F	スチール手摺+溶融亜鉛メッキの上、DP塗装	K	縦樋：カラーVP φ100	P	巾木：化粧目地
C	軒先：RC(A)+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装（天井伏図による）	G	アルミデザイン笠木	L	スチール手摺+溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理	Q	水切金物
C	軒裏：RC(A)+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装（天井伏図による）	H	柱型：木目化粧型枠RC打放し+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装	M	RC(B)全面補修の上、装飾仕上塗材（トラバーチン調）		
D	軒裏：RC(B)+軒天用特殊木目調ファンデーション塗装	I	スチールパネルt2.3（溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理）	N	軒裏：アルミスバンドレル（木目調）		

<p>業務名称</p> <p>滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営建築設計業務</p> <p>工事名称</p> <p>滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営その他工事</p> <p>設計年月</p> <p>令和 5年 11月</p>	<p>図面名称</p> <p>立面図（1）</p> <p>縮尺</p> <p>A1：1/100 A3：1/200</p> <p>図面番号</p> <p>A-22</p>

南側立面図

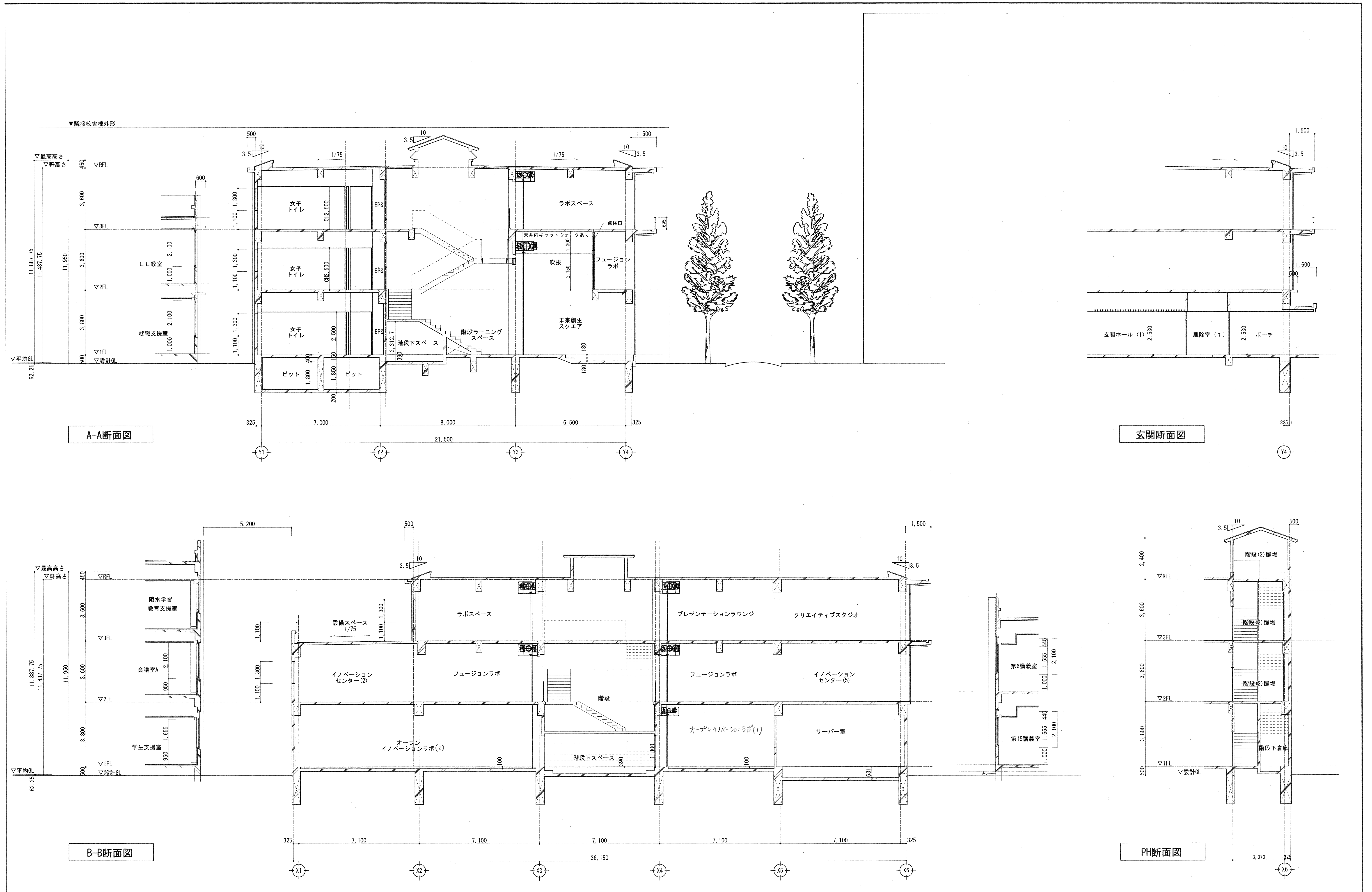


東側立面図



外部仕上			
Ⓐ	RC (B) 全面補修の上 無融磁器質割肌タイル張り	Ⓔ	屋根：ガルバリウム鋼板 横葺き
Ⓑ	RC (B) 全面補修の上 防水形複層塗材E	Ⓕ	スチール手摺+溶融亜鉛メッキの上、DP塗装
Ⓒ	軒先：RC (A)+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装 (天井伏図による)	Ⓖ	アルミデザイン笠木
Ⓓ	軒裏：RC (A)+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装 (天井伏図による)	Ⓗ	柱型：木目化粧型枠RC打放し+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装
Ⓗ	軒裏：RC (B)+軒天用特殊木目調ファンデーション塗装	Ⓘ	スチールパネルt2.3 (溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理)
Ⓙ		Ⓝ	縦樋：アルミ角型バンドレス125角 (凹部納まり)
		Ⓞ	縦樋：カラーVP φ100
		Ⓟ	スチール手摺+溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理
		Ⓠ	RC (B) 全面補修の上 裝飾仕上塗材 (トラバーチン調)
		Ⓡ	巾木：RC (A)+浸透性吸水防止材+フッ素樹脂カラークリア塗装
		Ⓢ	巾木化粧目地
		Ⓣ	水切金物
		Ⓤ	軒裏：アルミスバンドレル (木目調)

業務名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営建築設計業務	工事名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月	令和 5年 11月
設計者	株式会社 総企画設計 京都支店	図面名称	立面図 (2)	図面番号	A-23
資格	一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200		



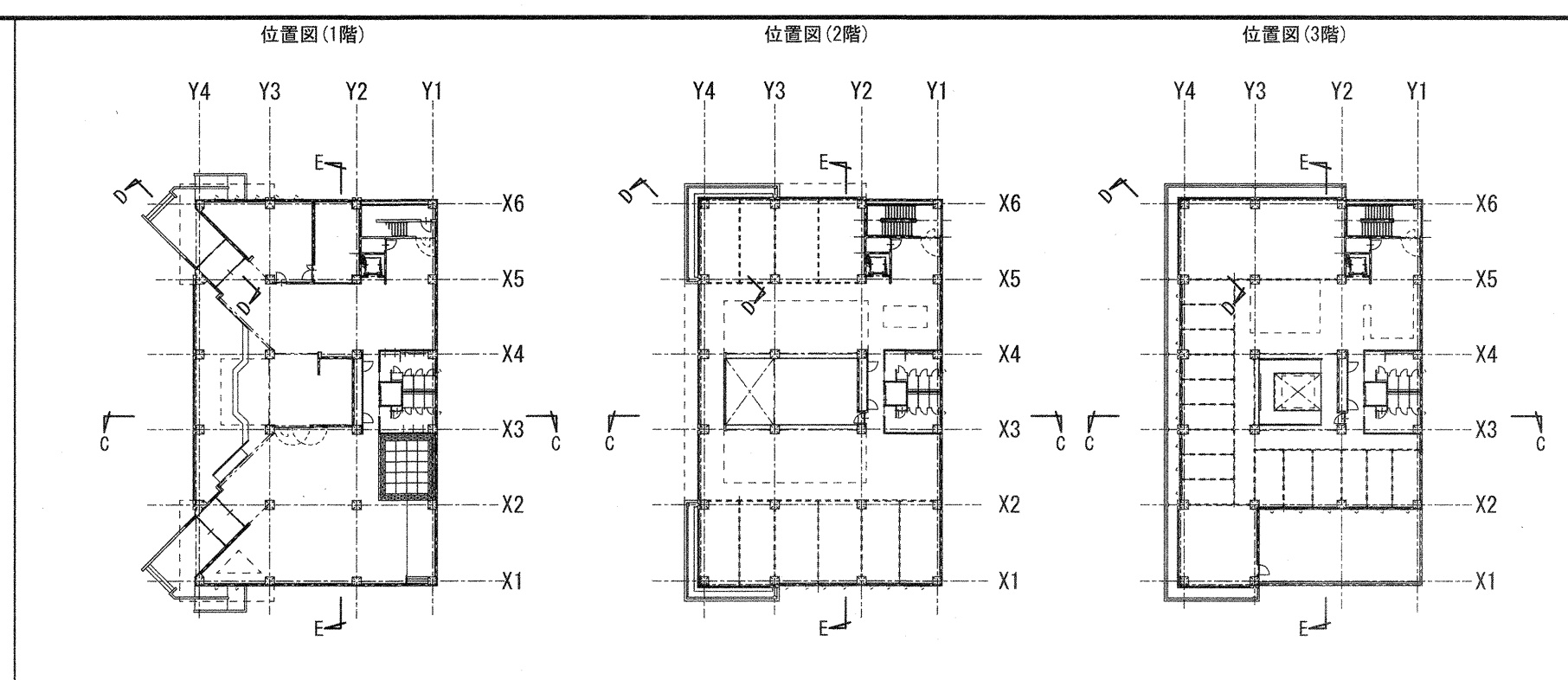
A-A断面図

玄関断面図

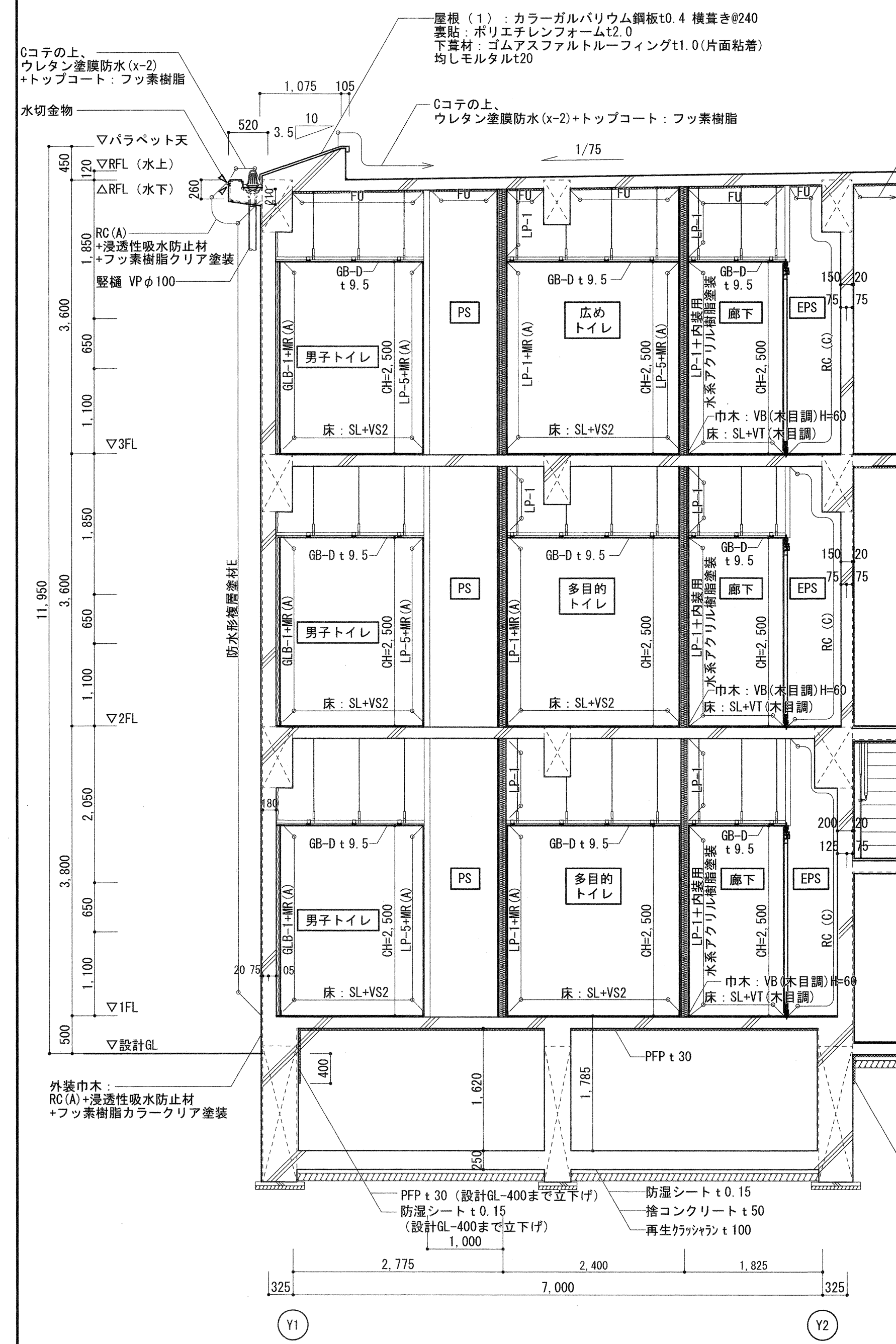
B-B断面図

PH断面図

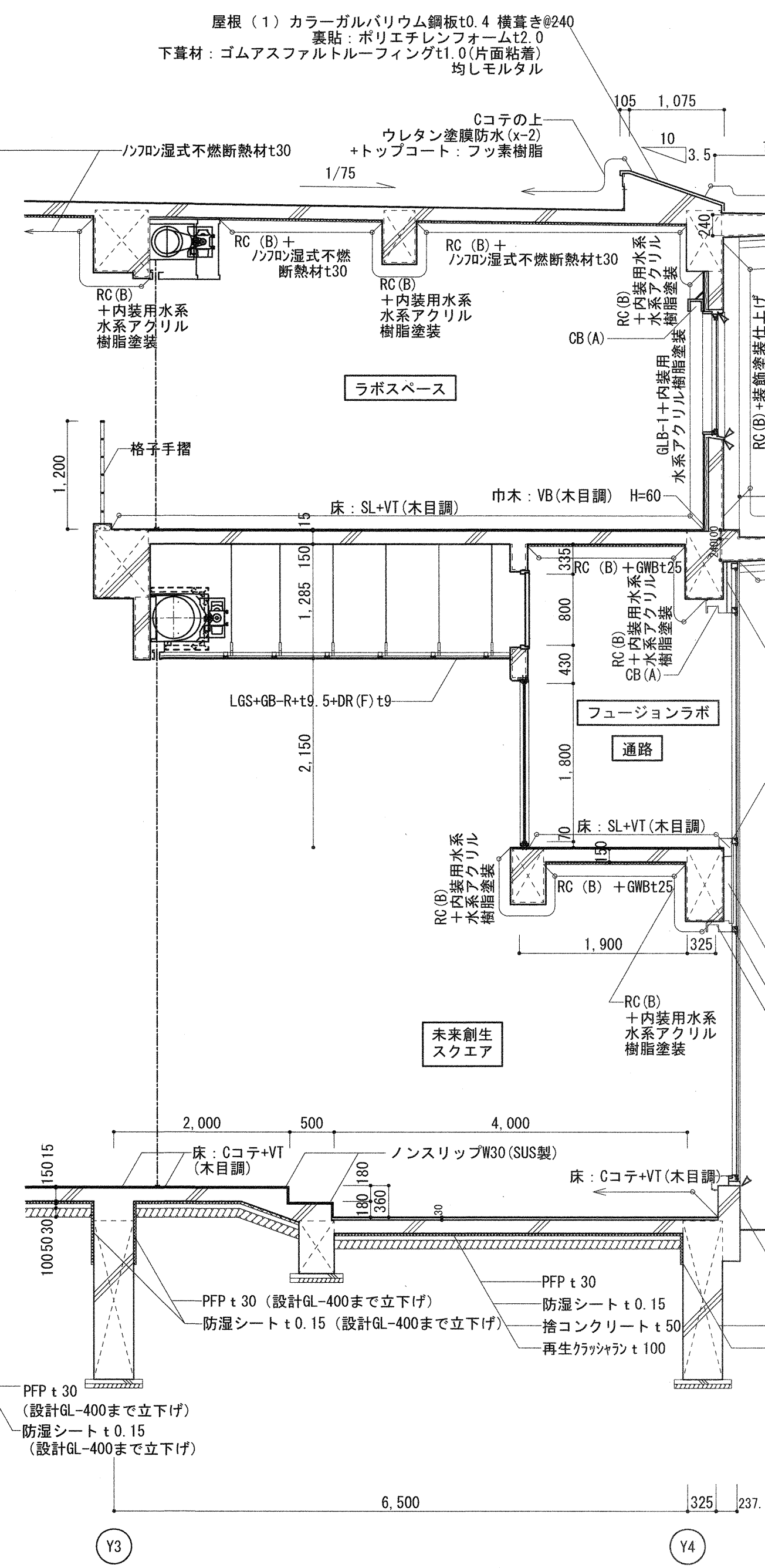
12 事	業務名称 滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営建築設計業務	工事名称 滋賀大学（彦根）イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月 令和 5年 11月
	株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	図面名称 断面図	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200



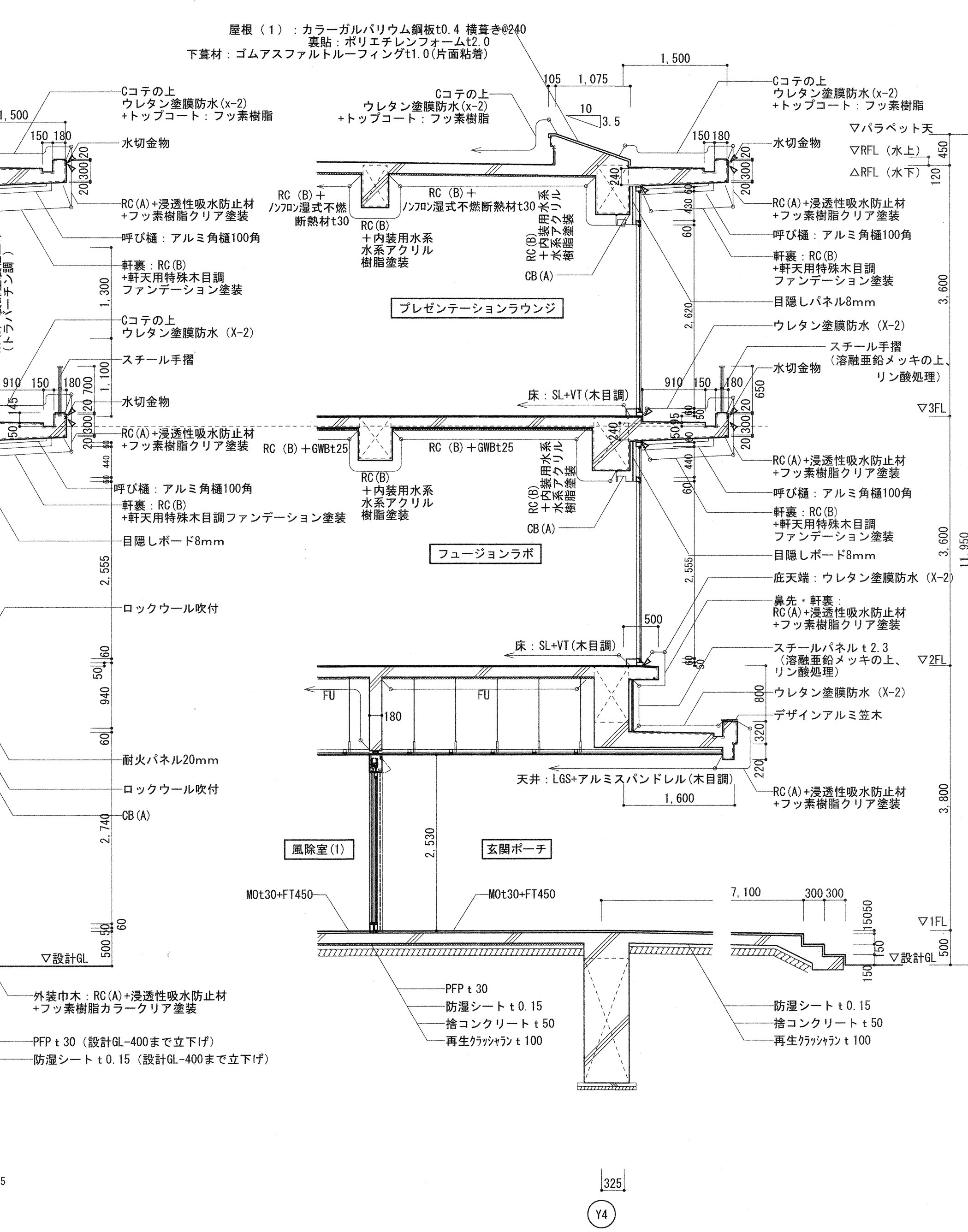
壁仕上凡例	FLP-1	LGS+GW(24K)+GB-F(V)t12.5+12.5両面 (FL~X37'下又は梁下まで)
	LP-1	LGS+GW(24K)+GB-R t12.5+9.5 両面(X37'下又は梁下まで)
	LP-2	LGS+GB-R t12.5両面(天井面まで)
	LP-3	LGS+GB-R t12.5片面(FL~X37'下又は梁下まで)
	LP-4	LGS+GB-R t12.5両面(FL~X37'下又は梁下まで)
	LP-5	LGS+GB-R t12.5片面(天井面まで)
	LP-6	LGS+GB-R t12.5+9.5片面(FL~スラブ下又は梁下まで)
	GLB-1	直張工法 t55(FU+GLボンド+GB-R)t12.5
	GLB-2	直張工法 t30(GLボンド+GB-R)t12.5
	EP	つや無合成樹脂エマルジョンペイント
	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント
	MR(A)	メラミン化粧板
		※特記なき限り、LGS65型とする。
床仕上凡例	FT	床タイル
	VS	ビニル床シートt2.5(木目調)
	VS2	抗菌防滑性ビニル床シートt2.5
	VT	ビニル床タイルt5
	TCa	タイルカーペットt6.5
幅木仕上凡例	VB	ビニル幅木H60
天井仕上凡例	GB-D(T)	化粧せつこうボードt9.5(トラバーチン)
	DR(F)	ロックウール化粧吸音板t9(フラット)
	GWB	グラスウールボード グラスクロス押えt25(黒色)
その他	FU	現場発泡硬質ウレタンフォーム t25
	PPF	ポリスチレンフォーム保温板t30
	CB(A)	アルミカーテンボックス
下地	RC(A)	コンクリート打ち放し仕上A種
	RC(B)	コンクリート打ち放し仕上B種
	RC(C)	コンクリート打ち放し仕上C種
	S	鉄骨
	LGS	軽量鉄骨壁(天井)下地※特記なき限りLGS65型とする。
	MO	モルタル
	SL	セルフレベルリング
	OA	OAフロア
	Cコテ	コンクリート金コテ押え
		シールを示す。
		RC壁を示す。
		LGS壁を示す。
		LGS壁(GW充填)を示す。

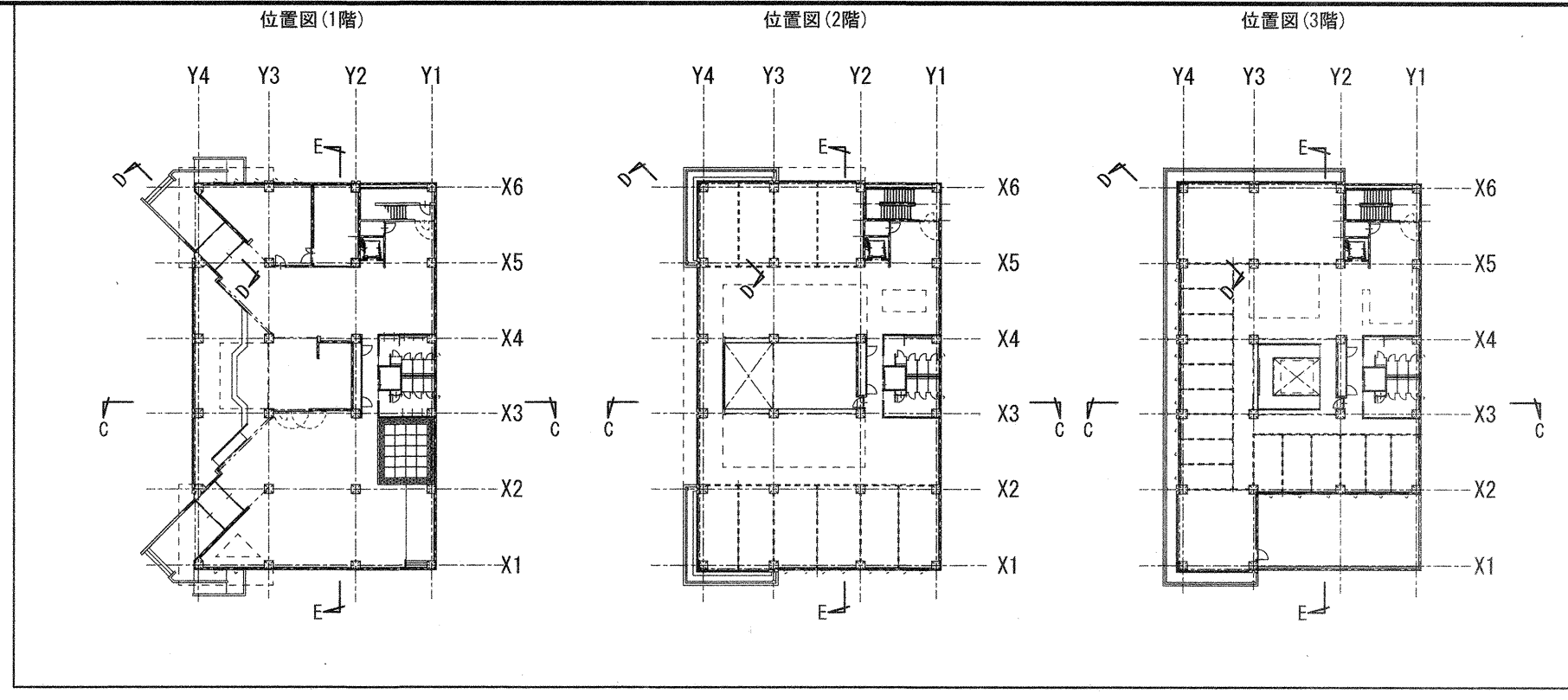


C-C断面詳細図

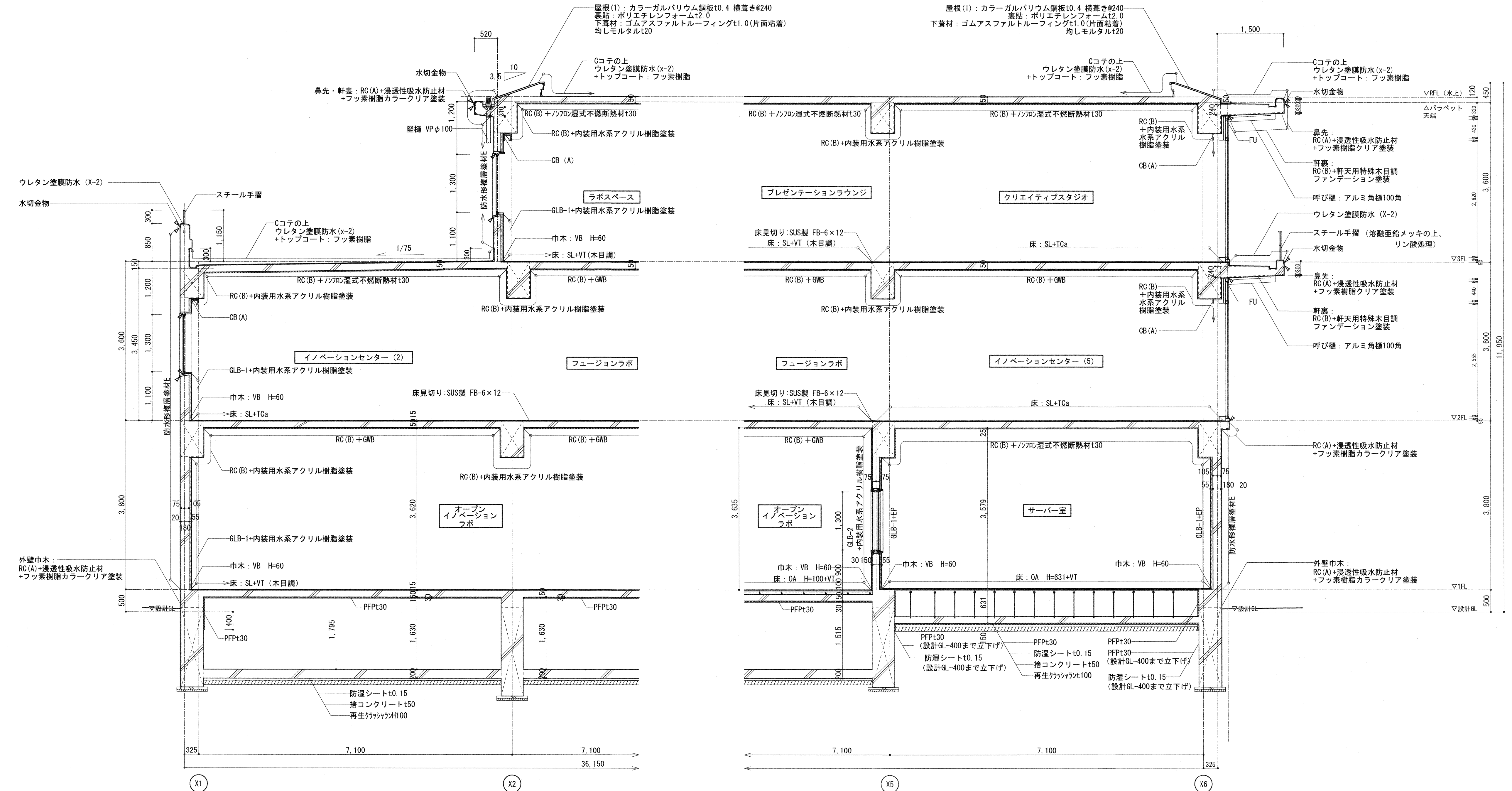


D-D断面詳細図

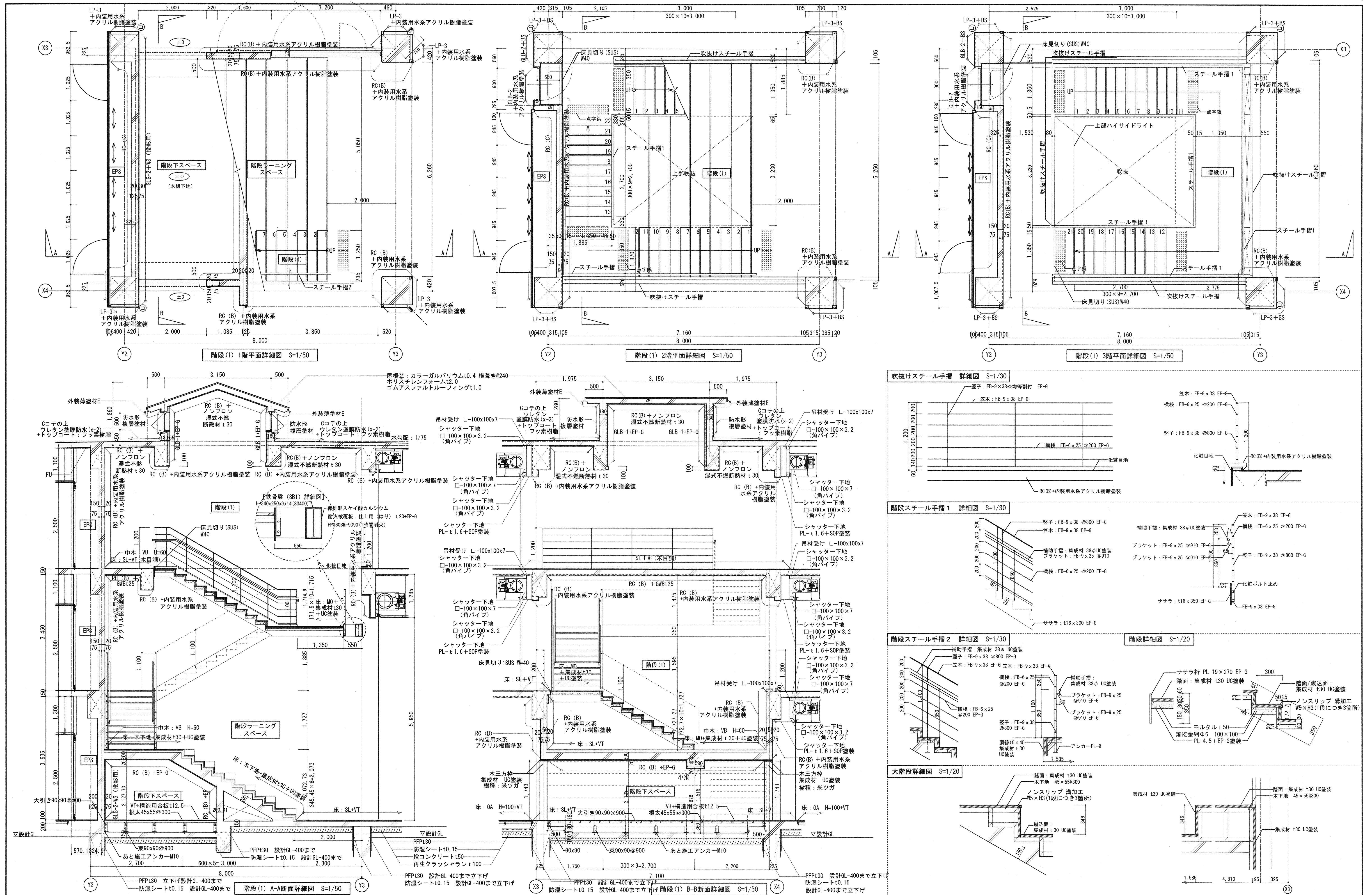




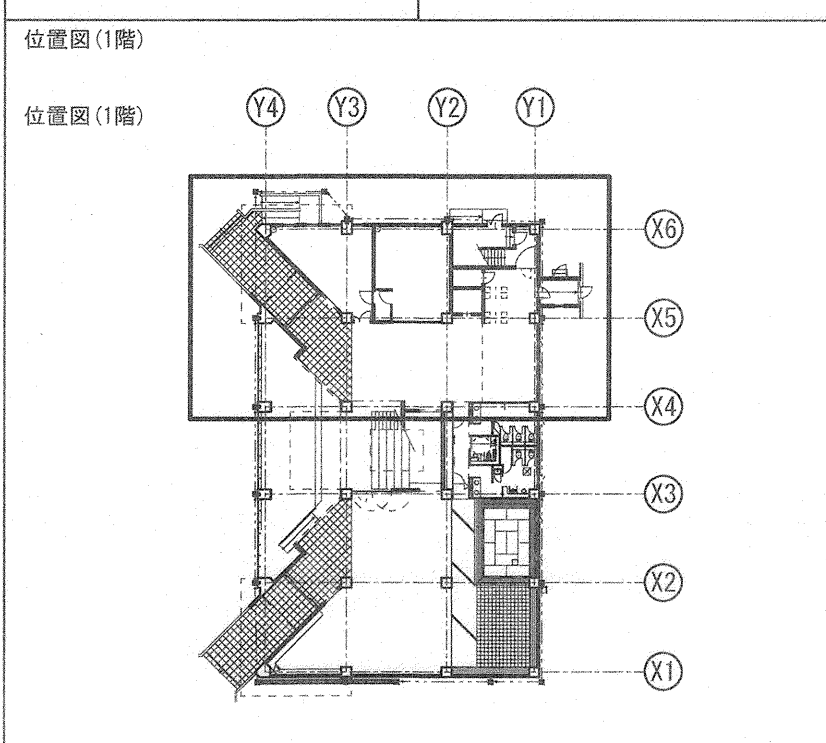
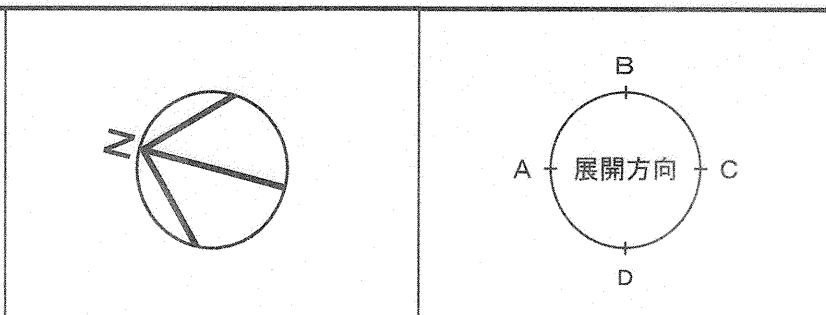
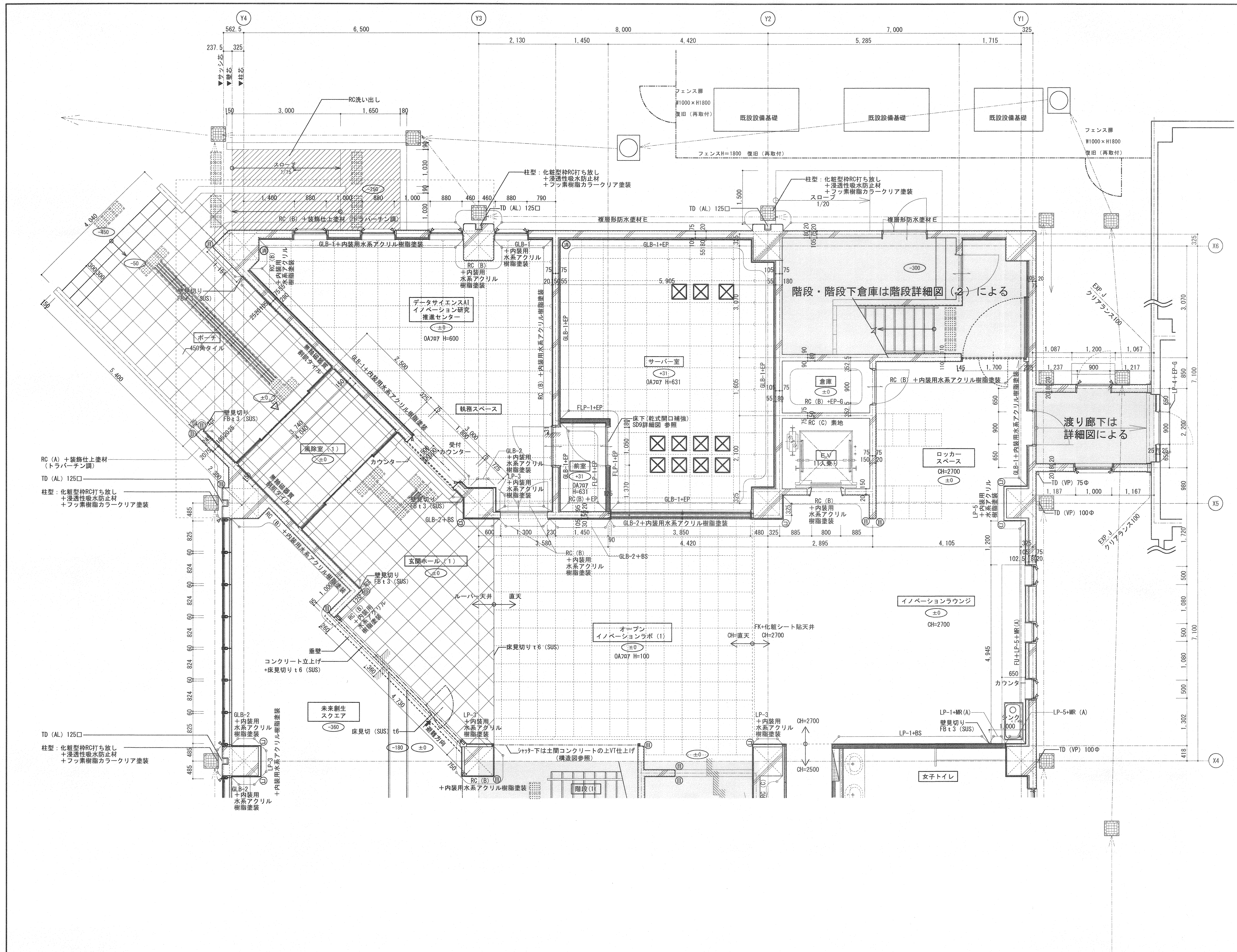
凡例略記表	
壁仕上凡例	FLP-1 LGS+GW(24K)+GB-F(V)t12.5+12.5両面 (FL~137' 下又は梁下まで)
	LP-1 LGS+GW(24K)+GB-R t12.5+9.5 両面 (FL~137' 下又は梁下まで)
	LP-2 LGS+GB-R t12.5両面 (天井面まで)
	LP-3 LGS+GB-R t12.5 片面 (FL~137' 下又は梁下まで)
	LP-4 LGS+GB-R t12.5 両面 (FL~137' 下又は梁下まで)
	LP-5 LGS+GB-R t12.5 片面 (天井面まで)
	LP-6 LGS+GB-R t12.5+9.5 片面 (FL~スラブ下又は梁下まで)
	GLB-1 直張工法 t55 (FU+GLボンド+GB-R)t12.5
	GLB-2 直張工法 t30 (GLボンド+GB-R)t12.5
	EP つや無合成樹脂エマルジョンペイント
	EP-6 つや有合成樹脂エマルジョンペイント
	MR (A) メラミン化粧板
	※特記なき限り、LGS65型とする。
床仕上凡例	FT 床タイル
	VS ビニル床シートt2.5(木目調)
	VS2 抗菌防汚性ビニル床シートt2.5
	VT ビニル床タイルt5
	TCa タイルカーペットt0.5
幅木仕上凡例	VB ビニル幅木H60
天井仕上凡例	GB-D(T) 化粧せっこうボードt9.5 (トラバーチン)
	DR (F) ロックウール化粧吸音板t9 (フラット)
	GWB グラスウールボード グラスクロス押えt25 (黒色)
その他	FU 現場発泡硬質ウレタンフォーム t25
	PPF ポリスチレンフォーム保温板t30
	CB (A) アルミカーテンボックス
下地	RC (A) コンクリート打ち放し仕上A種
	RC (B) コンクリート打ち放し仕上B種
	RC (C) コンクリート打ち放し仕上C種
	S 鉄骨
	LGS 軽量鉄骨壁 (天井) 下地※特記なき限りLGS65型とする。
	MO モルタル
	SL セルフレベリング
	OA OAフロア
	Cコテ コンクリート金コテ押え
	▽ シールを示す。
	▨ RC壁を示す。
	▩ LGS壁を示す。
	▧ LGS壁 (GW充填) を示す。



E-E断面詳細図



2 事	業務名称 滋賀大学 (産研) イニシアティブ棟新営建築設計業務	工事名称 滋賀大学 (産研) イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月 令和 5年 11月
	株式会社 総企画設計 京都支店 一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	図面名称 階段詳細図 (1)	縮尺 A1: 図示 A3: -

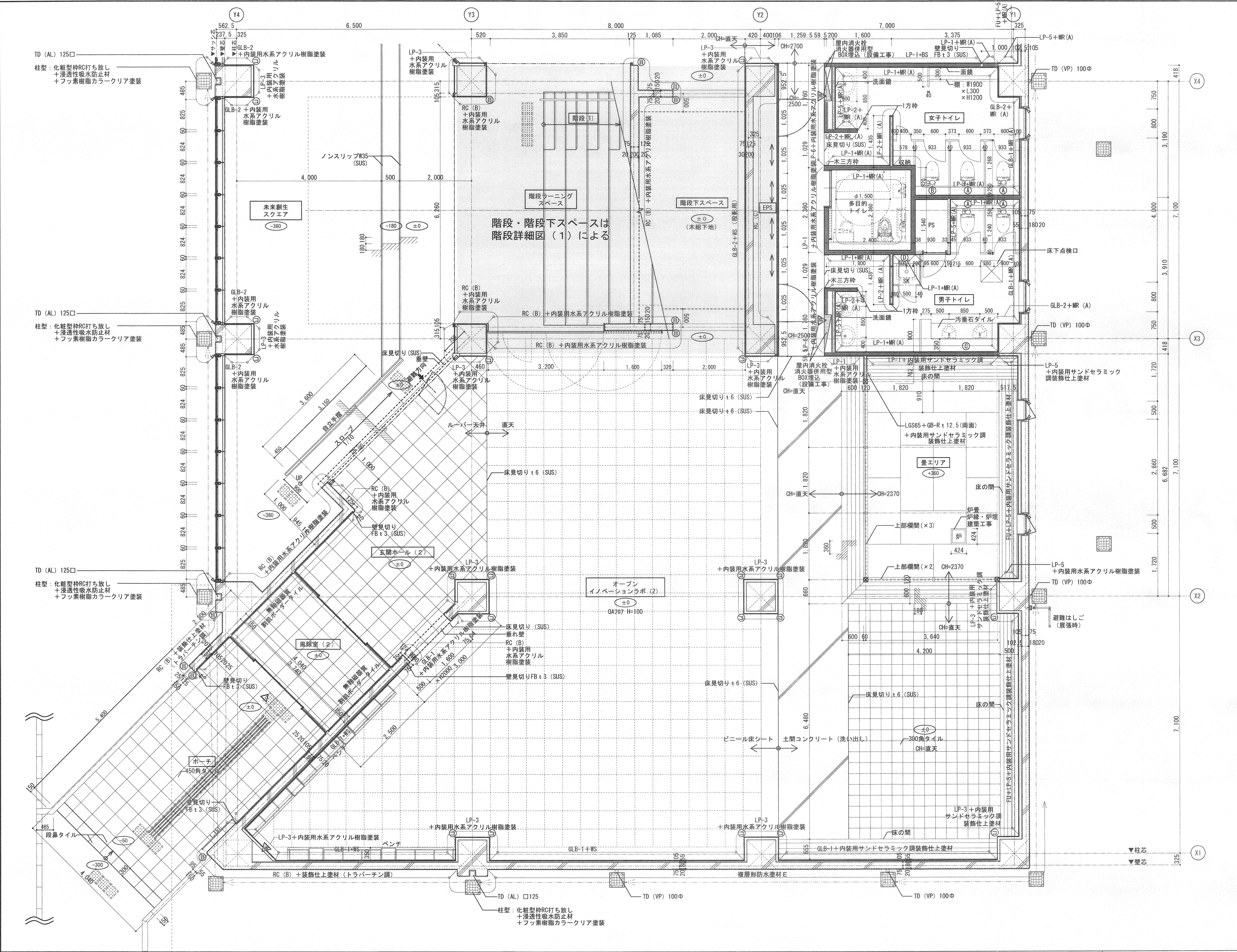


凡例記号表

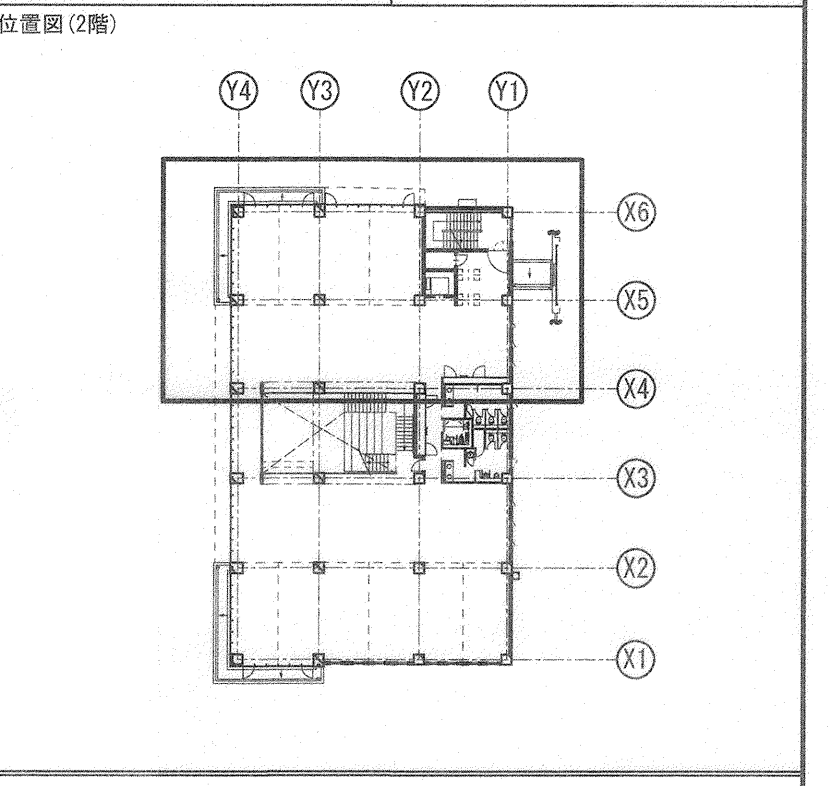
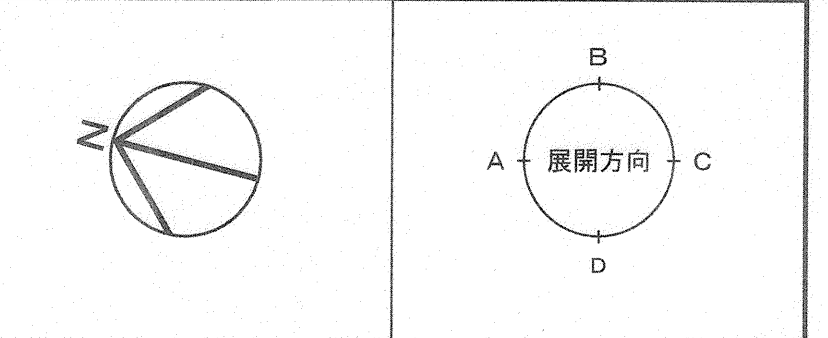
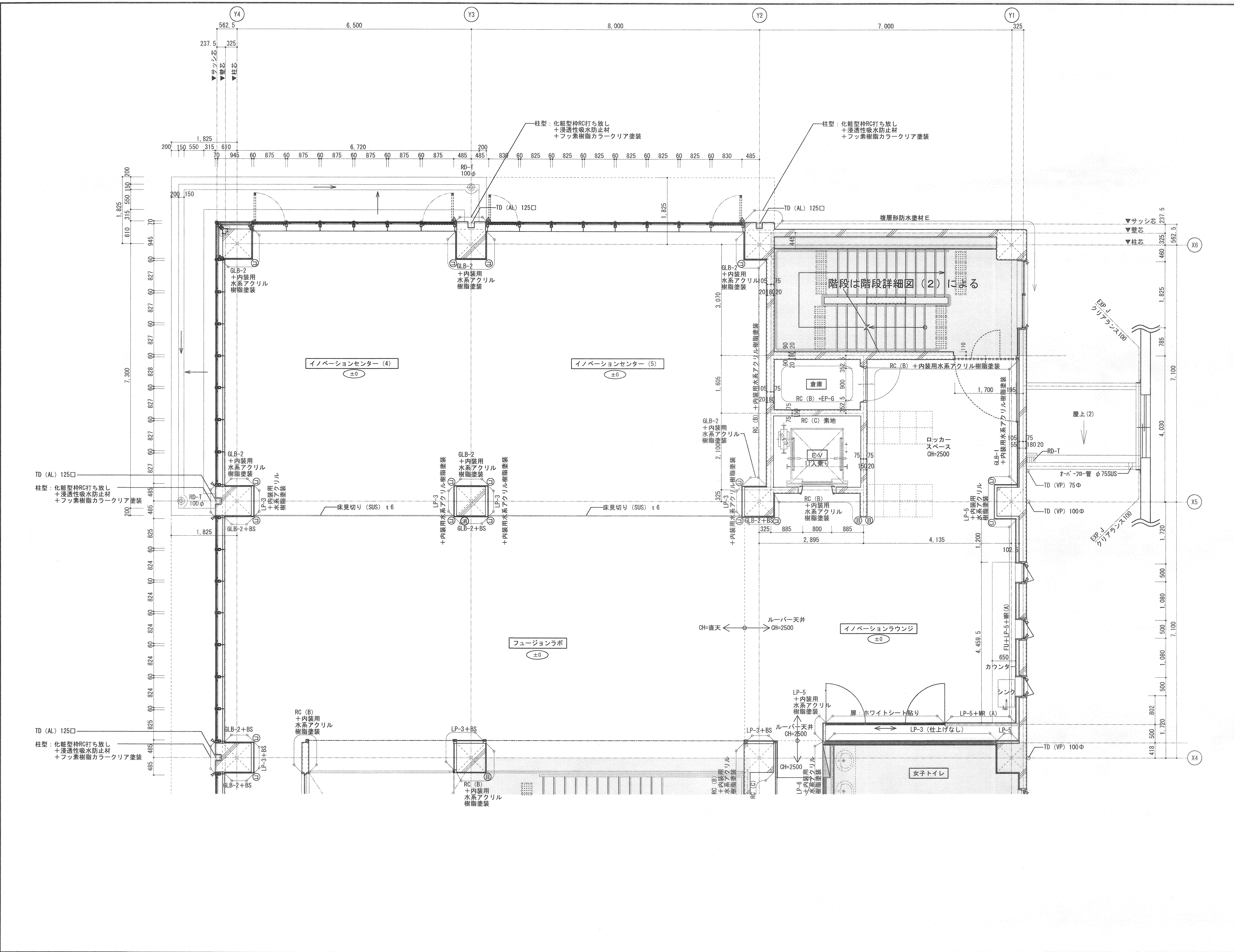
RC (A)	コンクリート打ち放し仕上A種
RC (B)	コンクリート打ち放し仕上B種
RC (C)	コンクリート打ち放し仕上C種
FLP-1	LSG+GW(24K)+GB-F(V)t12.5+12.5両面 (FL~337'下又は梁下まで)
LP-1	LSG+GW(24K)+GB-Rt12.5+9.5両面(337'下又は梁下まで)
LP-2	LSG+GB-R t12.5両面 (天井面まで)
LP-3	LSG+GB-Rt12.5片面 (FL~スラップ下又は梁下まで)
LP-4	LSG+GB-Rt12.5+9.5片面 (FL~337'下又は梁下まで)
LP-5	LSG+GB-Rt12.5片面 (天井面まで)
LP-6	LSG+GW(24K)+GB-Rt12.5+9.5片面(337'下又は梁下まで)
FU	現場発泡ウレタンフォーム t25
GLB-1	直工法 t55 (FU+LSG+GLB*+GB-R t12.5)
GLB-2	直工法 t30 (GLB*+GB-R t12.5)
MR (A)	メラミン化粧不燃板 t3
BS	アクリル (巾木上~H=2000まで)
WS	木製見切H2000 鉄板下地 t0.8共)
WS	木製見切H2000 鉄板下地 t0.8共)
A	配管バック D250 W940
B	配管バック D250 W942.5
C	配管バック D350 W1750
D	配管バック D250 W735
E	配管バック D250 W1060
洗面台	W1650×H900
一面鏡	W1900×H900

※特記なき限り、LSG55型とする。

○	基準FLからのレベルを示す。
⊗	床点検口 (600×600)
⊠	注意喚起床材、視覚誘導床材 (300×300) 特記なき限り、外部:ブロック 内部:点字板とする。
⊕	木製コーナーガード (柱部分)
⊙	目地線により面取りを行う部分を示す
⊞	防火上主要な間仕切り壁
⊟	RC壁
⊠	LSG壁
⊡	LSG壁 (GW充填)
▽	出入口
▽	代替出入口
▽	シール
TD (VP)	壁種: カラーVP (配管径: 図示)
TD (AL)	壁種: アルミ角型バンドレス125角 (凹部納まり)
RD	縦引きルーフトレイン (鉄鉄製) (配管径: 図示)
RD-Y	横引きルーフトレイン (鉄鉄製) (配管径: 図示)
⊕	別図参照範囲
⊕	床置消火器BOX (表記7ヶ所共)
⊕	埋込み消火器BOX (表記7ヶ所共) 特記なき限り建築工事に含む
OA707	(H=100, 600, 631)
⊗	OA707空調用グリルパネル
⊗	タイル (300角, 450角)



凡例簡記表	
RC(A)	コンクリート打ち放し仕上A種
RC(B)	コンクリート打ち放し仕上B種
RC(C)	コンクリート打ち放し仕上C種
FLP-1	LGS-GW(24K)+GB-R(t12.5)+12.5両面 (FL~337'下又は梁下まで)
LP-1	LGS-GW(24K)+GB-R(t12.5)+9.5両面(337'下又は梁下まで)
LP-2	LGS-GW(t12.5)両面(天井面まで)
LP-3	LGS-GW-R(t12.5)片面(FL~スラブ下又は梁下まで)
LP-4	LGS-GW-R(t12.5)+9.5両面(FL~337'下又は梁下まで)
LP-5	LGS-GW-R(t12.5)片面(天井面まで)
LP-6	LGS-GW(24K)+GB-R(t12.5)+9.5片面(337'下又は梁下まで)
FU	現場発泡ウレタンフォーム t 25
GLB-1	直張工法 t55(FU+25+GLB)*+GB-R t12.5)
GLB-2	直張工法 t30(GLB)*+GB-R t12.5)
MR(A)	メラミン化粧不燃板 t3
BS	アタック (巾木上~H=2000まで)
WS	約4シート (巾木上~H=2000まで) (木製見切りH2000 鉄板下地 t 0.8共)
(A)	配管バック D250 W940
(B)	配管バック D250 W942.5
(C)	配管バック D350 W1750
(D)	配管バック D250 W735
(E)	配管バック D250 W1060
洗面鏡	W1650×H900
一面鏡	W1900×H900
※特記なき限り、LGS65型とする。	
(---)	基準FLからのレベルを示す。
(□)	床点検口(600×600)
(■)	注意喚起床材、視覚誘導床材(300×300) 特記なき限り、外部:ブロック 内部:点字版とする。
(○)	木製コーナーガード(柱部分)
(△)	目地幅により面取りを行う部分を示す
(■)	防火上主要な間仕切り壁
(■)	RC壁
(■)	LGS壁
(■)	LGS壁(GW充填)
(▽)	出入口
(▽)	代替出入口
(▽)	シール
TD (VP)	壁種: カラーVP(配管径: 図示)
TD (AL)	壁種: アルミ角型バンドレス125角(凹部納まり)
(RD)	縦引きルーフトレイン(鉄鉄製) (配管径: 図示)
(RD-Y)	横引きルーフトレイン(鉄鉄製) (配管径: 図示)
(○)	別図参照範囲
(○)	床置消火器BOX (表記7ヶ所共)
(○)	埋込み消火器BOX (表記7ヶ所共) 特記なき限り建築工事を含む
(○)	OA707 (H=100, 600, 631)
(○)	OA707空調用グリルパネル
(○)	タイル (300角, 450角)

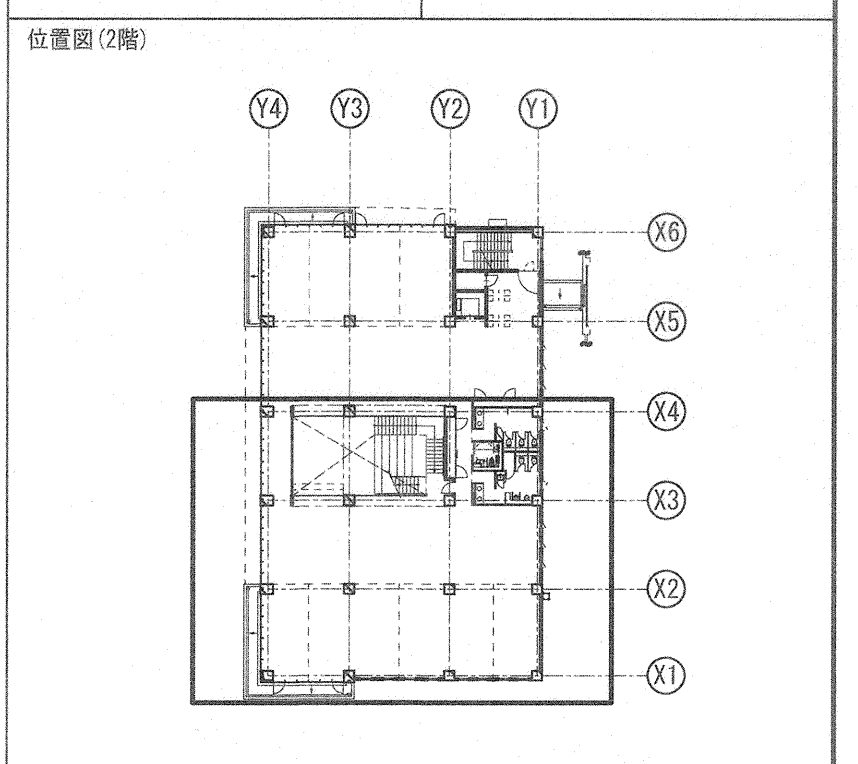
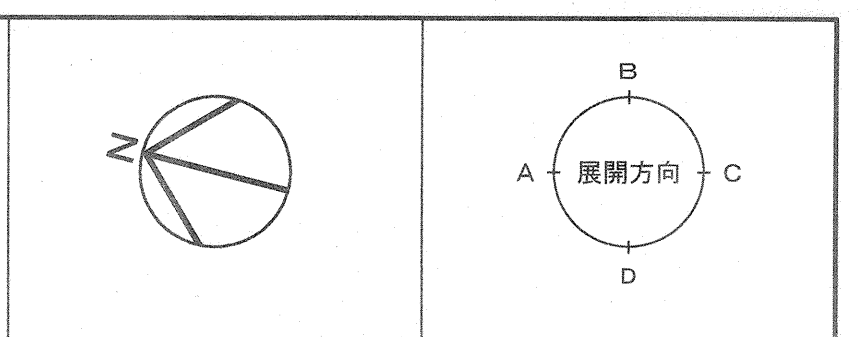
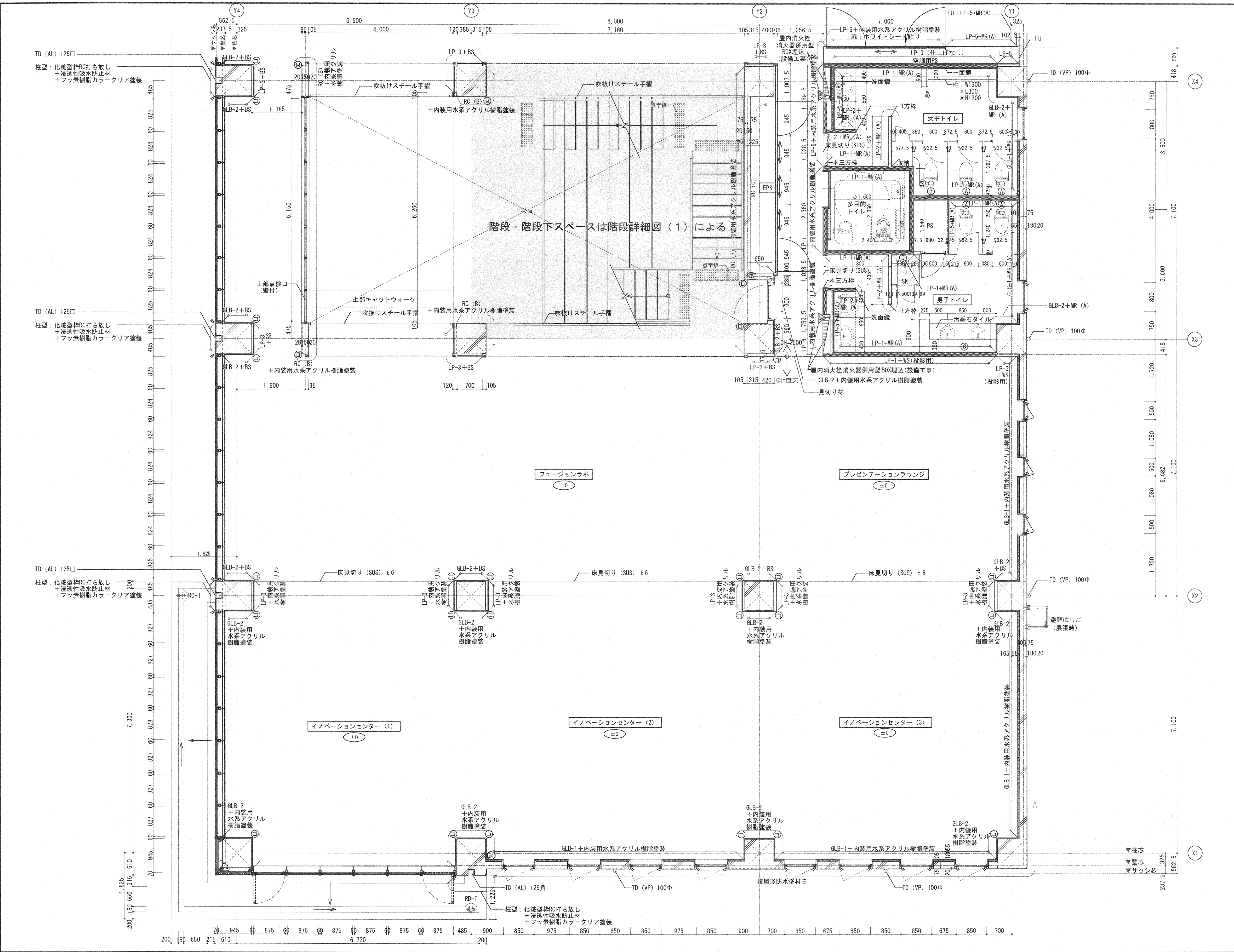


凡例簡記表

RC(A)	コンクリート打ち放し仕上A種
RC(B)	コンクリート打ち放し仕上B種
RC(C)	コンクリート打ち放し仕上C種
FLP-1	LGS+GW(24K)+GB-R t12.5+12.5両面 (FL→337' 下又は梁下まで)
LP-1	LGS+GW(24K)+GB-R t12.5+9.5両面 (337' 下又は梁下まで)
LP-2	LGS+GB-R t12.5両面 (天井面まで)
LP-3	LGS+GB-R t12.5片面 (FL→スラップ下又は梁下まで)
LP-4	LGS+GB-R t12.5+9.5両面 (FL→337' 下又は梁下まで)
LP-5	LGS+GB-R t12.5片面 (天井面まで)
LP-6	LGS+GW(24K)+GB-R t12.5+9.5両面 (337' 下又は梁下まで)
FU	現場発泡ウレタンフォーム t25
GLB-1	直工工法 t55 (FU+25+GLB)*d'+GB-R t12.5
GLB-2	直工工法 t30 (GLB)*d'+GB-R t12.5
MR(A)	メラミン化粧不燃板 t3
BS	アラケート (巾木上~H=2000まで) (木製見切H2000 鉄板下地 t0.8共)
WS	木製見切H2000 (巾木上~H=2000まで) (木製見切H2000 鉄板下地 t0.8共)
①	配管バック D250 W940
②	配管バック D250 W942.5
③	配管バック D350 W1750
④	配管バック D250 W1350
⑤	配管バック D250 W1060
洗面鏡	W1650×H900
一面鏡	W1900×H900

※特記なき限り、LGS65型とする。

⊕	基礎FLからのレベルを示す。
⊗	床点検口 (600×600)
⊞	注意喚起床材、視覚誘導床材 (300×300) 特記なき限り、外部・ブロック 内部・点字板とする。
⊙	木製コーナーガード (柱部分)
⊞	目地棒により面取りを行う部分を示す
⊞	防火上主要な間仕切り壁
⊞	RC壁
⊞	LGS壁
⊞	LGS壁 (GW充填)
▽	出入口
▽	代替出入口
▽	シール
TD (VP)	壁種: カラーVP (配管径: 図示)
TD (AL)	壁種: アルミ角型ハンドレス125角 (凹部納まり)
RD	縦引きルーフトレイン (鋼鉄製) (配管径: 図示)
RD-Y	横引きルーフトレイン (鋼鉄製) (配管径: 図示)
別図参照範囲	
⊙	床置消火器BOX (表記は共)
⊞	埋込み消火器BOX (表記は共) 特記なき限り建築工事を含む
⊞	OA707 (H=100, 600, 631)
⊞	OA707空調用グリルパネル
⊞	タイル (300角, 450角)

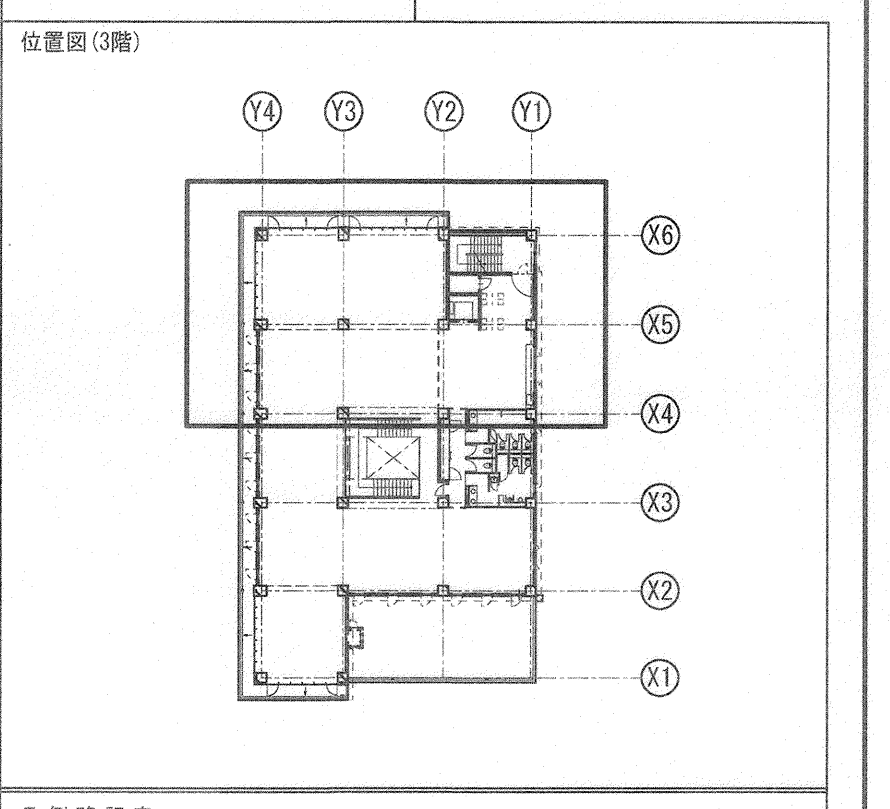
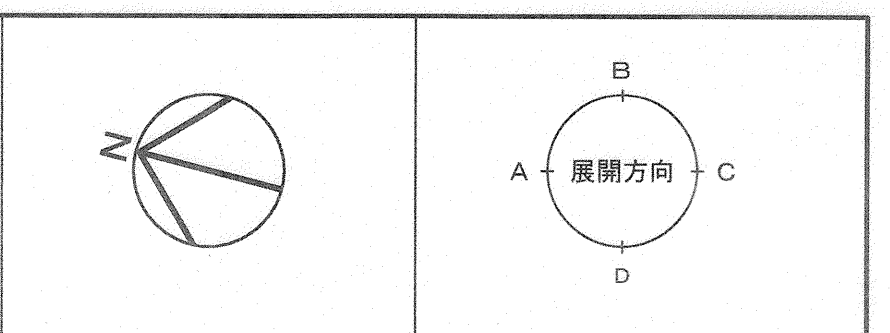
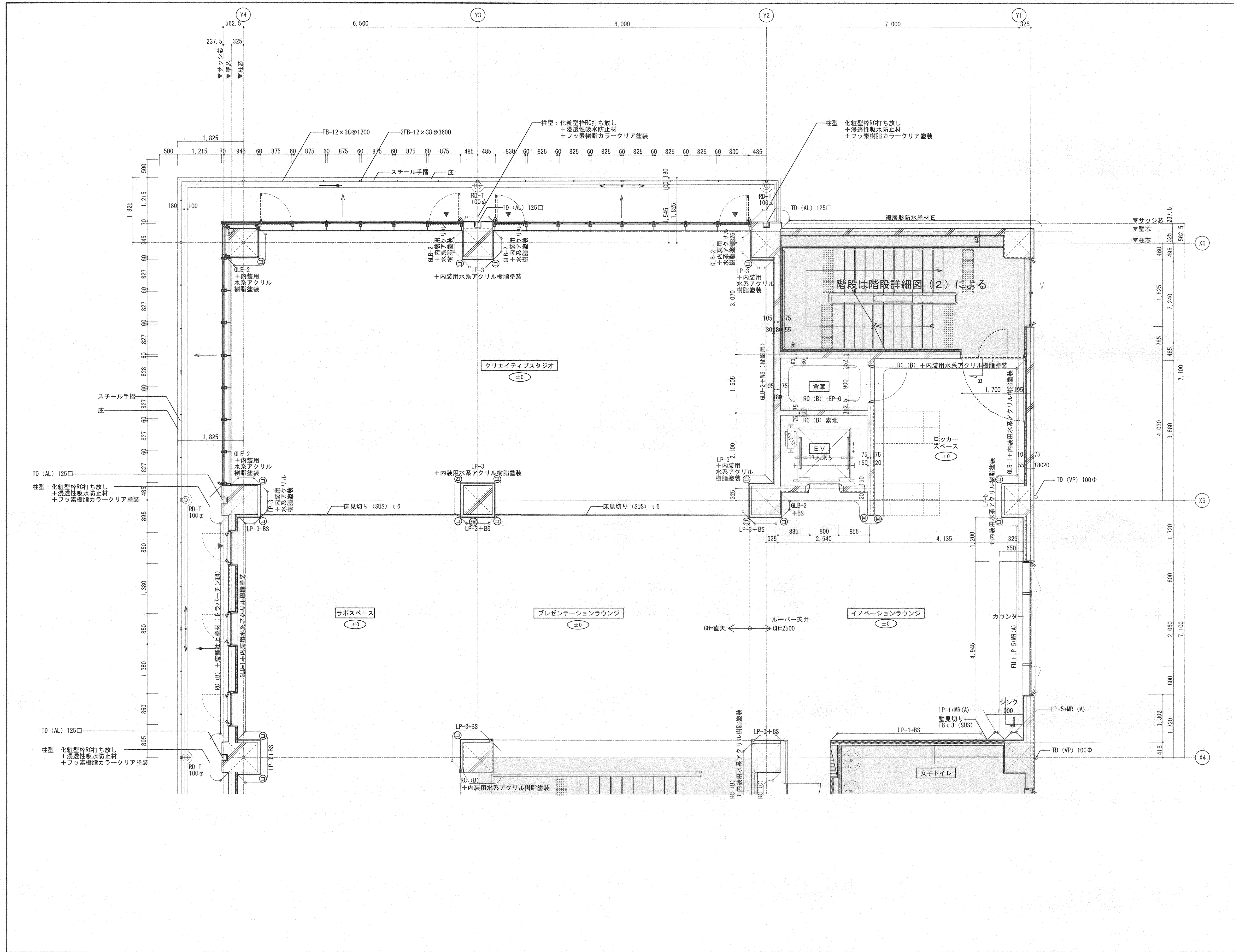


凡例簡易表

記号	説明
RC(A)	コンクリート打ち放し仕上A種
RC(B)	コンクリート打ち放し仕上B種
RC(C)	コンクリート打ち放し仕上C種
FLP-1	LGS+GW(24K)+GB-R(t12.5)+9.5 両面 (FL~33' 下又は梁下まで)
LP-1	LGS+GW(24K)+GB-R(t12.5)+9.5 両面 (33' 下又は梁下まで)
LP-2	LGS+GB-R t12.5 両面 (天井面まで)
LP-3	LGS+GB-R t12.5 片面 (FL~スラブ下又は梁下まで)
LP-4	LGS+GB-R t12.5+9.5 両面 (FL~33' 下又は梁下まで)
LP-5	LGS+GB-R t12.5 片面 (天井面まで)
LP-6	LGS+GW(24K)+GB-R(t12.5)+9.5 両面 (33' 下又は梁下まで)
FU	現場発泡ウレタンフォーム t 25
GLB-1	直張工法 t55 (FU125+GLB*J)+GB-R t12.5
GLB-2	直張工法 t30 (GLB*J)+GB-R t12.5
MR(A)	メラミン化粧不燃板 t3
BS	アークカット (市上~H=2000まで)
WS	704シート (市上~H=2000まで)
	(木製見切りH2000 鉄板下地 t 0.8共)
(A)	配管バック D250 W940
(B)	配管バック D250 W942.5
(C)	配管バック D350 W1750
(D)	配管バック D250 W1735
(E)	配管バック D250 W1060
	洗面鏡 W1650×H900
	一面鏡 W1900×H900

※特記なき限り、LGS65型とする。

○	基準FLからのレベルを示す。
□	床点検口 (600×600)
■	注意喚起記号、視覚誘導床材 (300×300) 特記なき限り、外部:ブロック 内部:点字版とする。
○	木製コーナーガード (柱部分)
→	目地棒により面取りを行う部分を示す
▬	防火上主要な間仕切り壁
▬	RC壁
▬	LGS壁
▬	LGS壁 (GW充填)
▽	出入口
▽	代替出入口
▽	シール
TD (VP)	壁種: カラーVP (配管径: 図示)
TD (AL)	壁種: アルミ角型バンドレス125角 (凹部納まり)
RD	縦引きルーフトレイン (鋼鉄製)
RD-Y	横引きドレイン (鋼鉄製)
○	別図参照範囲
⊕	床置消火器BOX (表記行か共)
⚠	埋込み消火器BOX (表記行か共) 特記なき限り建築工事に含む
○	0A707 (H=100, 600, 631)
⊠	0A707空調用グリルパネル
□	タイル (300角, 450角)



凡例記号表

RC (A)	コンクリート打ち放し仕上A種
RC (B)	コンクリート打ち放し仕上B種
RC (C)	コンクリート打ち放し仕上C種
FLP-1	LGS+GW (24K)+GB-F (V) t12.5+12.5両面 (FL~337 下又は梁下まで)
LP-1	LGS+GW (24K)+GB-R t12.5+9.5両面 (337 下又は梁下まで)
LP-2	LGS+GB-R t12.5両面 (天井面まで)
LP-3	LGS+GB-R t12.5片面 (FL~スラブ下又は梁下まで)
LP-4	LGS+GB-R t12.5+9.5両面 (FL~337 下又は梁下まで)
LP-5	LGS+GB-R t12.5片面 (天井面まで)
LP-6	LGS+GW (24K)+GB-R t12.5+9.5両面 (337 下又は梁下まで)
FU	現場発泡ウレタンフォーム t25
GLB-1	直張工法 t55 (FL t25+GL t30)+GB-R t12.5
GLB-2	直張工法 t30 (GL t30)+GB-R t12.5
MR (A)	メラミン化粧不燃板 t3
BS	ブラケット (巾木上~H=2000まで) (木製見切H2000 鉄板下地 t0.8共)
WS	90°シート (巾木上~H=2000まで) (木製見切H2000 鉄板下地 t0.8共)
①	配管バック D250 W940
②	配管バック D250 W942.5
③	配管バック D250 W1750
④	配管バック D250 W1735
⑤	配管バック D250 W1060
洗面器	W1650×H900
一面鏡	W1900×H900
※特記なき限り、LGS65型とする。	
○	基準FLからのレベルを示す。
⊗	床点検口 (600×600)
⊠	注意喚起床材、視覚誘導床材 (300×300) 特記なき限り、外部:ブロック 内部:点字板とする。
⊕	木製コーナーガード (柱部分)
⊔	目地幅により面取りを行う部分を示す
⊥	防火上主要な間仕切り壁
⊥	RC壁
⊥	LGS壁
⊥	LGS壁 (GW充填)
▽	出入口
▽	代替出入口
▽	シール
TD (VP)	堅種: カラーVP (配管径: 図示)
TD (AL)	堅種: アルミ角型ハンドレス125角 (凹部納まり)
RD	縦引きルーフレイン (鉄製) (配管径: 図示)
RD-Y	横引きドレイン (鉄製) (配管径: 図示)
別図参照範囲	
⊕	床置消火器BOX (表記あり共)
⊕	埋込み消火器BOX (表記あり共) 特記なき限り建築工事に含む
⊕	OA707 (H=100, 600, 631)
⊕	OA707空調用グリルパネル
⊕	タイル (300角, 450角)

記	業務名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営建築設計業務	工事名称	滋賀大学 (彦根) イニシアティブ棟新営その他工事	設計年月	令和 5年 11月
	事務所	株式会社 総企画設計 京都支店	図面名称	3階平面図詳細図 (1)	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100
事	一級建築士事務所 京都府知事登録 (02A) 第00523号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第331194号 三浦 光寛	図面番号	A-33			